

在宅医療・介護連携に関する
市民アンケート調査業務
報 告 書

平成 30 年 9 月
島 原 市

目 次

第1章 調査概要

1. 調査目的	1
2. 実施時期	1
3. 調査対象	1
4. 抽出方法	1
5. 調査方法	1
6. 標本数及び配布回収結果	1
7. この報告書の見方	2

第2章 調査結果の分析

1. 回答者の属性	3～5
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 居住地域	4
(4) 家族構成	4
(5) 職業や現在の状態	5
2. 医療・介護について	6～48
(1) 健康状態や病気のことを気軽に相談できる医師の有無	6
(2) ①過去1年間における医療機関の受診状況(性別・年齢)	7
(2) ②過去1年間における医療機関の受診状況(居住地域・職業)	8
(3) 現在の健康状態	9
(4) 長期間の療養であなたが過ごしたい場所	10
(5) 長期間の療養で家族を過ごさせたい場所	11
(6) ①自宅で病気療養をする時の不安(性別・年齢)	12
(6) ②自宅で病気療養をする時の不安(居住地域・職業)	13
(6) ③自宅で病気療養をする時の不安(家族構成)	14
(7) 在宅医療の認知度	15
(8) 在宅医療に取り組んでいる医療機関の認知度	16
(9) 在宅介護の認知度	17
(10) 在宅介護に取り組んでいる事業所の認知度	18
(11) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度	19
(12) 在宅医療・介護サービスの認知度	20
(13) 訪問診療の認知度	21
(14) 訪問歯科診療の認知度	22
(15) 訪問薬剤管理指導の認知度	23

(16) 訪問看護の認知度	24
(17) 訪問リハビリテーションの認知度	25
(18) 在宅訪問栄養食事指導の認知度	26
(19) 訪問介護の認知度	27
(20) 介護支援専門員の認知度	28
(21) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の認知度	29
(22) 在宅療養支援診療所の認知度	30
(23) ①在宅医療に関する講演会	31
(23) ②在宅医療に関する講演会（参加してみたいテーマ）	32
(24) ①人生の最期を迎えたい場所（性別・年齢）	33
(24) ②人生の最期を迎えたい場所（居住地域・職業）	34
(25) 寝たきり状態における在宅医療の希望	35
(26) ①在宅医療を実現できない・希望しない理由（性別・年齢）	36
(26) ②在宅医療を実現できない・希望しない理由（居住地域・職業）	37
(27) 在宅医療の充実	38
(28) 終末期における延命治療の希望	39
(29) 終活ノートの作成	40
(30) ①医療や介護における身近な相談相手の有無（性別・年齢）	41
(30) ②医療や介護における身近な相談相手の有無（居住地域・職業）	42
(31) ①医療や介護における情報収集の方法（性別・年齢）	43
(31) ②医療や介護における情報収集の方法（居住地域・職業）	44
(32) ①医療や介護における必要な情報（性別・年齢）	45
(32) ②医療や介護における必要な情報（居住地域・職業）	46
(33) ①在宅医療・介護に関する意見（要望）	47
(33) ②在宅医療・介護に関する意見（不安・不満・現状・満足・その他） ..	48
3. 相関分析	49～55
(1) かかりつけ医の有無×長期間の療養で過ごしたい場所	49
(2) 在宅医療の認知度×長期間の療養で過ごしたい場所	50
(3) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度×長期間の療養で過ごしたい場所	51
(4) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度×在宅医療の認知度	52
(5) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度×在宅医療に取り組んでいる事業所の認知度 ..	53
(6) 家族構成×終活ノートの作成	54
(7) 現在の健康状態×人生の最期を迎えたい場所	55

第3章 参考資料

1. アンケート調査票	56～63
-------------------	-------

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、在宅医療・介護連携に対するニーズ、意識などを把握し、今後の在宅医療・介護連携充実のための企画立案及び基礎資料とすることを目的とする。

2. 実施時期

平成30年5月18日（金）～6月11日（月）

3. 調査対象

住民基本台帳から無作為抽出した満20歳以上の市民3,000人

4. 抽出方法

地区・年齢別無作為抽出法

5. 調査方法

郵送式自記入式アンケート調査

6. 標本数及び配布回収結果

本調査では、人口の少ない地域においても、人口比にかかわらず一定数の調査票を配布することで、年齢ごとの傾向を把握するために必要な有効回答数を確保しようとした。そこで、市全体や他の属性別の分析をする際には、分析結果に人口の少ない地域の意見が過度に影響をおよぼさないよう、その影響に配慮して集計を行った（ウエイトバック集計）。従って、年齢の分析においては、有効回答数は1,893件となるが、それ以外の分析においては、有効回答数は1,895件（ウエイトバック後）となる。

	地区別人口 (A)	人口比 (B)	無作為人数(C) =3,000名×(B)	サンプル数 (送付数)	有効回答数	回収率	ウエイト値	ウエイトバック後 のサンプル数
20～29歳	3,997	9.0%	269	100	29	29.0%	5.875	170
30～39歳	4,467	11.8%	353	100	48	48.0%	4.654	223
40～49歳	5,401	14.2%	427	300	150	50.0%	1.792	269
50～59歳	5,958	15.7%	471	300	175	58.3%	1.698	297
60～64歳	3,524	9.3%	279	450	299	66.4%	0.589	176
65～69歳	3,900	10.3%	308	450	305	67.8%	0.639	195
70～74歳	3,044	8.0%	241	450	315	70.0%	0.481	151
75～79歳	2,675	7.1%	212	450	314	69.8%	0.428	134
80歳以上	5,574	14.7%	441	400	258	64.5%	1.079	278
無回答	—	—	—	—	12	—	—	—
合計	38,540	100.0%	3,000	3,000	1,905	63.5%	—	1,895

7. この報告書の見方

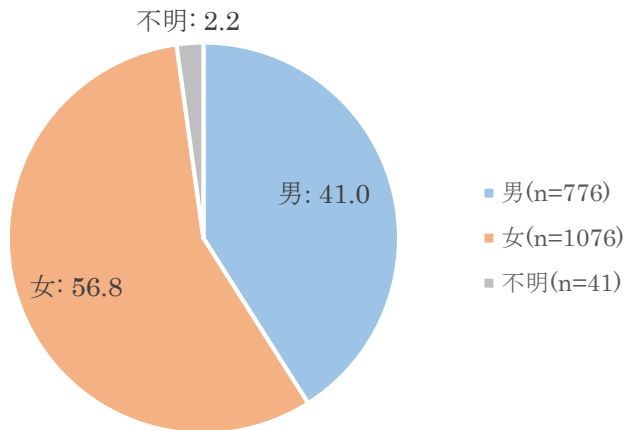
- (1) 回答は、原則として、各質問の調査数を基数（ n ）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (2) 集計表に使用している「男女別」、「地域別」等の基本属性は、ウエイトバック集計の際に調査数の小数点以下を四捨五入しているほか、それぞれに含まれている無回答を図表中に表記していないものもあるため、図表中の調査数を合計しても、必ずしも有効回答数にならない場合がある。
- (3) コンピューター入力の都合上、図表中の回答選択肢等を短縮して表記している場合があるため、詳細は「第3章 参考資料」中の調査票を参照のこと。
- (4) 調査結果の分析に記載してある図中の数値は小数点第2以下を四捨五入している。
- (5) 調査結果の分析に記載してある（SA）は、質問項目に対して1つだけ回答、（MA）は質問項目に対して複数回答、（FA）は自由回答を表している。
- (6) グラフ上の「不明」は無回答と無効回答の合計数を表記している。

第 2 章 調査結果の分析(1.回答者の属性)

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(SA)

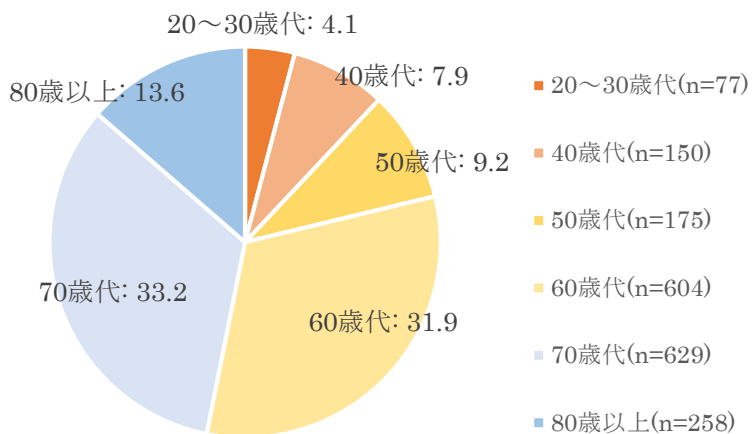
回答者の性別は、女性が56.8%、男性が41%であった。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(SA)

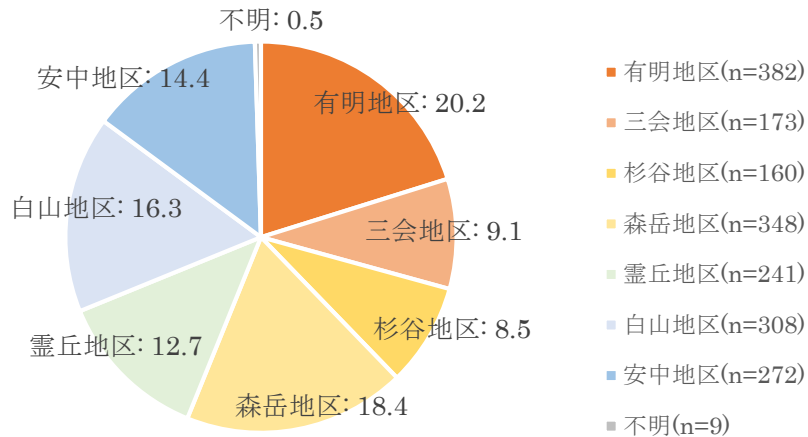
回答者の年代は、「70歳代」が33.2%で最も多く、「60歳代」が31.9%と続いている。



(3) 居住地

問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(SA)

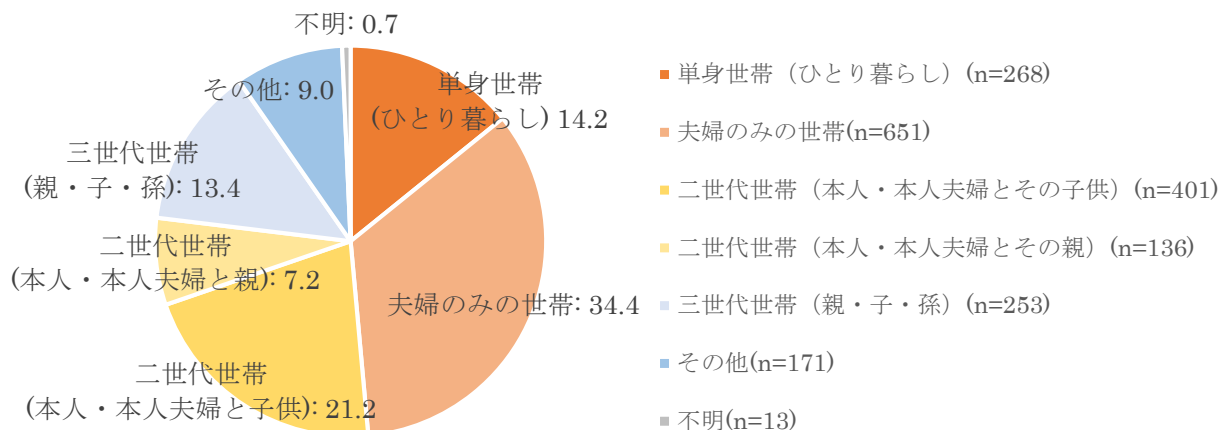
回答者の居住地は「有明地区」が20.2%で最も多く、次いで「森岳地区」(18.4%)、「白山地区」(16.3%)、「安中地区」(14.4%)となっている。



(4) 家族構成

問4 あなたの家族構成をお答えください。(SA)

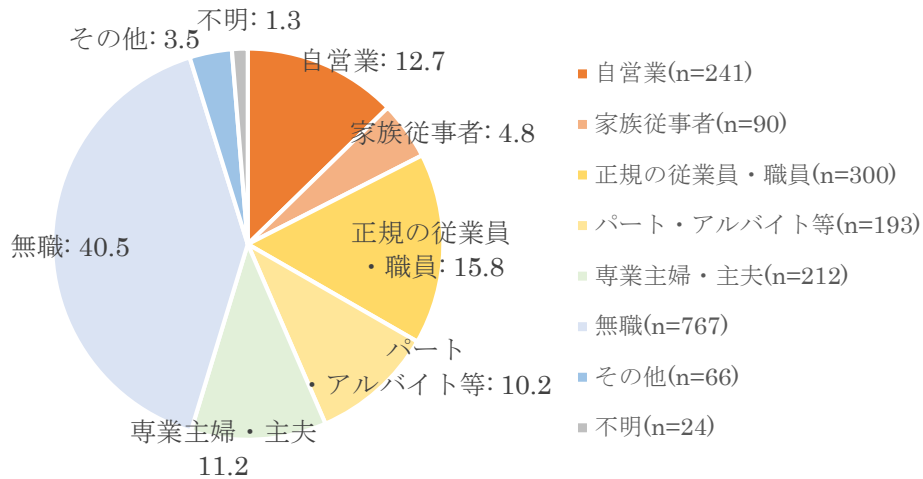
回答者の家族構成は、「夫婦のみの世帯」が34.4%で最も多く、次いで「二世世代世帯（本人・本人夫婦と子供）」(21.2%)、「単身世帯（ひとり暮らし）」(14.2%)、「三世世代世帯（親・子・孫）」(13.4%)となっている。



(5) 職業や現在の状態

問5 あなたの職業や現在の状態をお答えください。(SA)

回答者の職業や現在の状態は、「無職」が40.5%で最も高く、次いで「正規の従業員・職員」(15.8%)、「自営業」(12.7%)、「専業主婦・主夫」(11.2%)となっている。



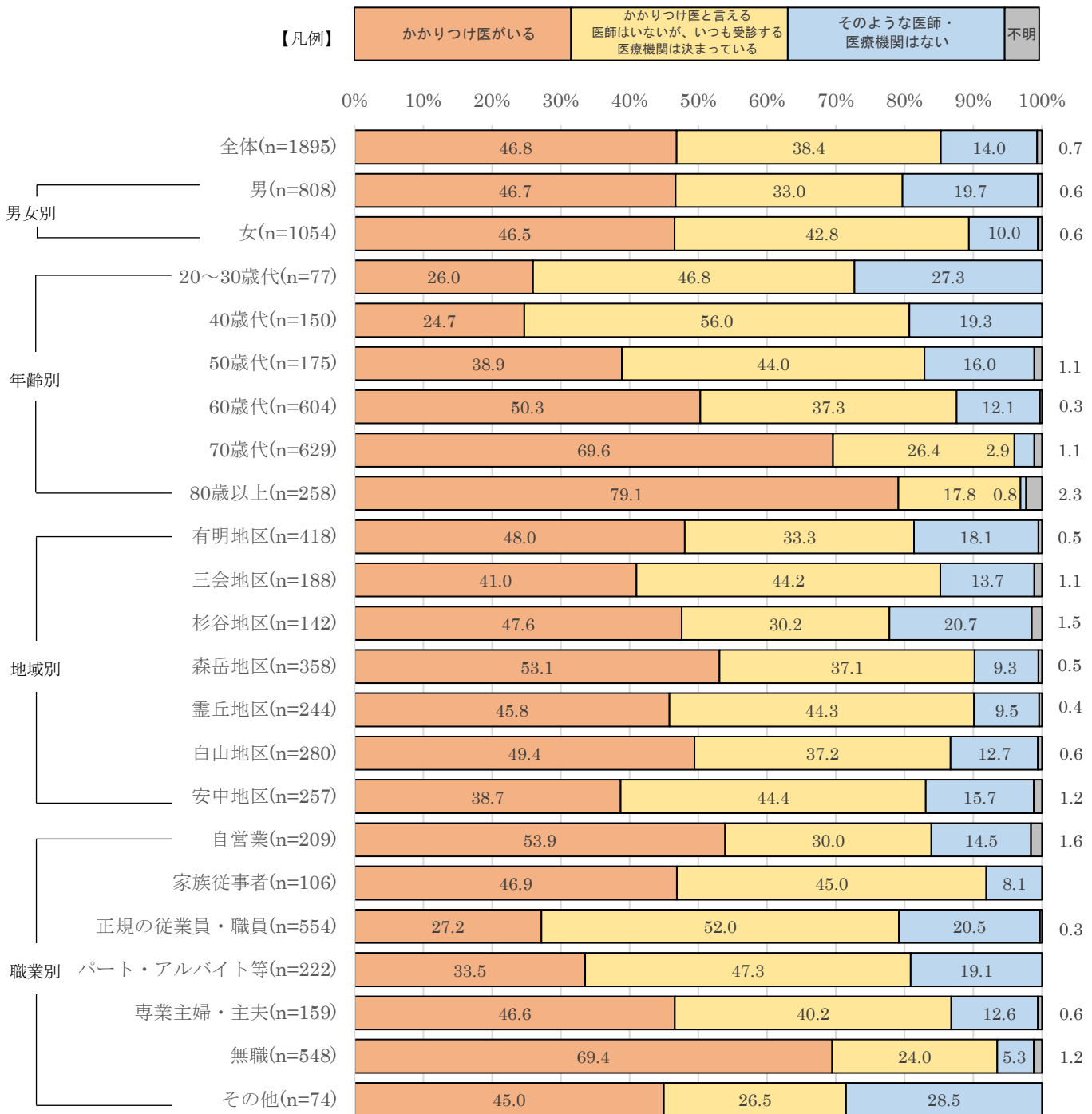
第 2 章 調査結果の分析(2.医療・介護について)

(1) 健康状態や病気のことを気軽に相談できる医師の有無

問6 あなたは健康状態や病気のことを気軽に相談できる医師（かかりつけ医）がいますか。（SA）

健康状態や病気のことを気軽に相談できる医師の有無を全体で見ると、「かかりつけ医がいる」「かかりつけ医と言える医師はいないが、いつも受診する医療機関は決まっている」と回答した割合は85.2%となった。

40歳代から年齢を重ねるにつれて「かかりつけ医がいる」と回答した割合が増加傾向にあった。

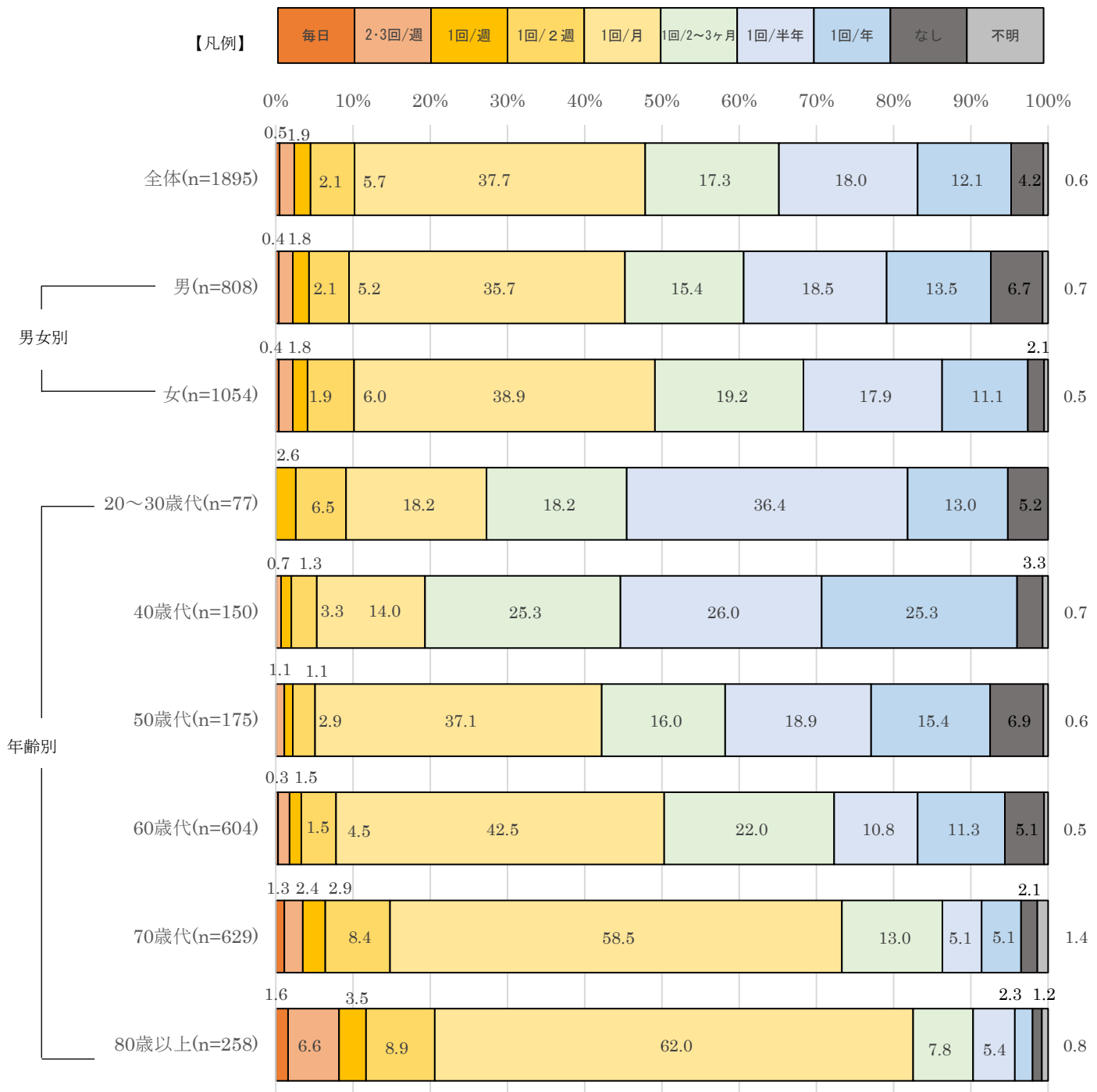


(2) -①過去1年間における医療機関の受診状況(性別・年齢)

問7 あなたはここ1年間でどのくらい医療機関を受診(健康診断を含む)しましたか。(SA)

過去1年間における医療機関の受診状況を全体で見ると、「月に1回程度」「2～3ヶ月に1回程度」と回答した割合は55%となった。

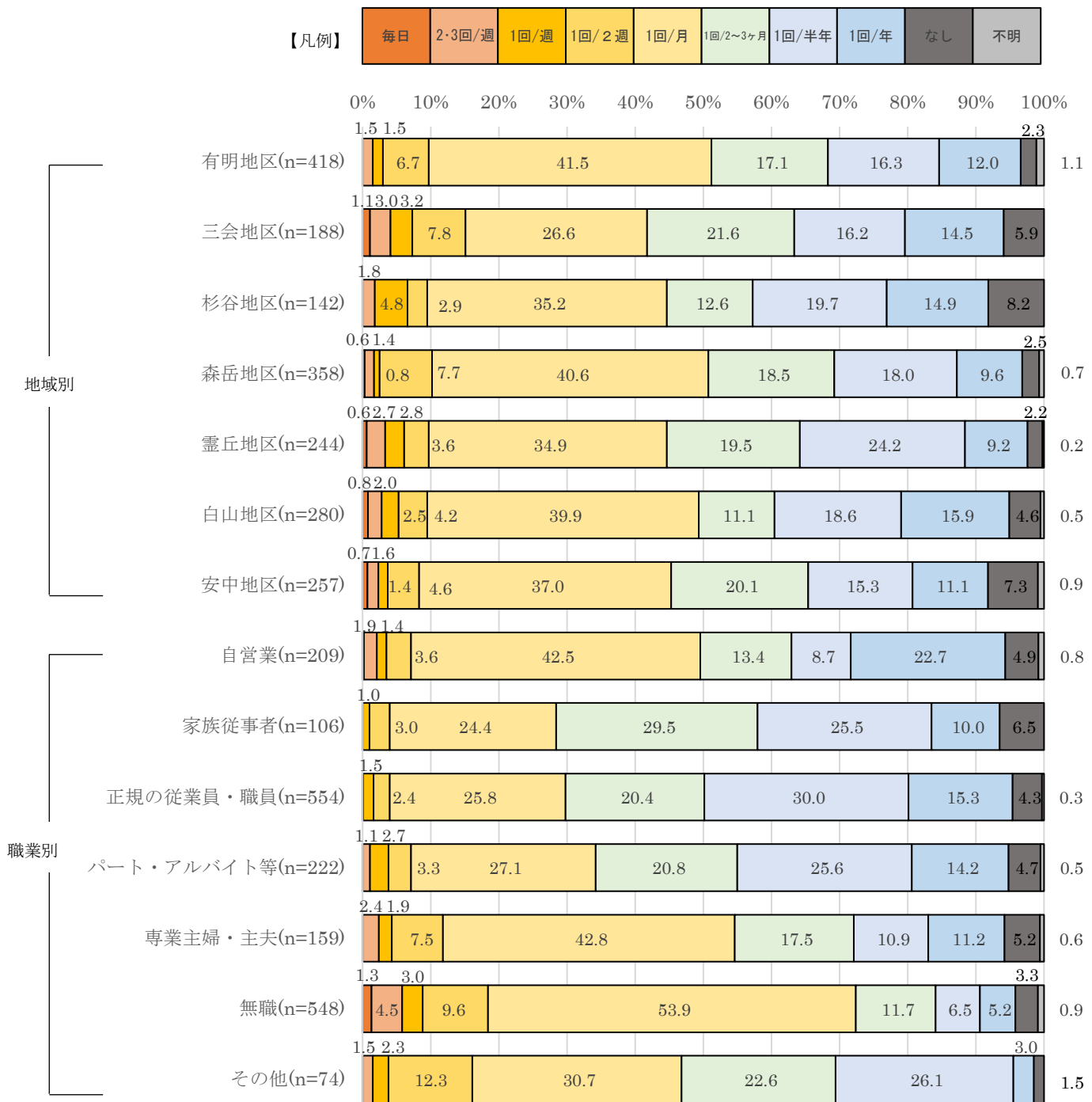
40歳代から年齢を重ねるにつれて、「月に1回程度」の受診する割合が増加傾向にあった。



(2) -②過去1年間における医療機関の受診状況（居住地・職業）

問7 あなたはここ1年間でどのくらい医療機関を受診（健康診断を含む）しましたか。（SA）

過去1年間における医療機関の受診状況の地域差は小さく、「月に1回程度」が最も高い割合となった。職業別では、「無職」が他職業と比較して、「月に1回程度」受診していると回答した割合が高い結果となった。

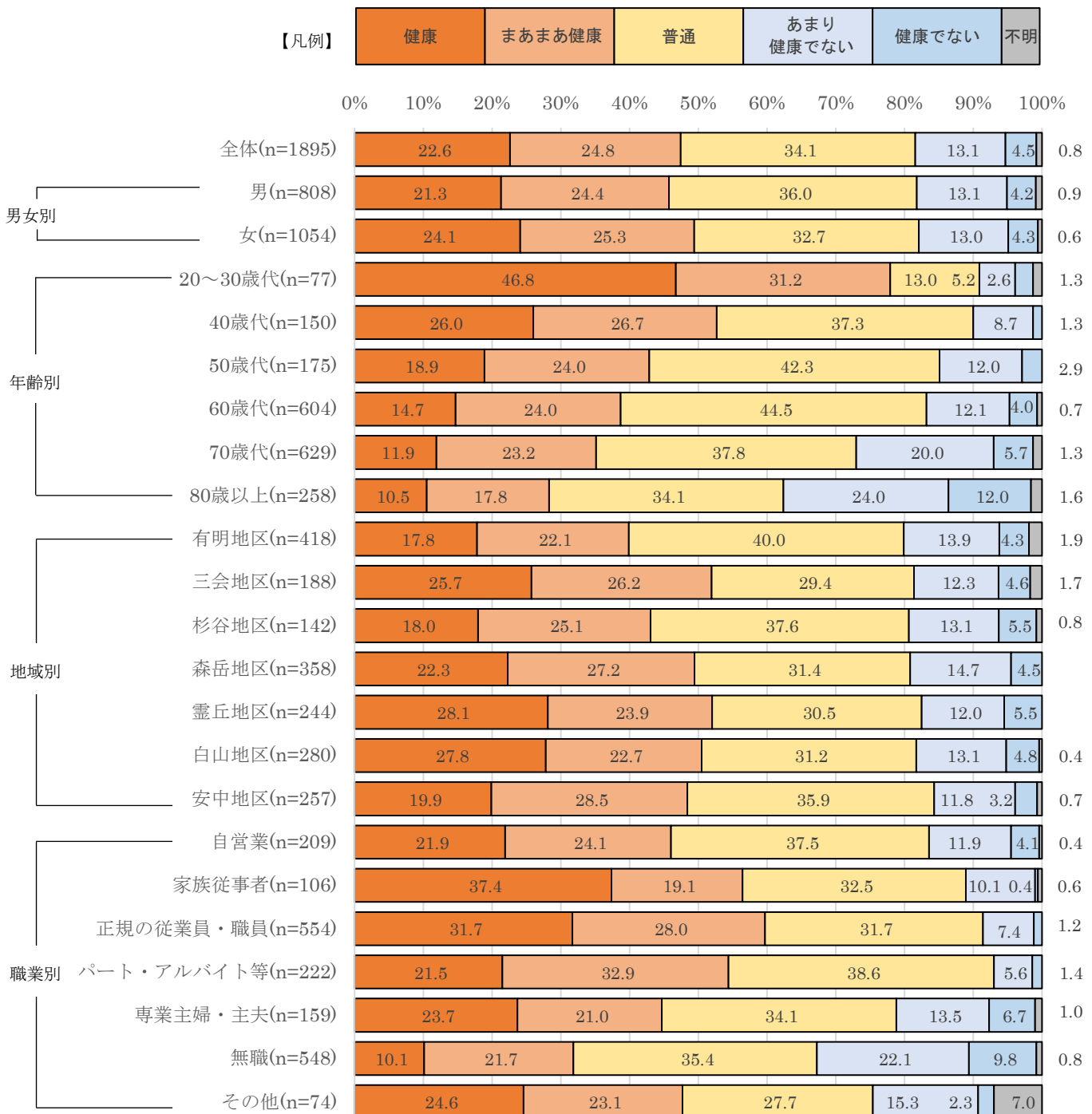


(3) 現在の健康状態

問8 あなたの現在の健康状態をお答えください (SA)

現在の健康状態を全体で見ると、「健康」、「まあまあ健康」と回答した割合は47.4%となった。

属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「20～30歳代」、職業別では「正規の従業員・職員」が最も高い割合となった。年齢別に比較すると、「20歳代」から年齢を重ねるにつれて「健康」、「まあまあ健康」と回答した割合は減少傾向にあった。

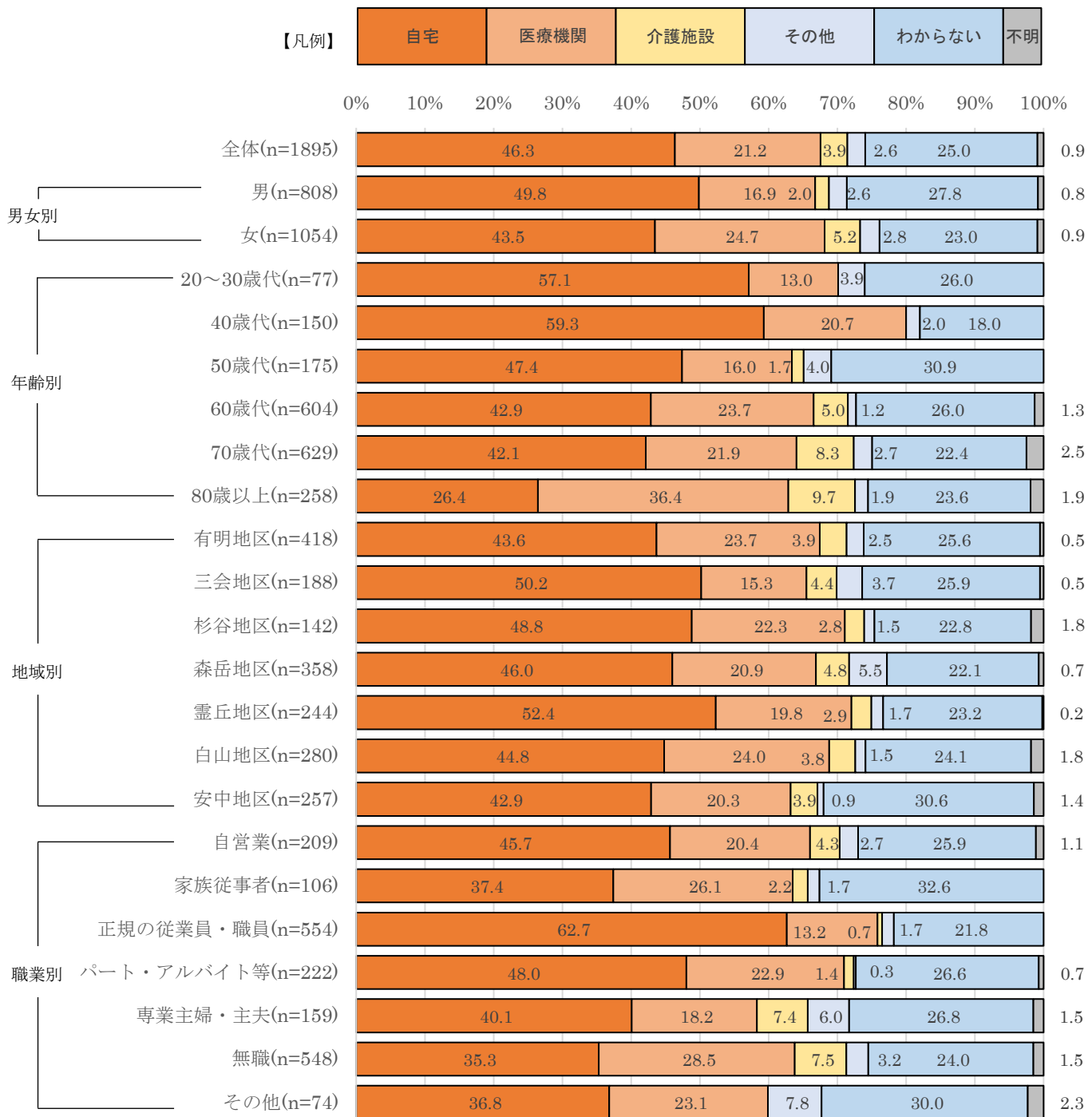


(4) 長期間の療養であなたが過ごしたい場所

問9 あなたが病気などで長期間の療養が必要になった場合、どこで過ごしたいですか。(SA)

長期間の療養で過ごしたい場所を全体で見ると、「自宅」と回答した割合が最も高く 46.3%を占め、「わからない」と回答した割合が 25%を占めた。

年齢別に比較すると、若い世代(20～30歳代、40歳代)は「自宅」と回答した割合は、過半数以上を占めているが、年齢を重ねるにつれて、「医療機関」、「介護施設」と回答した割合が増加傾向にあった。

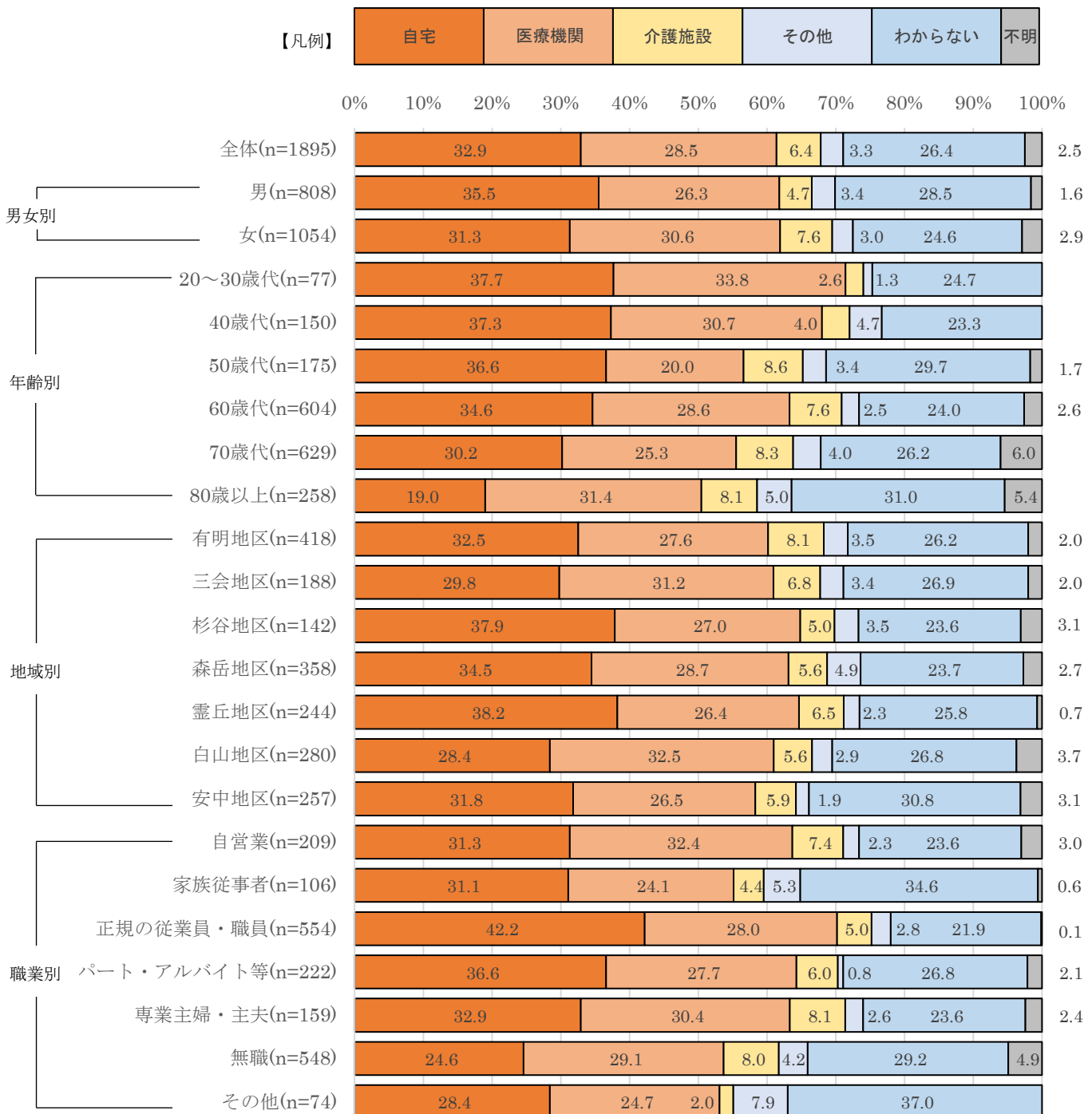


(5) 長期間の療養で家族を過ごさせたい場所

問10 あなたの家族が、病気などで長期間の療養が必要になった場合、どこで過ごさせたいですか。(SA)

長期間の療養で家族を過ごさせたい場所を全体で見ると、「自宅」と回答した割合は最も高く32.9%となった。

長期間の療養で「自分」が過ごしたい場所は「自宅」が約半数を占めたが、「家族」を過ごさせたい場所では「自宅」、「医療機関」、「わからない」がそれぞれ約3割を占める結果となった。

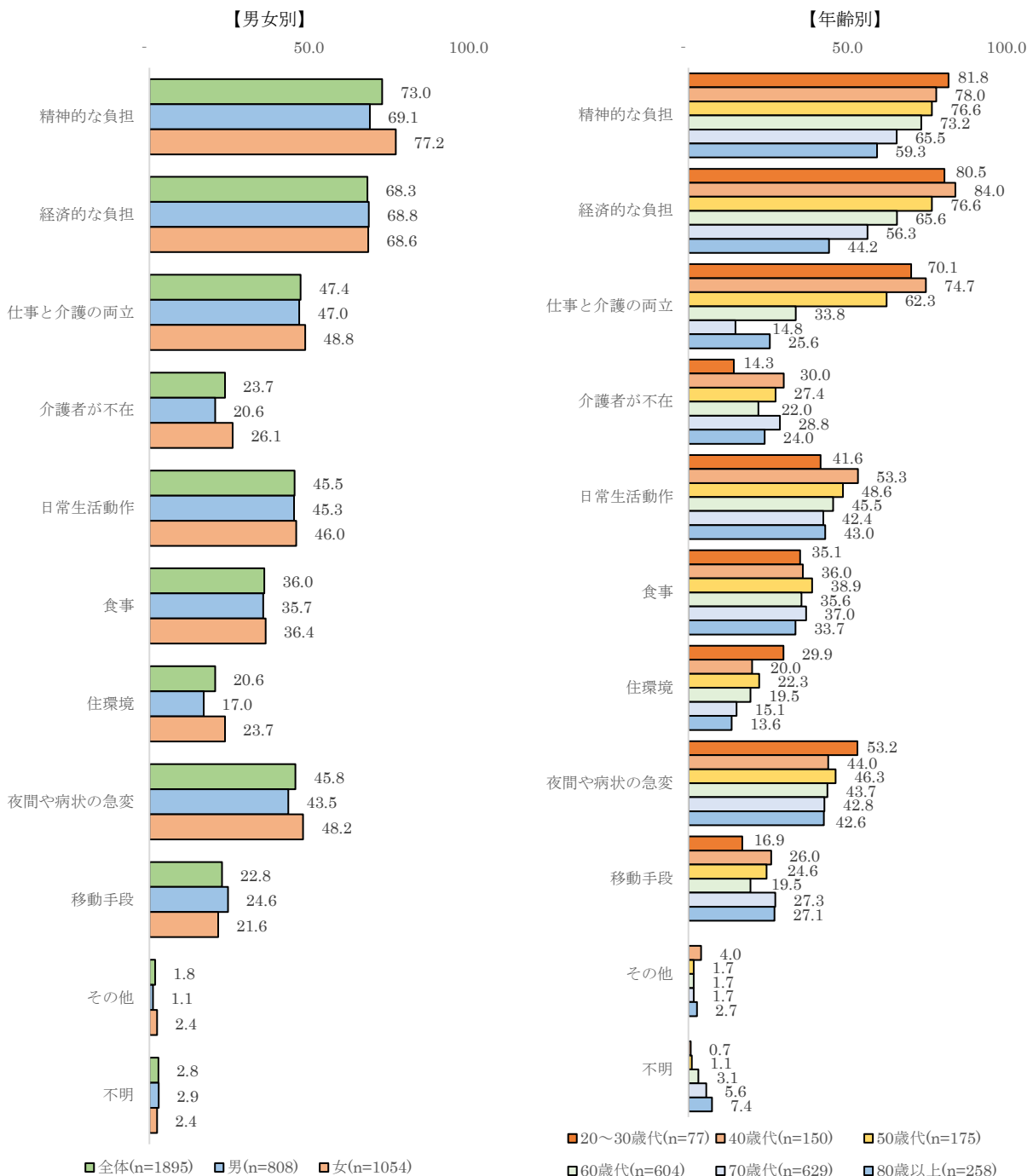


(6) -①自宅で病気療養をする時の不安(性別・年齢)

問11 あなたや家族が自宅で病気療養をすることになった場合、心配や不安に感じることは何だと思いますか。(MA:該当するもの全てに○)

自宅で病気療養をする時の不安を全体で見ると、「精神的な負担」が73%で最も高く、次いで「経済的な負担」(68.3%)、「仕事と介護の両立」(47.4%)となった。

若い世代は、「精神的な負担」、「経済的な負担」、「仕事と介護の両立」が高い傾向にあるが、年齢を重ねるにつれて、これらの不安は軽減する傾向にあった。

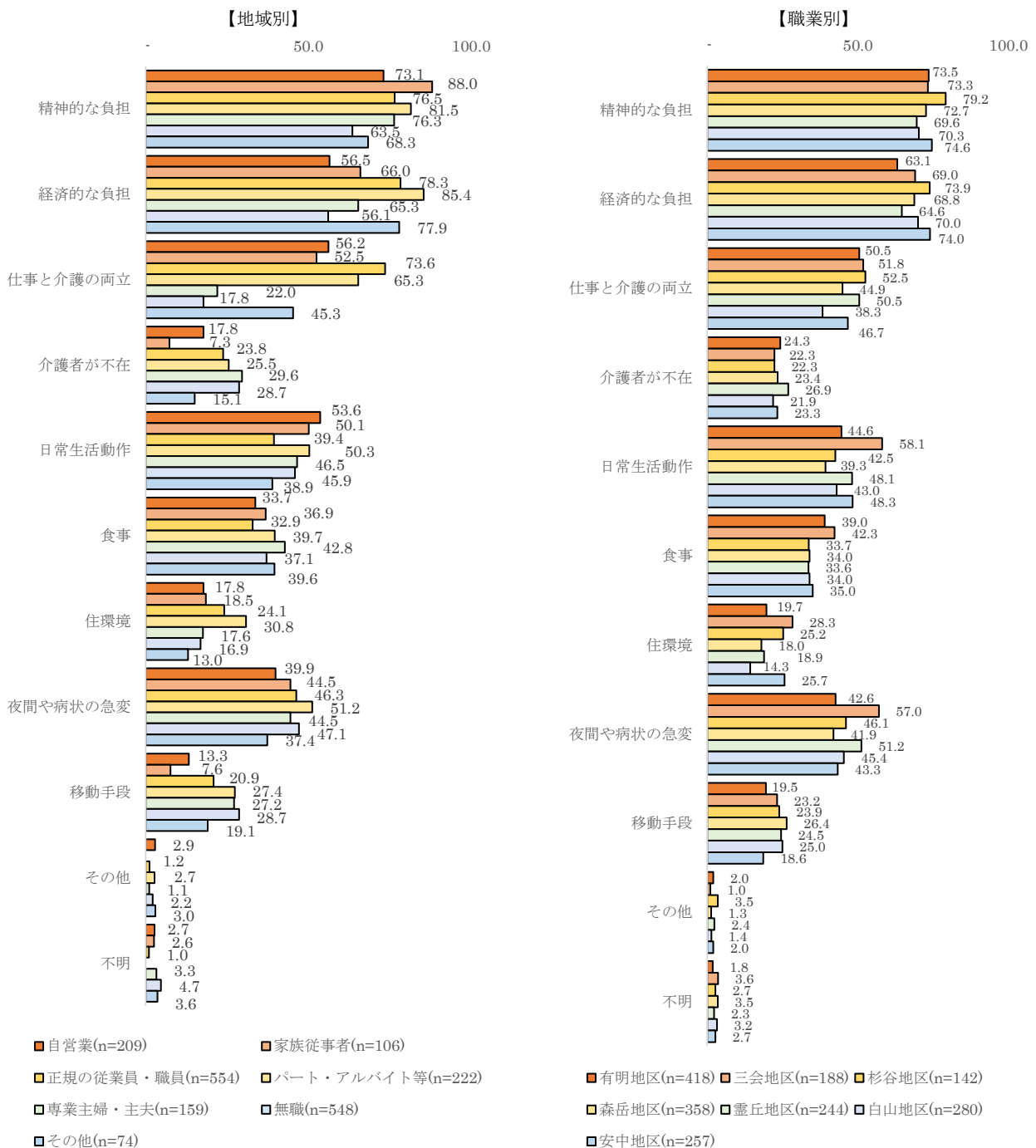


(6) -②自宅で病気療養をする時の不安（居住地域・職業）

問11 あなたや家族が自宅で病気療養をすることになった場合、心配や不安に感じることは何だと思いますか。(MA：該当するもの全てに○)

自宅で病気療養をする時の不安に関して、地域差はほとんど見られなかった。

職業別では、「正規の従業員・職員」は「仕事と介護の両立」の不安が高い傾向にあった。

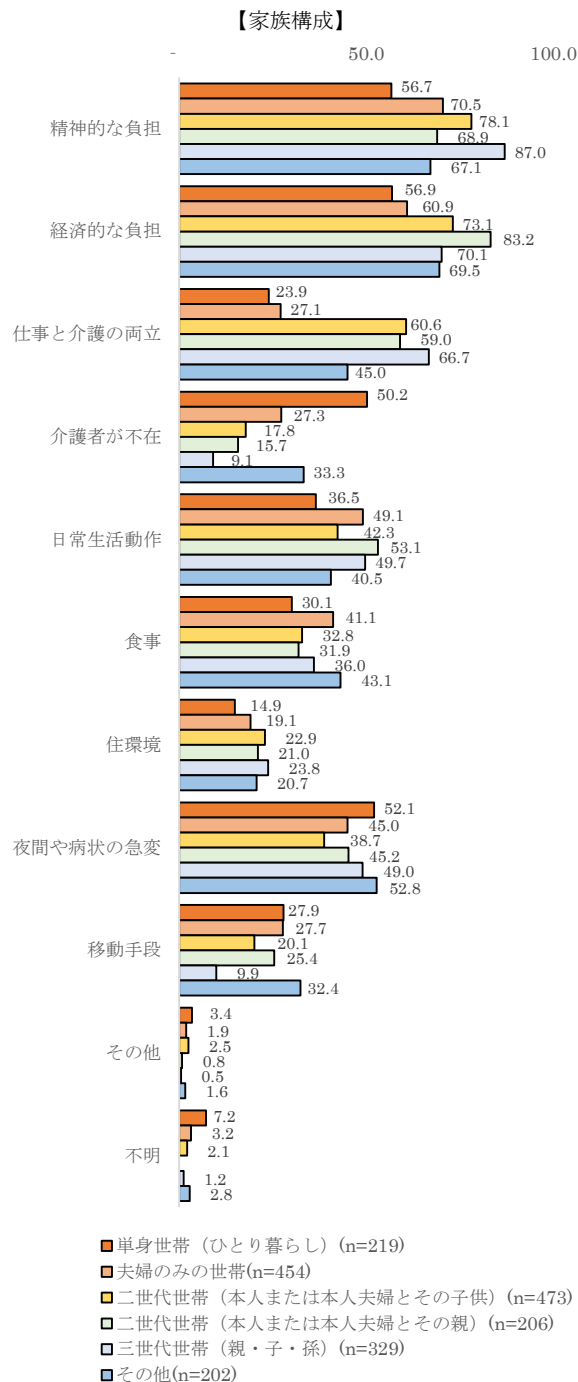


(6) -③自宅で病気療養をする時の不安（家族構成）

問11 あなたや家族が自宅で病気療養をすることになった場合、心配や不安に感じることは何だと思いますか。(MA：該当するもの全てに○)

自宅で病気療養をする時の不安に関して、家族構成別で見ると、全体で回答率が高かった「精神的な負担」、「経済的な負担」、「仕事と介護の両立」は「単身世帯」と「夫婦のみの世帯」は平均より低く、「二世世代世帯」や「三世世代世帯」で平均より高い傾向が見られた。

一方、「介護者が不在」については、「単身世帯」が全体に比べ26.5ポイント高いなど、特に不安視する傾向が見られた。

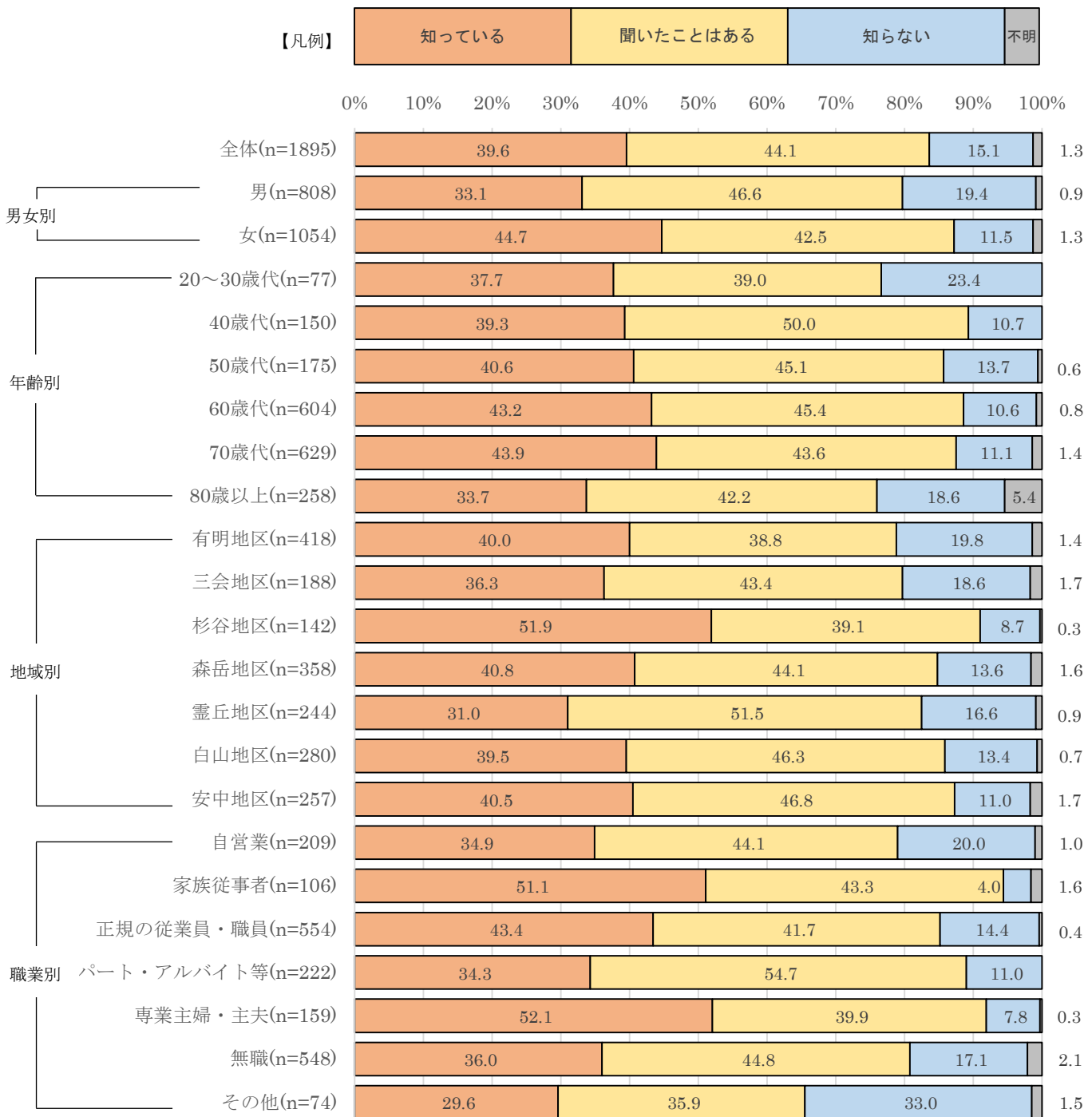


(7) 在宅医療の認知度

問12 あなたは在宅医療について知っていますか。(SA)

在宅医療の認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は、83.7%と高い傾向にあった。

各世代において、在宅医療の認知度は高く、「40歳代」は最も高く89.3%が「知っている」、「聞いたことはある」と回答した結果となった。

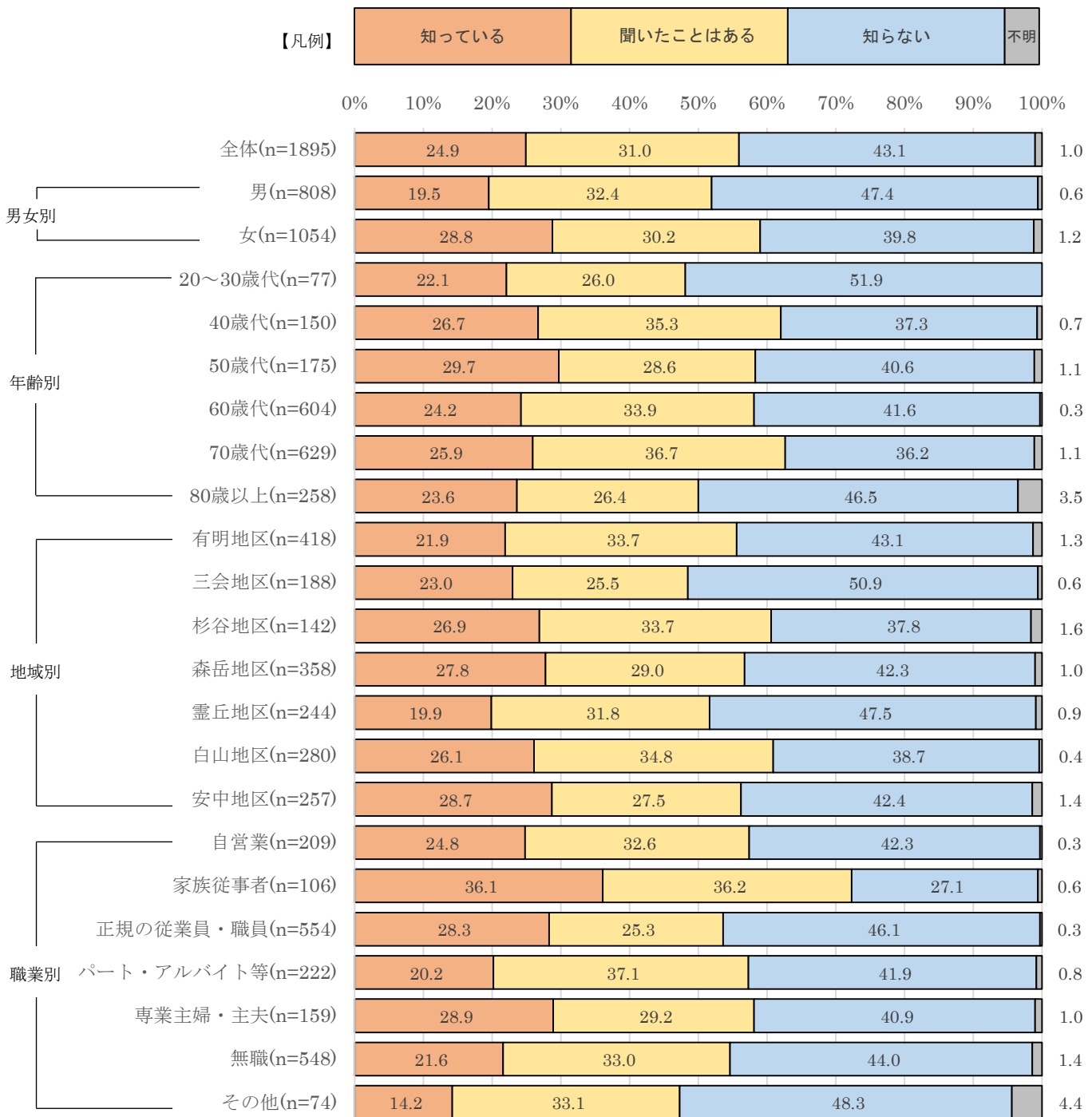


(8) 在宅医療に取り組んでいる医療機関の認知度

問13 在宅医療に取り組んでいる病院、診療所があることを知っていますか。(SA)

在宅医療に取り組んでいる医療機関の認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は55.9%であった。

属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「70歳代」、職業別では「家族従事者」が最も高い割合となった。各世代とも在宅医療に取り組んでいる医療機関の認知度は約半数を占める結果となった。

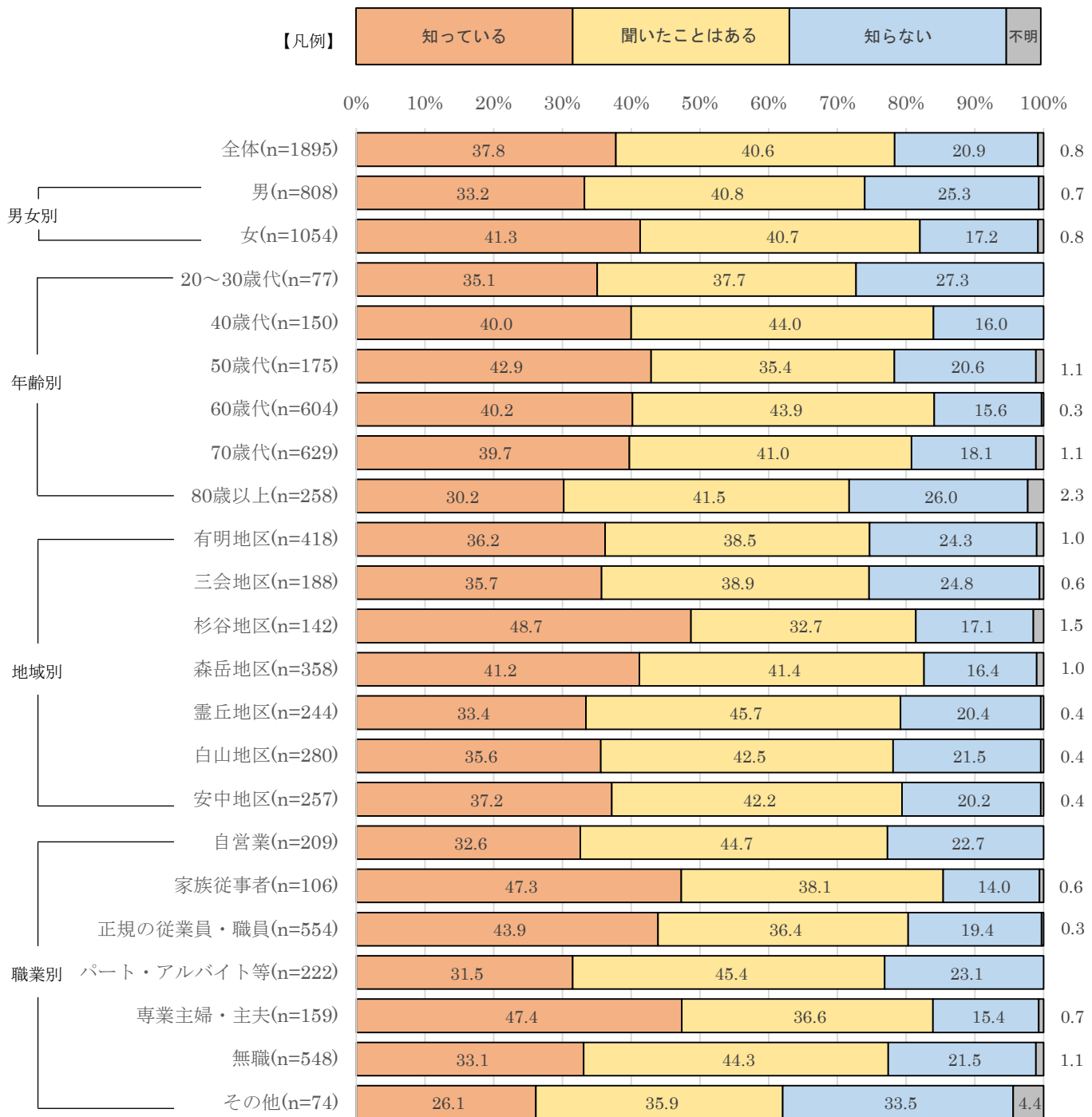


(9) 在宅介護の認知度

問14 あなたは在宅介護について知っていますか。(SA)

在宅介護の認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は78.4%と高い傾向にあった。

各世代において、在宅介護の認知度は高く、「60歳代」は最も高く84.1%が「知っている」、「聞いたことはある」と回答した結果となった。

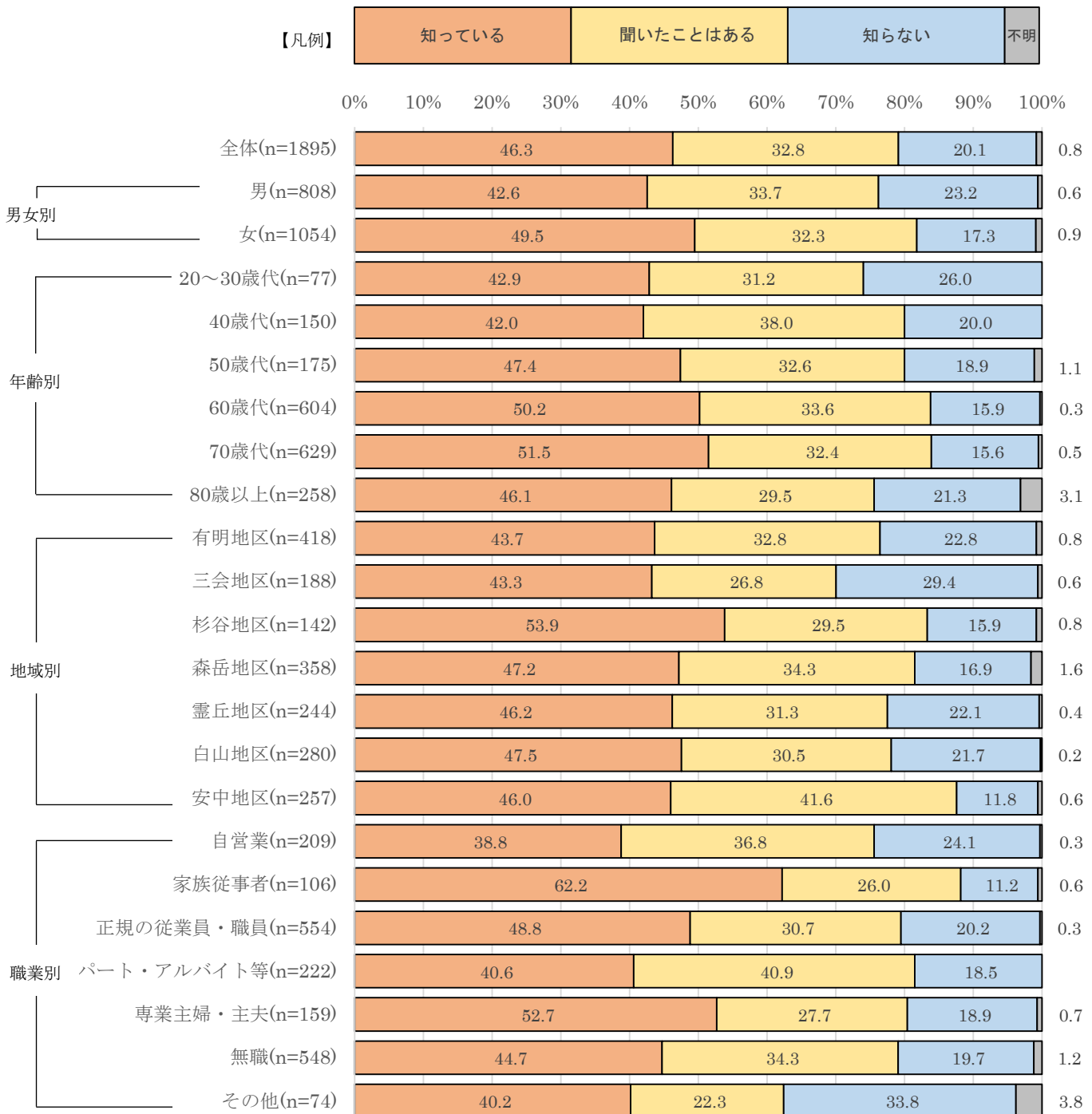


(10) 在宅介護に取り組んでいる事業所の認知度

問15 在宅介護に取り組んでいる事業所（デイサービスや訪問介護事業所等）があることを知っていますか。（SA）

在宅介護に取り組んでいる事業所の認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は79.1%となった。

各世代において、「知っている」と回答した割合は約半数であったが、「聞いたことはある」を含めると約8割が認知している結果となった。

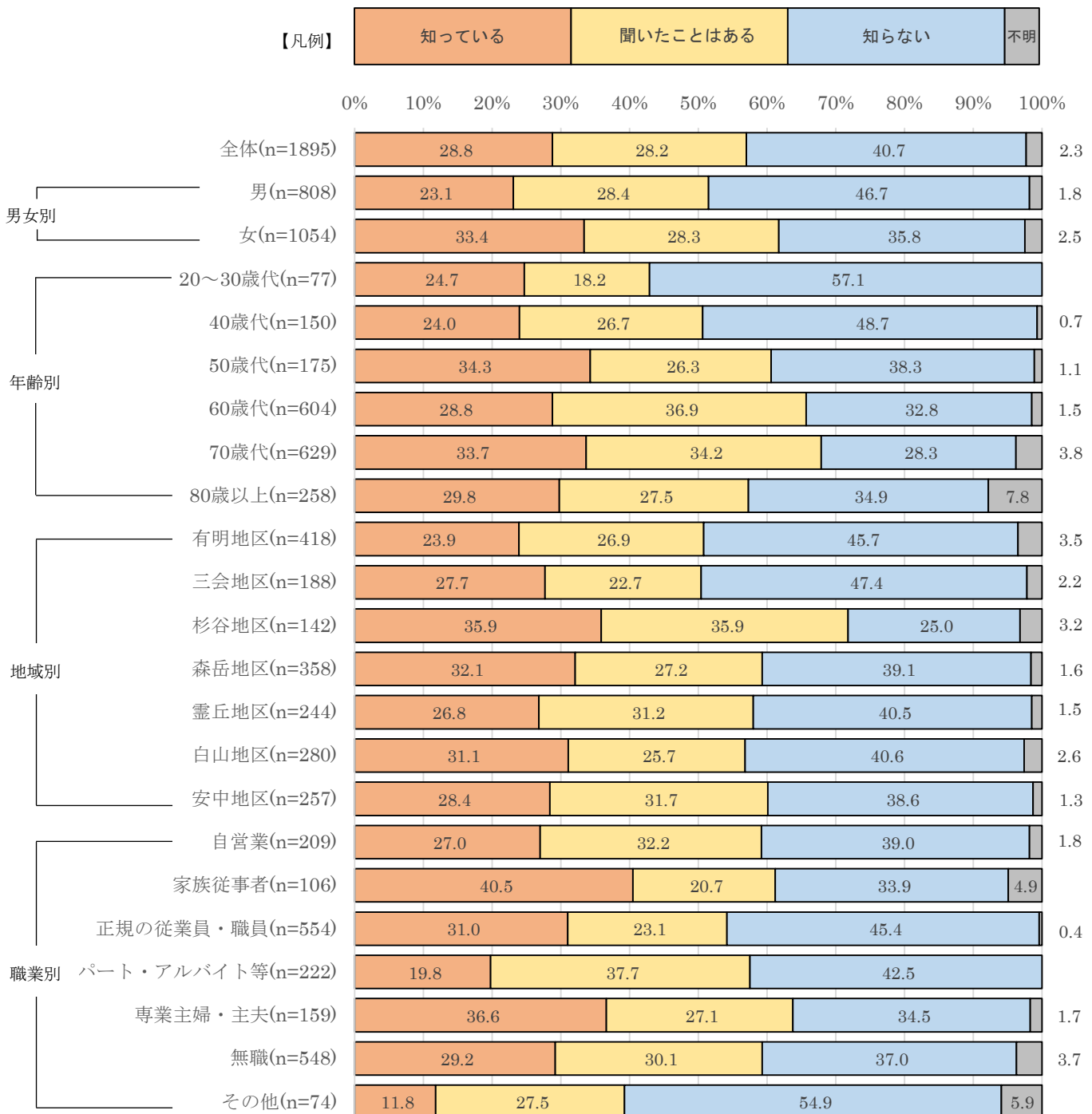


(11) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度

問16 島原市には在宅医療・介護の相談窓口として「島原市在宅医療・介護相談センター」がありますが知っていますか。(SA)

島原市在宅医療・介護相談センターの認知度を全体で見ると、「知っている」、「聞いたことがある」と回答した割合は57%となった。

「20～30歳代」から「70歳代」において、「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は増加傾向にあった。

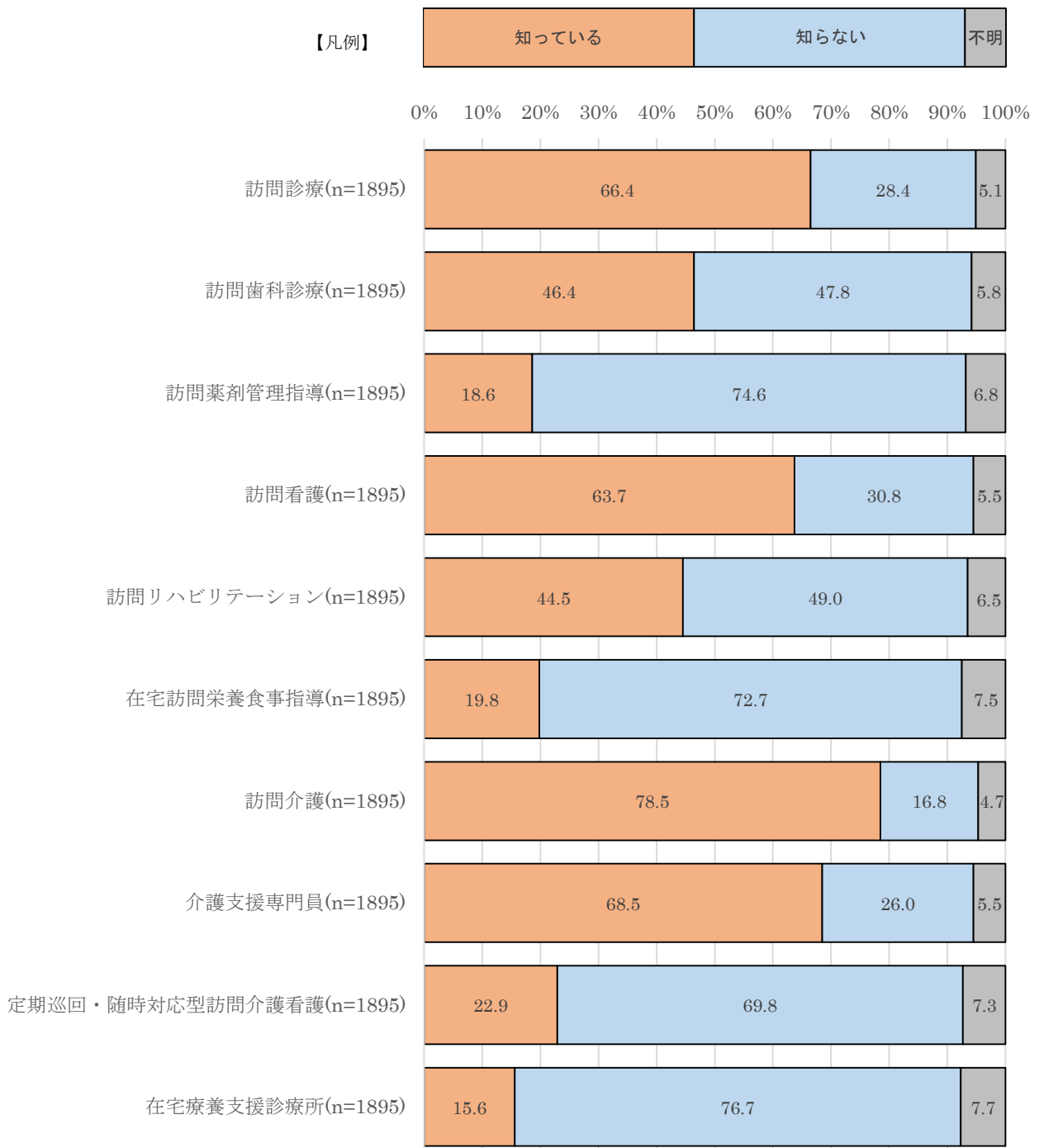


(12) 在宅医療・介護サービスの認知度

問17 以下のような在宅医療・介護のサービスをご存知ですか。(SA)

在宅医療・介護サービスにおいて認知度が最も高いサービスは「訪問介護」であった。

一方で、「訪問薬剤管理指導」、「在宅訪問栄養食事指導」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「在宅療養支援診療所」は認知度が20%前後と低い結果となった。

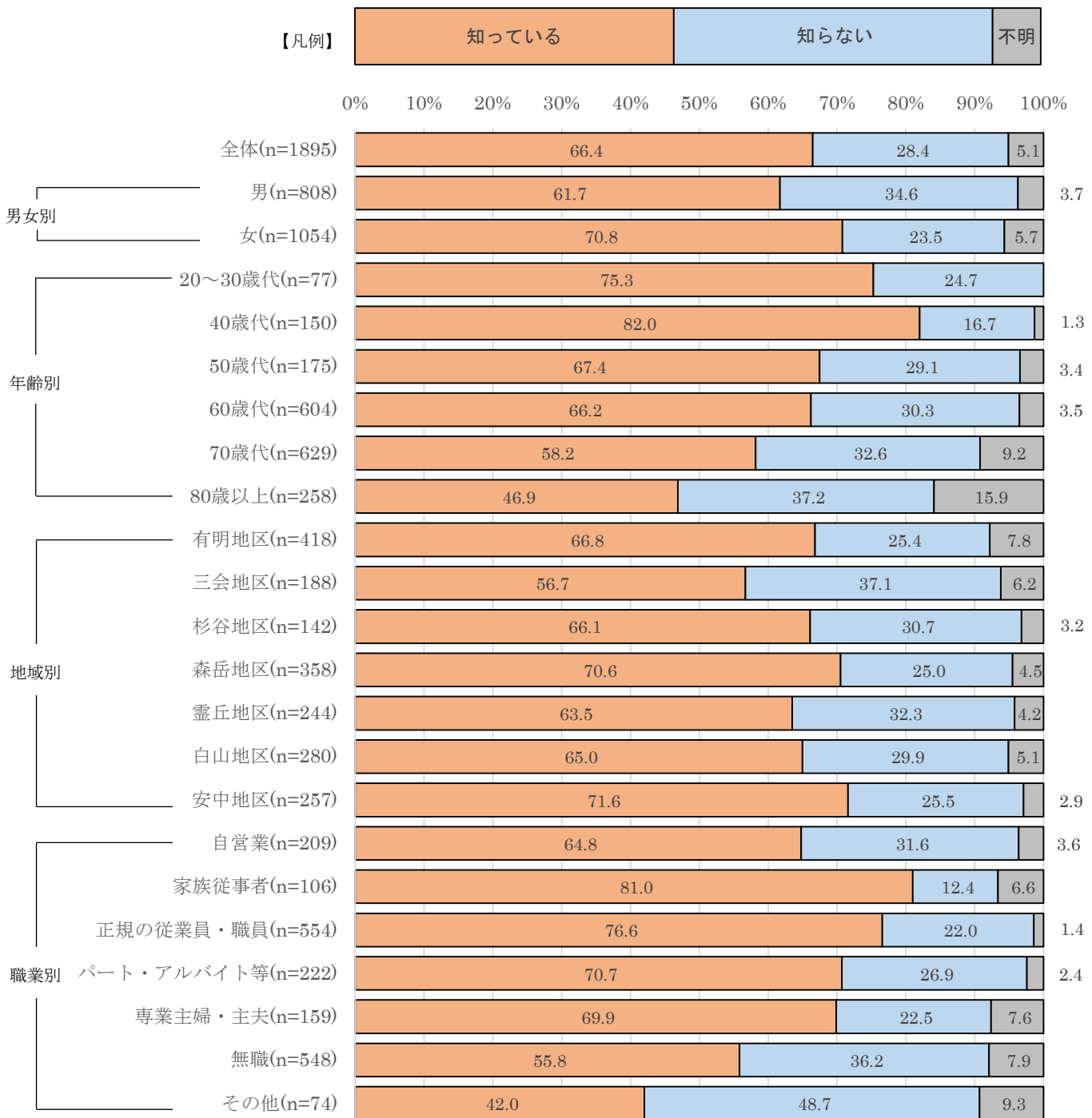


(13) 訪問診療の認知度

問17-ア あなたは訪問診療（医師の訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問診療の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は66.4%となった。

属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「40歳代」、職業別では「家族従事者」が最も高い割合となった。年齢別に比較すると、若い世代（20～30歳代、40歳代）が他世代と比較して認知度が高い傾向にあった。

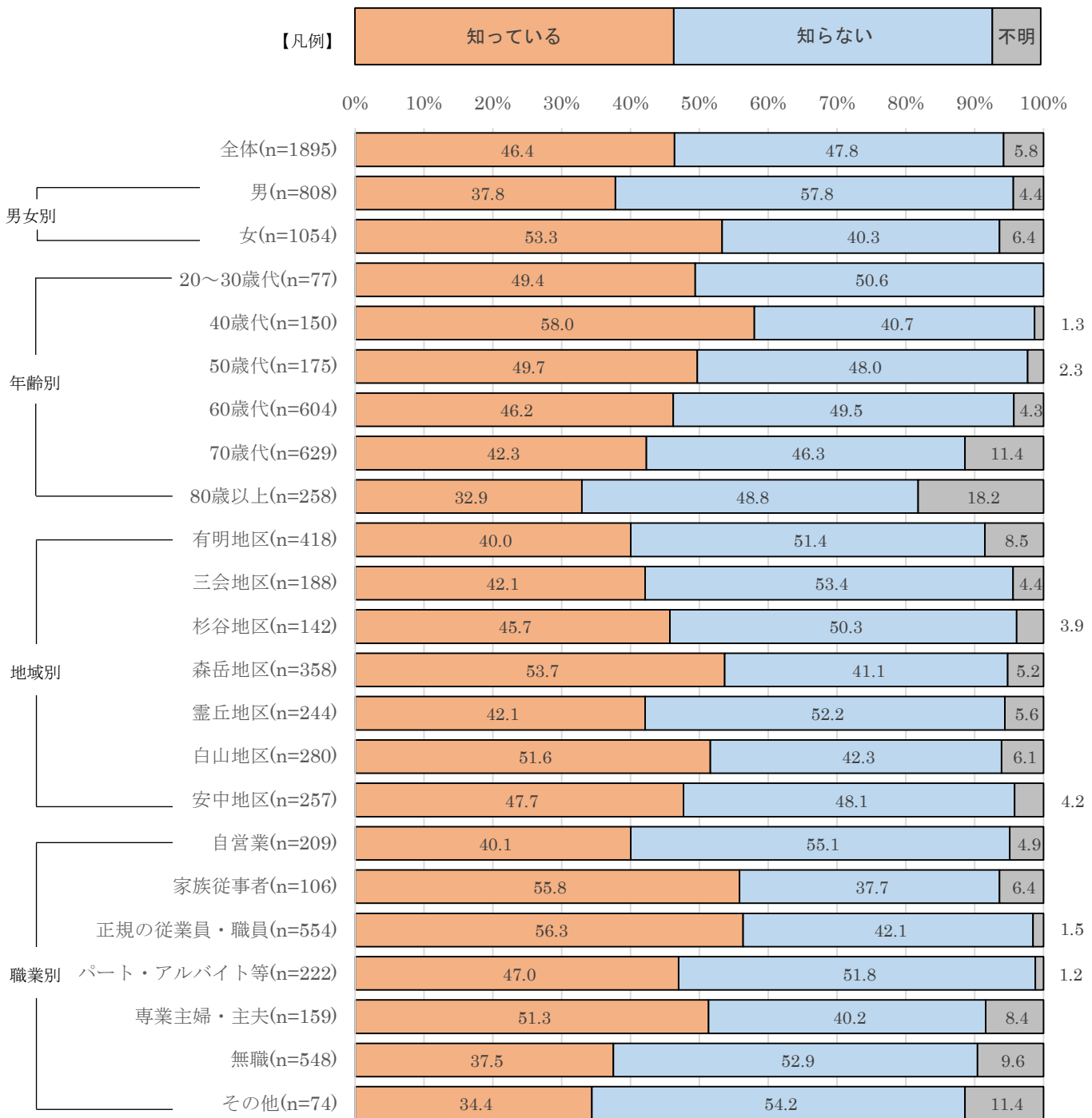


(14) 訪問歯科診療の認知度

問17-イ あなたは訪問歯科診療（歯科医師の訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問歯科診療の認知度を全体で見ると、「知っている」、「知らない」と回答した割合はほぼ同数となった。

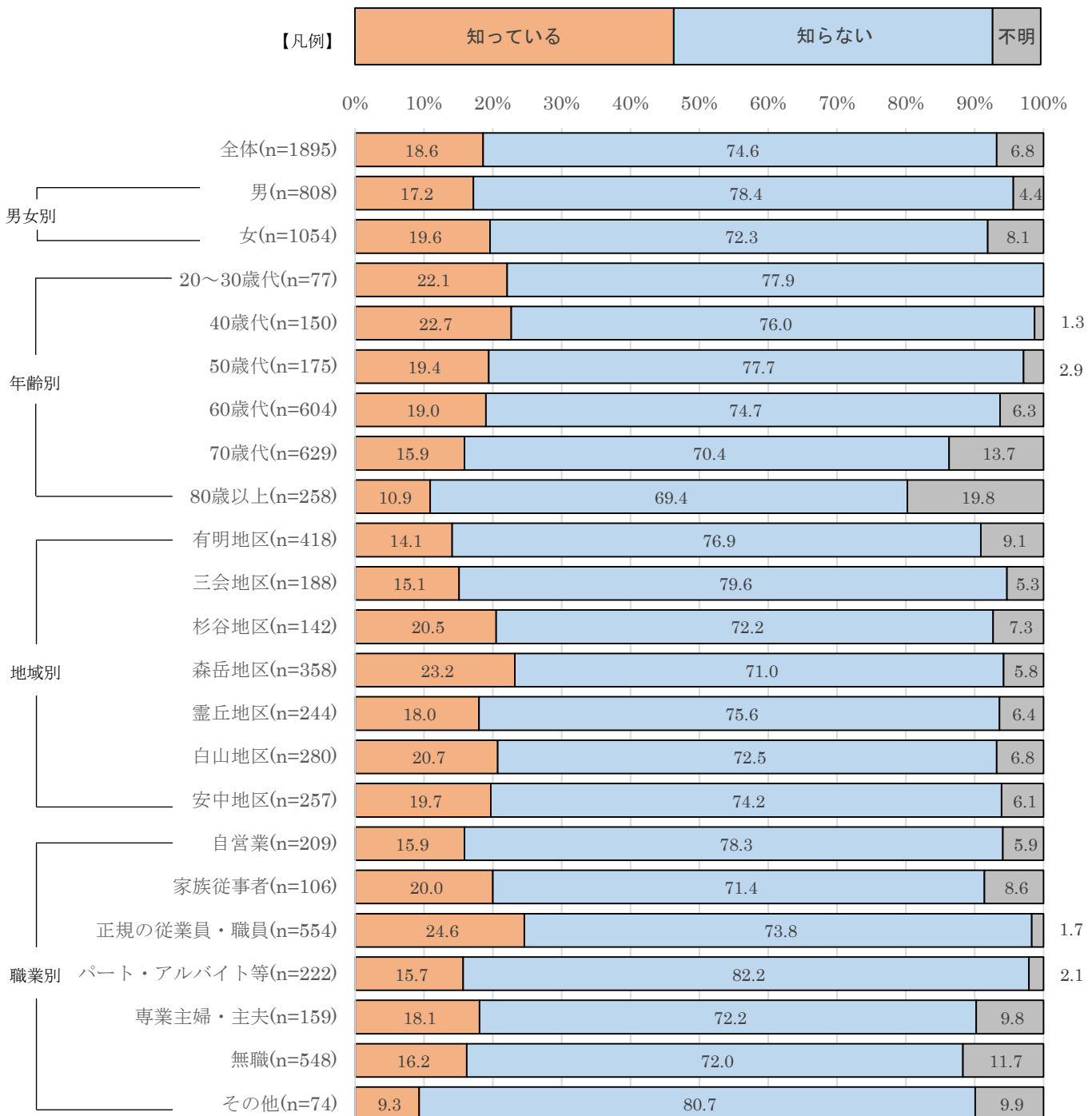
年齢別に比較すると、若い世代（20～30歳代、40歳代）の認知度が高い傾向にあるが、年齢を重ねるにつれて、「知っている」と回答した割合は減少傾向にあった。



(15) 訪問薬剤管理指導の認知度

問17-ウ あなたは訪問薬剤管理指導（薬剤師の訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問薬剤管理指導の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は18.6%であった。
各世代において、「知らない」と回答した割合が高く、認知度が低い結果となった。

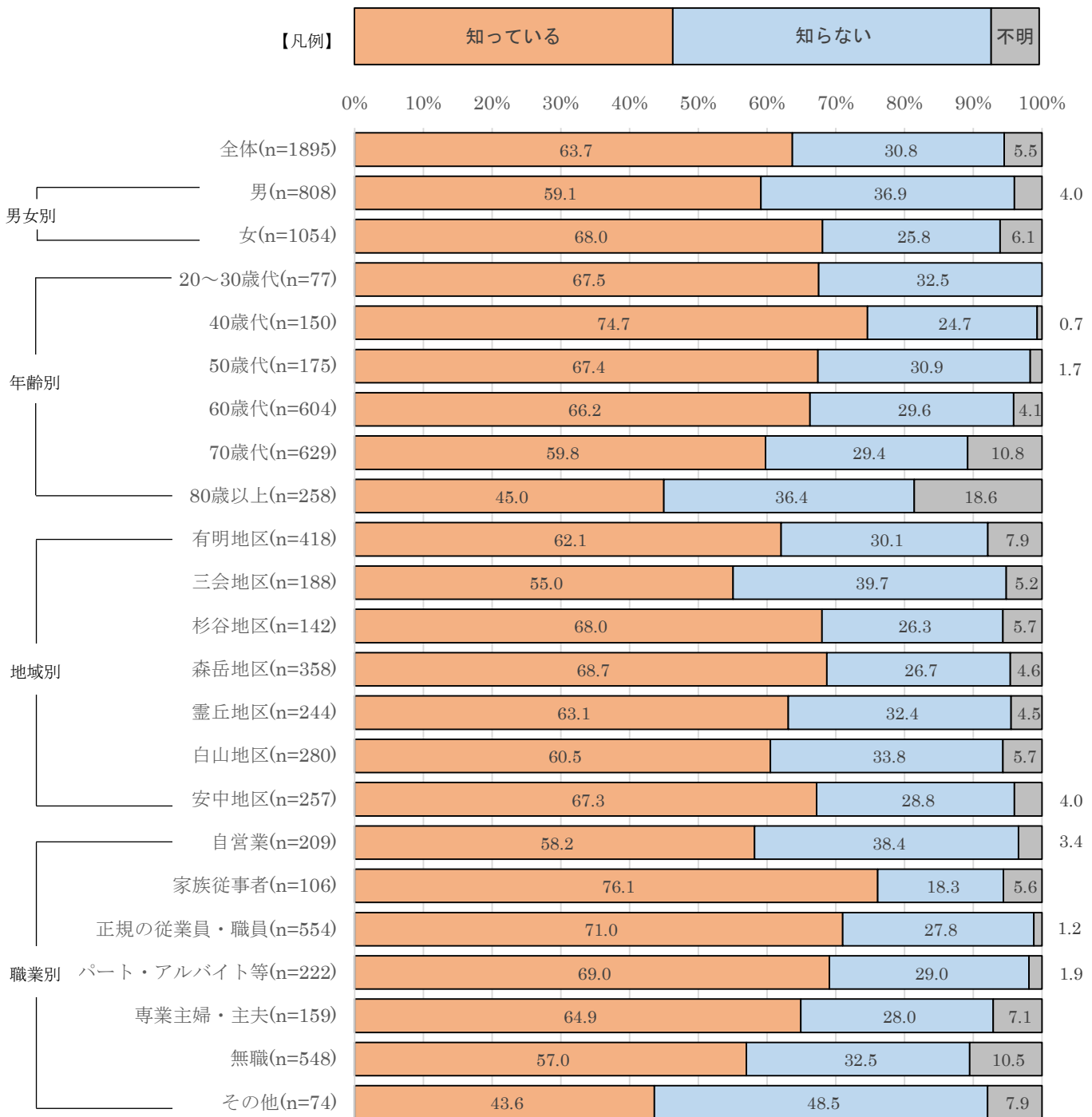


(16) 訪問看護の認知度

問17-E あなたは訪問看護（看護師などの訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問看護の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は63.7%であった。

属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「40歳代」、職業別では「家族従事者」が最も高い割合となった。各世代において「知っている」と回答した割合が高い結果となった。

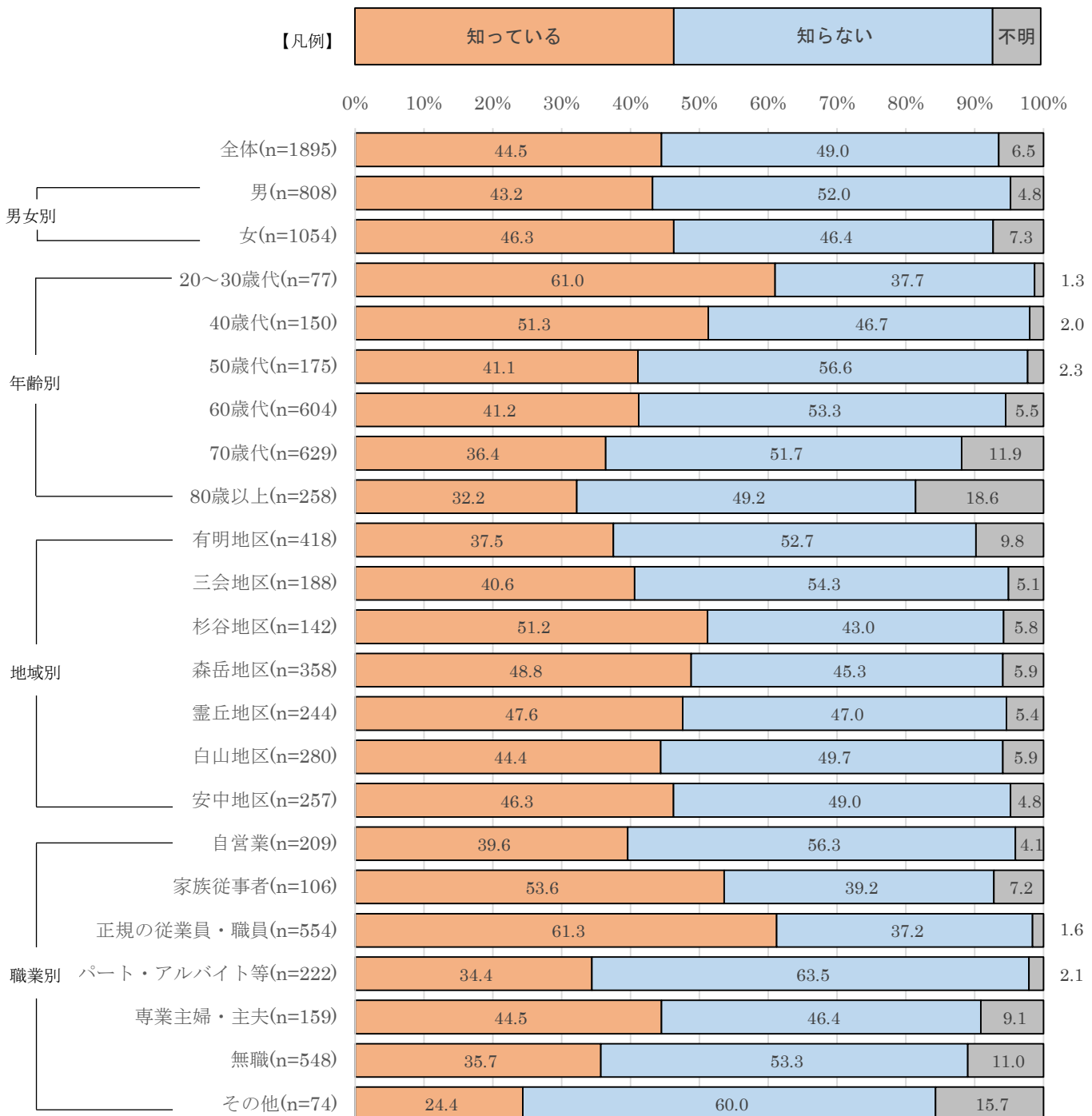


(17) 訪問リハビリテーションの認知度

問17-オ あなたは訪問リハビリテーション（リハビリ専門職の訪問）をご存知ですか。（SA）

訪問リハビリテーションの認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は44.5%であった。

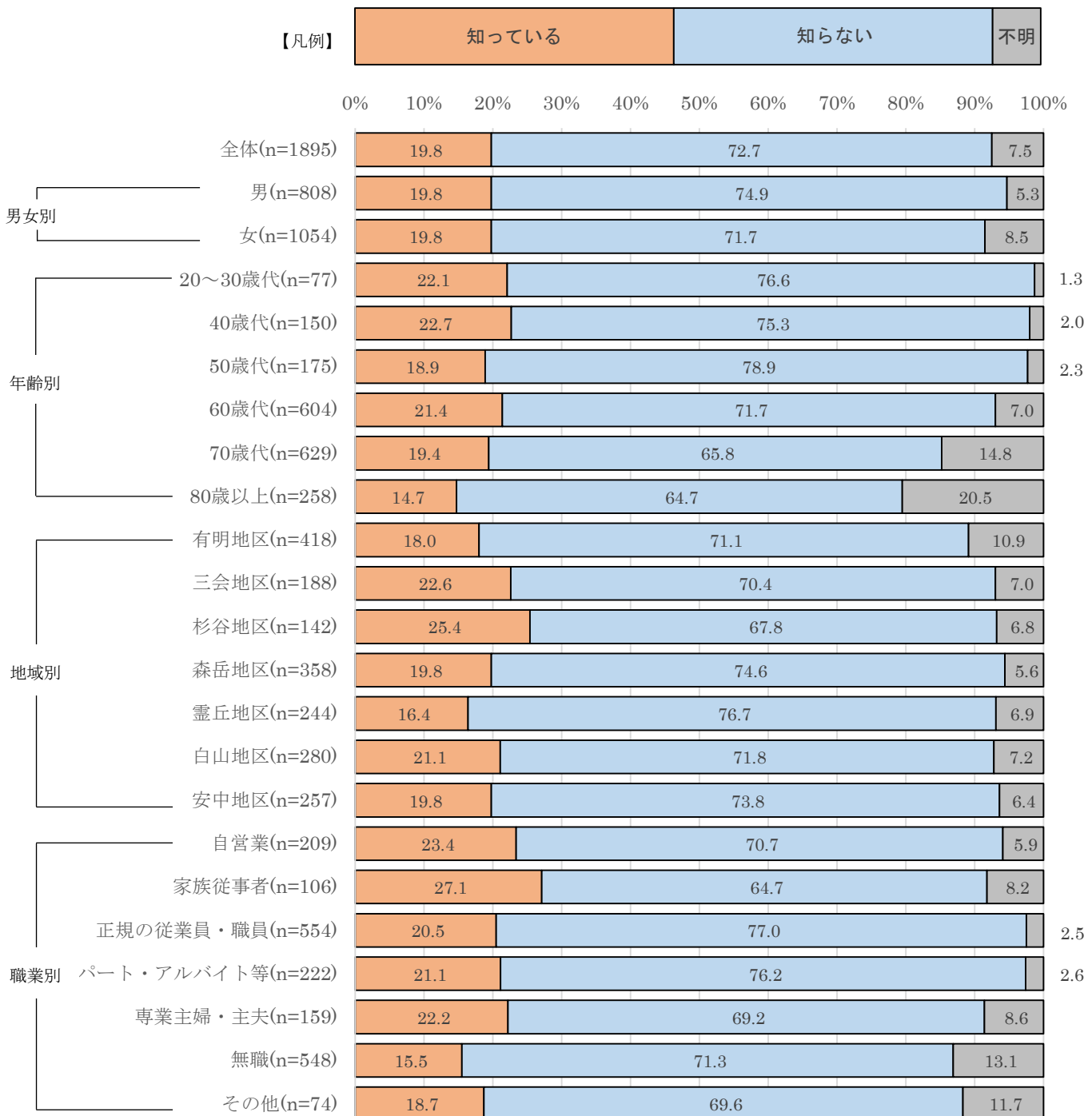
属性別に見ると男女別では「女性」、年齢別では「20～30歳代」、職業別では「正規の従業員・職員」が最も高い割合となった。年齢別に比較すると、若い世代（20～30歳代・40歳代）の認知度が高い傾向にあった。



(18) 在宅訪問栄養食事指導の認知度

問17-カ あなたは在宅訪問栄養食事指導（管理栄養士の訪問）をご存知ですか。（SA）

在宅訪問栄養食事指導の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は19.8%であった。属性別に見ると男女別では「男性」、「女性」が同率であり、年齢別では「40歳代」、職業別では「家族従事者」が最も高い割合となった。各世代において、「知らない」と回答した割合が高く、認知度が低い結果となった。

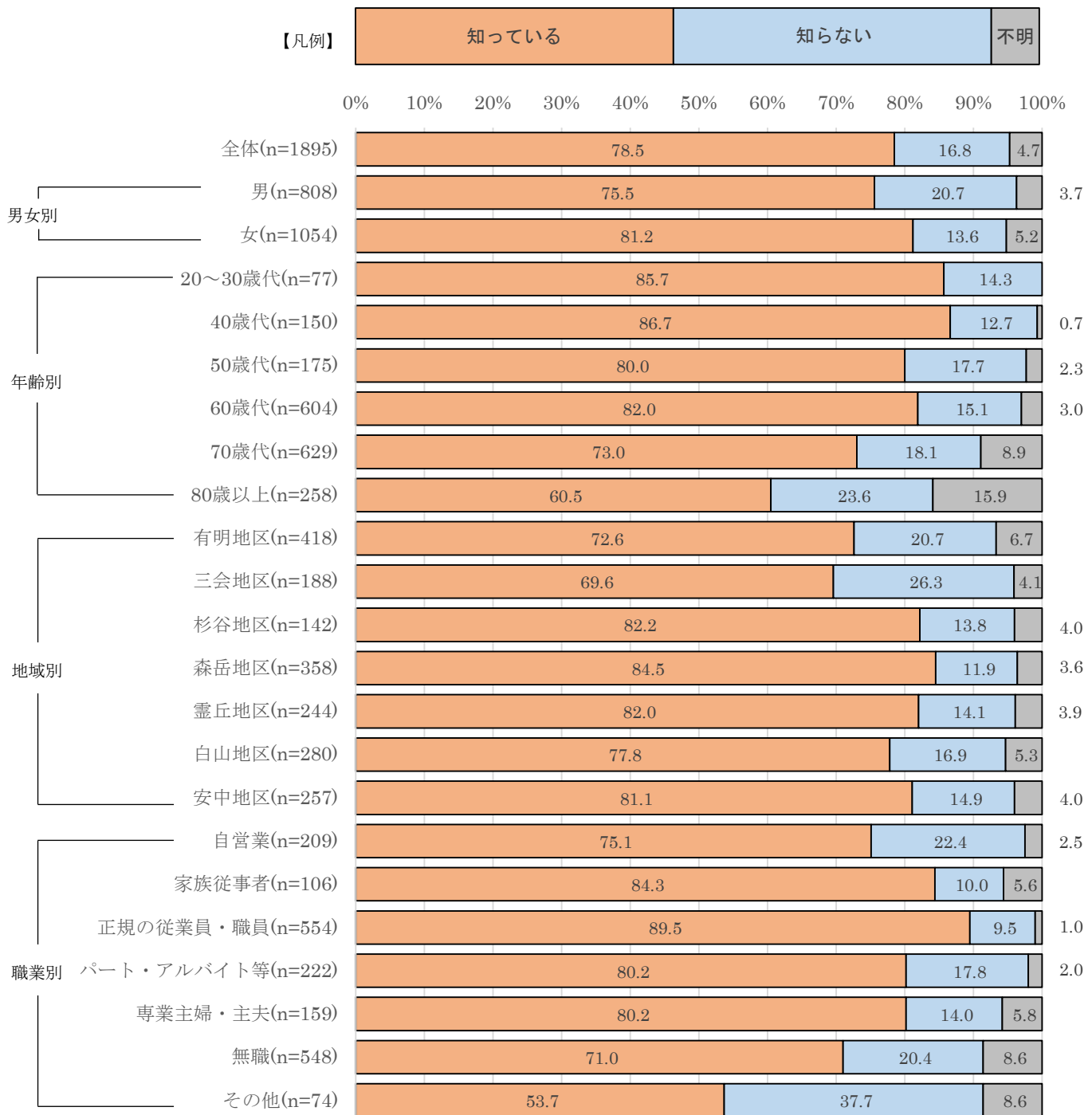


(19) 訪問介護の認知度

問17-キ あなたは訪問介護（ホームヘルパーの訪問）をご存知ですか。(SA)

訪問介護の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は78.5%であった。

各世代において認知度が高く、本調査の在宅医療・介護サービスの認知度において「知っている」と回答した割合が最も高い結果となった。

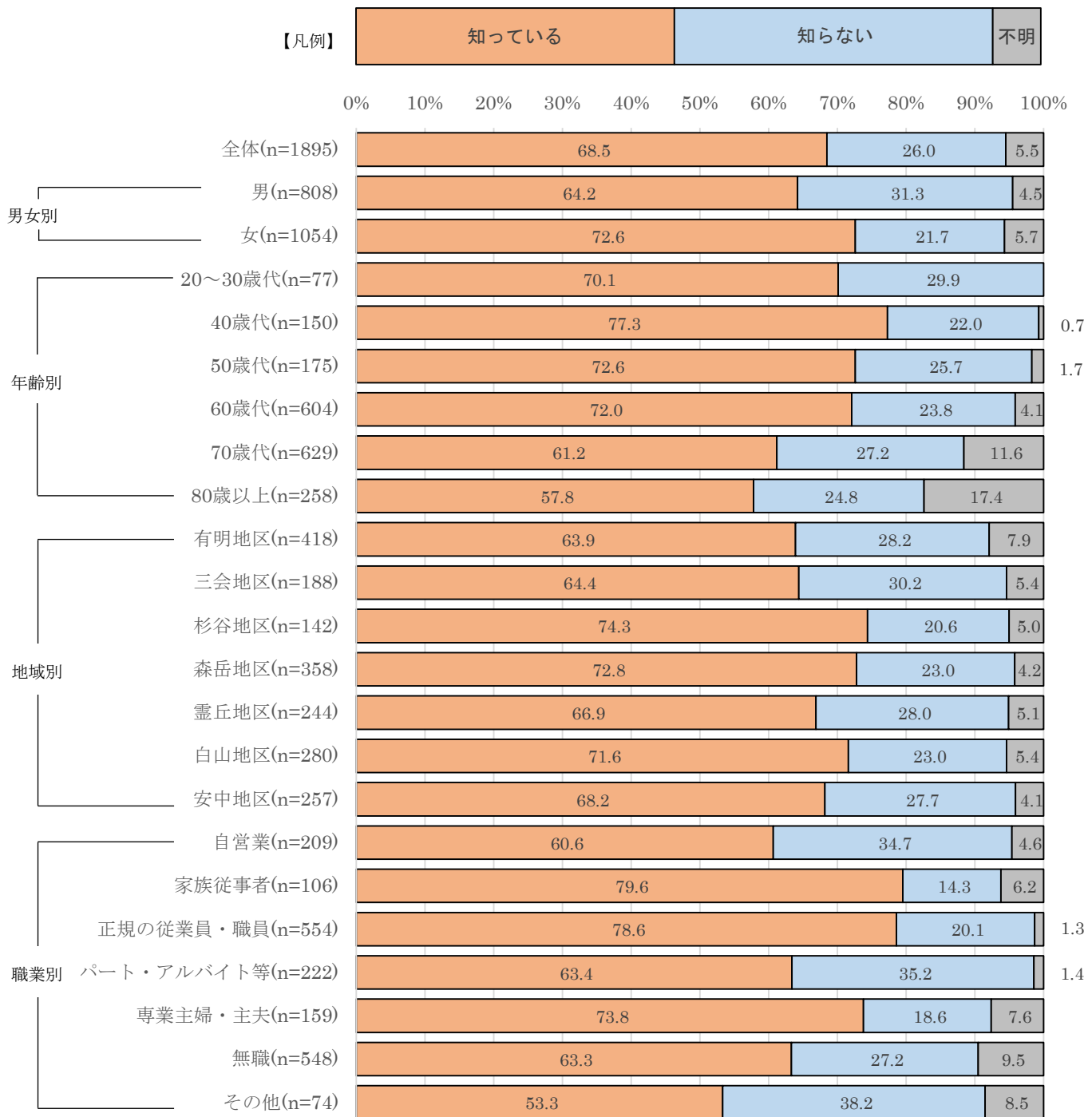


(20) 介護支援専門員の認知度

問17-ク あなたは介護支援専門員（ケアマネジャー）をご存知ですか。（SA）

介護支援専門員の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は68.5%であった。

各世代において認知度が高く、本調査の在宅医療・介護サービスの認知度において「知っている」と回答した割合が2番目に高い結果となった。

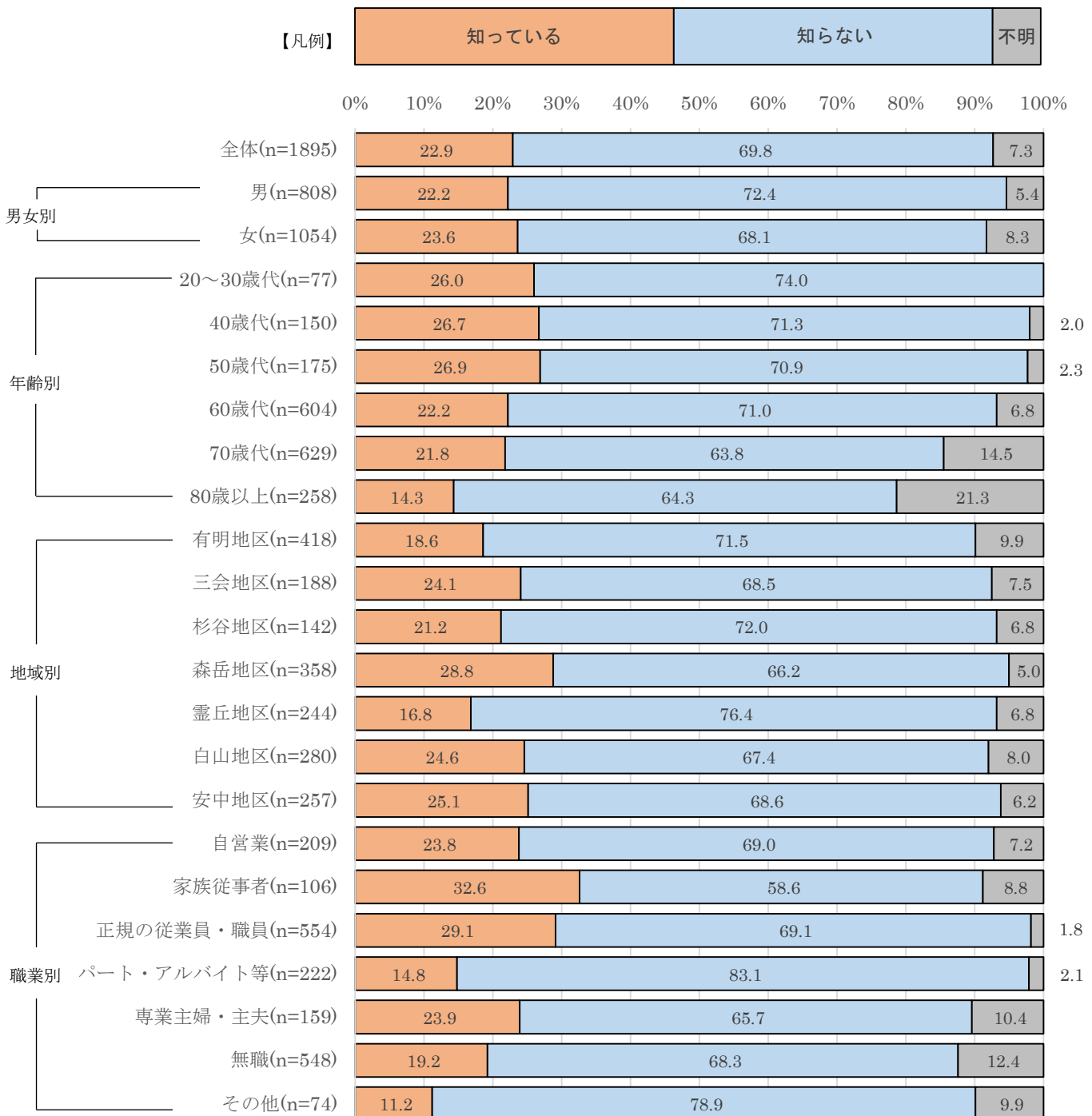


(21) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の認知度

問17-ケ あなたは定期巡回・随時対応型訪問介護看護をご存知ですか。(SA)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は22.9%であった。

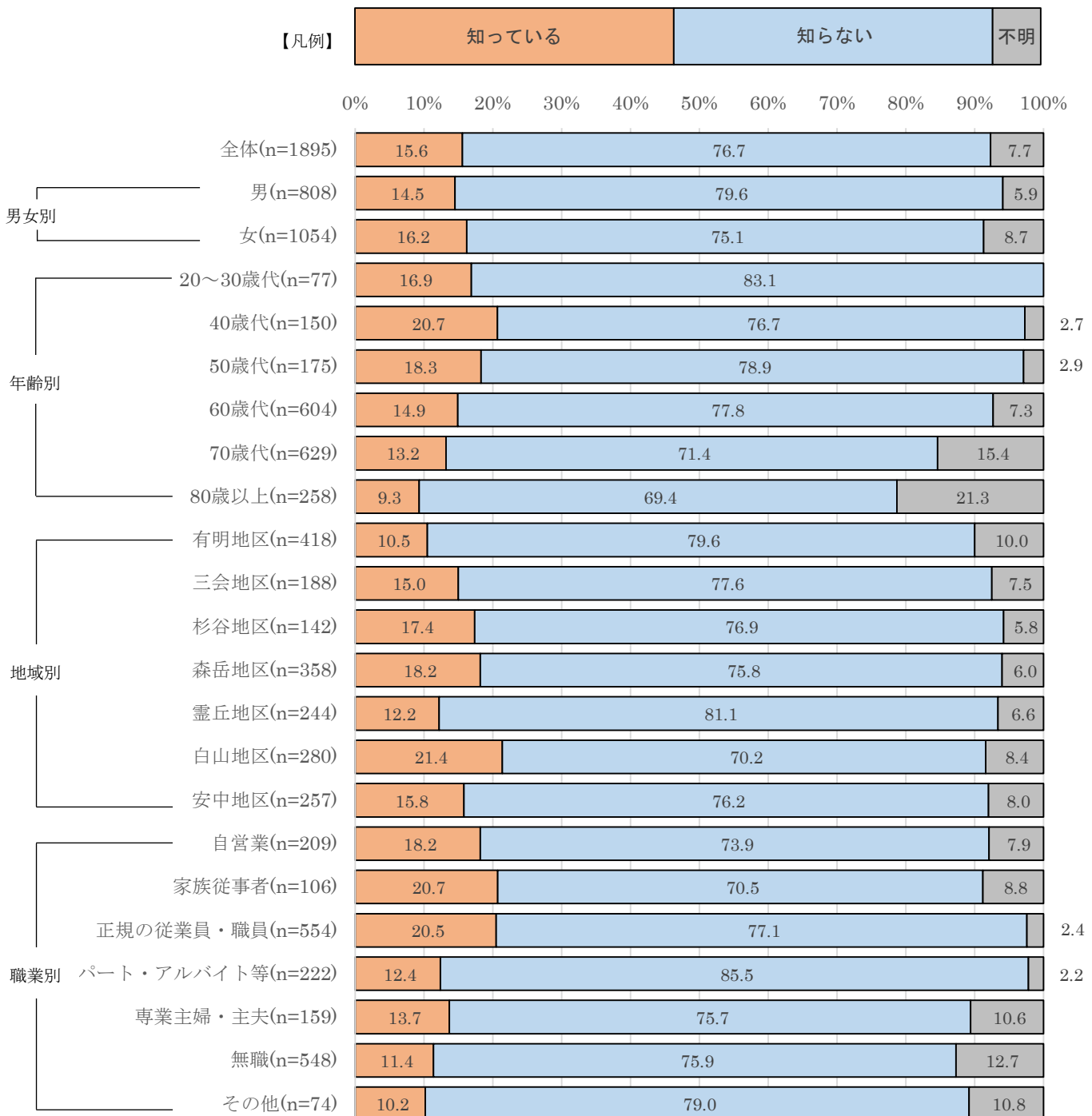
島原市内に定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所数は少ないため、各世代の認知度も低い結果となった。



(22) 在宅療養支援診療所の認知度

問17-コ あなたは在宅療養支援診療所をご存知ですか。(SA)

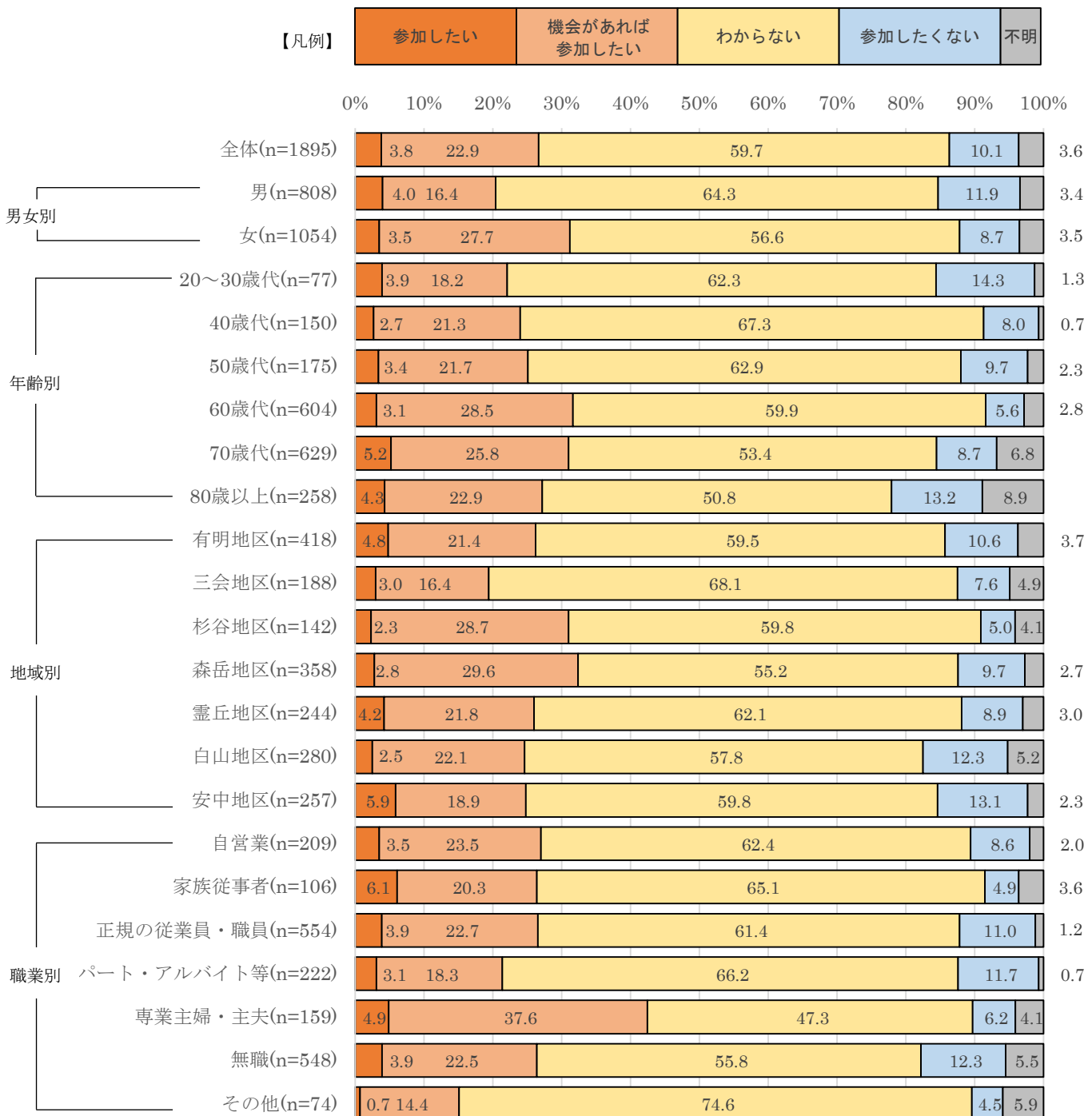
在宅療養支援診療所の認知度を全体で見ると、「知っている」と回答した割合は15.6%であった。
島原市内に在宅療養支援診療所の事業所数が少ないため、各世代の認知度も最も低い結果となった。



(23) ー①在宅医療に関する講演会

問18 あなたは在宅医療に関する講演会などがあったら、参加したいと思いますか。(SA)

在宅医療に関する講演会の参加希望を全体で見ると、「参加したい」、「機会があれば参加したい」と回答した割合は26.7%となった。全体的に「参加したくない」と回答した割合は低く、「わからない」と回答した割合が最も高い結果となった。職業別では、「専業主婦・主夫」が他職種と比較して、「機会があれば参加したい」と回答する割合が高い傾向にあった。



(23) ②在宅医療に関する講演会(参加してみたいテーマ)

問18 「ぜひ参加したい」、「機会があれば参加したい」と回答した方にお聞きします。
参加してみたいテーマなどご自由にお書きください。(FA)

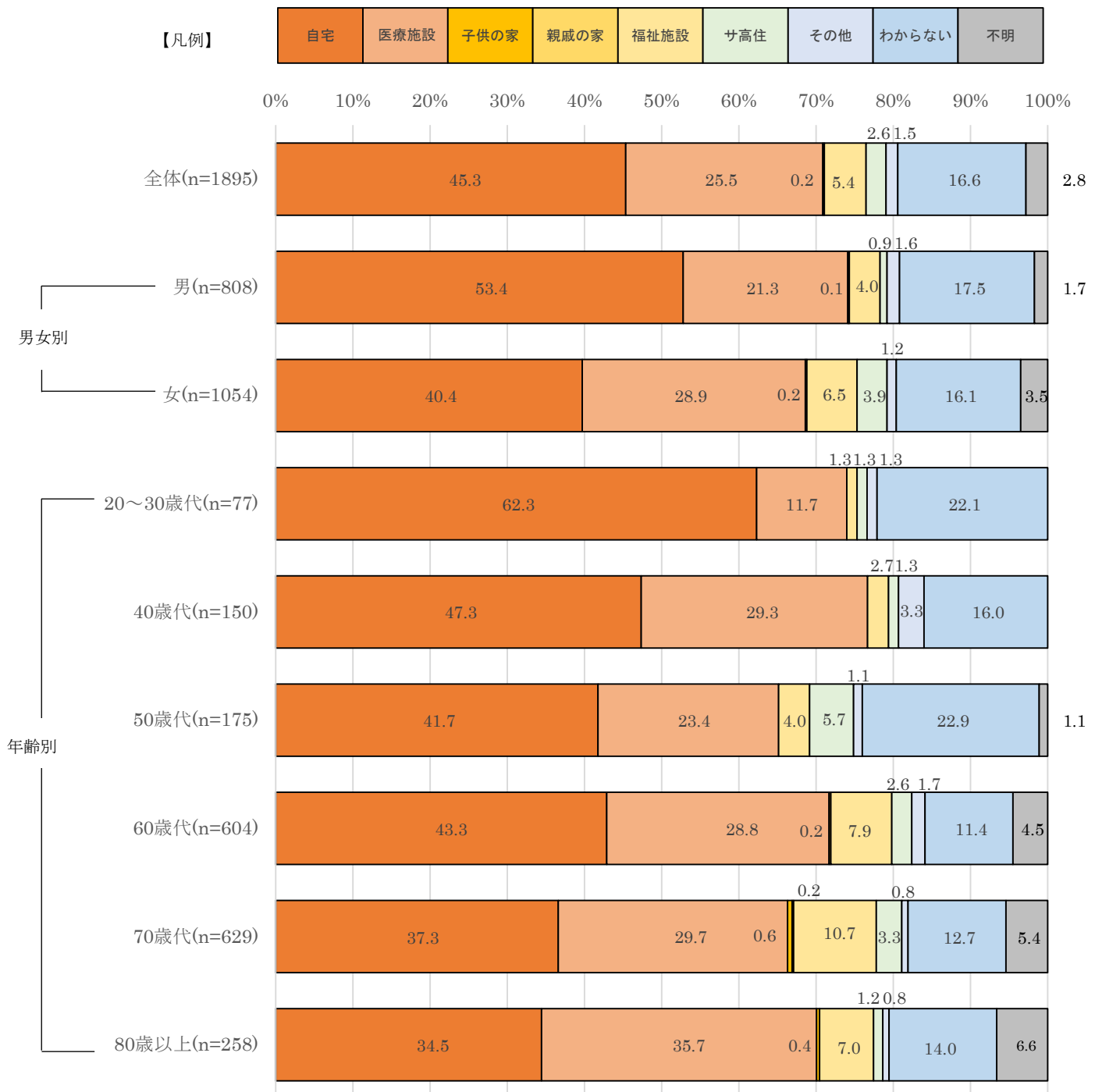
在宅医療に関する講演会の参加したいテーマの自由記述を分類すると、以下のとおりになった。

	意見(抜粋)
在宅医療(48件)	在宅医療の事がほとんど理解していないのでテーマは「在宅医療とは何か」/ 「在宅医療の実情」専門家からの良かった点だけでなく、経験者からの不足点 や改善点なども聞きたい/など
在宅介護(26件)	食事、お風呂の入れ方など、家での介護の指導/家族の精神的負担について/ 精神的ケアにおいて要介護者と介護者両方の実態とケア方法/介護する家族 の心構え、留意すべき事など/介護者の負担を少しでもやわらげる方法をテー マとした内容/など
制度(26件)	利用するための手続きについて/経済的負担(年金でまかなえるか)/在宅医療 と介護の両方は範囲が広すぎるので、相談する機関等/受診する病気ごとの違 い等、受診料のしくみ/など
サービス(22件)	定期巡回・随時対応型訪問介護を知りたい/介護補助を受けられる日数、時間 など/「介護相談センターについて」窓口の場所どこにあるのか/訪問リハビリな どの内容を聞いてみたい/在宅医療で受けられるサービス等/など
認知症(10件)	認知症もしくは軽度認知症の方の介護/認知症で骨折(足やひざなど)したとき、 体位移動の仕方など教えてほしい/認知症の医療機関が島原市にどのくらいあ るのか、入院費は月いくら位かかるかを知りたい/など
ターミナル(8件)	在宅でどの程度まで看取る事が出来るか/高齢となり人生の終わりにどのよう な暮らしをしたら良いか/癌の末期患者のホスピス、緩和ケア/在宅で最期を迎 えるためには/など
食事・栄養(6件)	食事に関するテーマ/飲み込みにくさを感じている方が食べやすい食事の作り 方/口腔ケア/食事(栄養)/など
介護予防(4件)	健康寿命を伸ばせる生活/寝たきりの体にならないように/毎日元気に生活でき るように/寝たきりにならないよう、運動をする方法
その他(36件)	どんなテーマでも聞きたい/介護スタッフ不足をこれからどのようにしていくのか/ 講演会に参加できなくても市政だより等で掲載していただければ助かります/仕 事の為に時間がとれない/病気名に対する注意等の説明/など

(24) ー①人生の最期を迎えたい場所(性別・年齢)

問19 あなたは、治る見込みがない病気になった場合、最期をどこで迎えたいですか(SA)

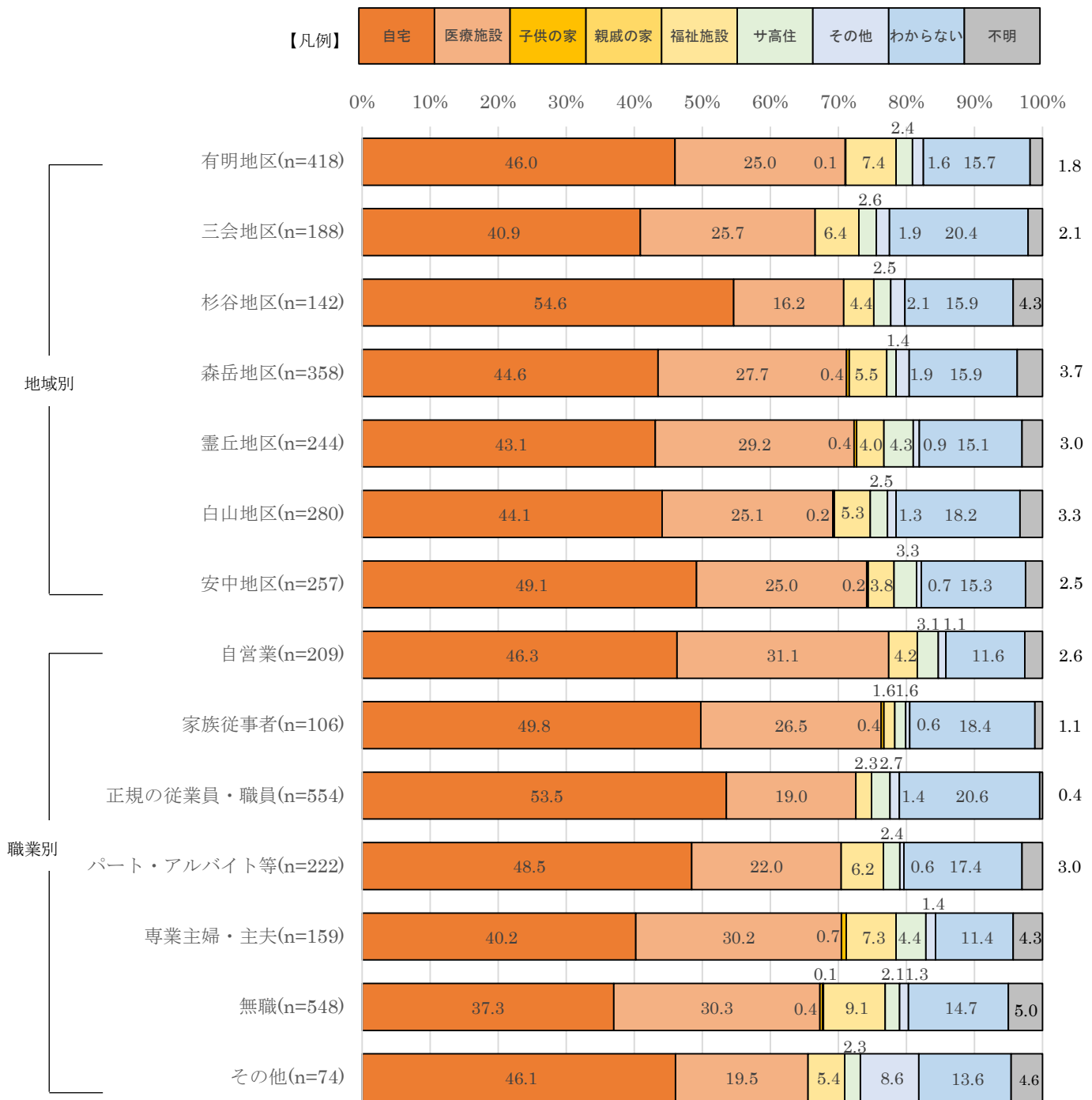
人生の最期を迎えたい場所を全体で見ると、「自宅」と回答した割合が最も高く45.3%となった。若い世代(20～30歳代、40歳代)は「自宅」と回答する傾向にあったが、年齢を重ねるにつれて「自宅」の割合が低下し、「医療施設」、「福祉施設」の割合が増加傾向にあった。



(24) ー②人生の最期を迎えたい場所(居住地・職業)

問19 あなたは、治る見込みがない病気になった場合、最期をどこで迎えたいですか(SA)

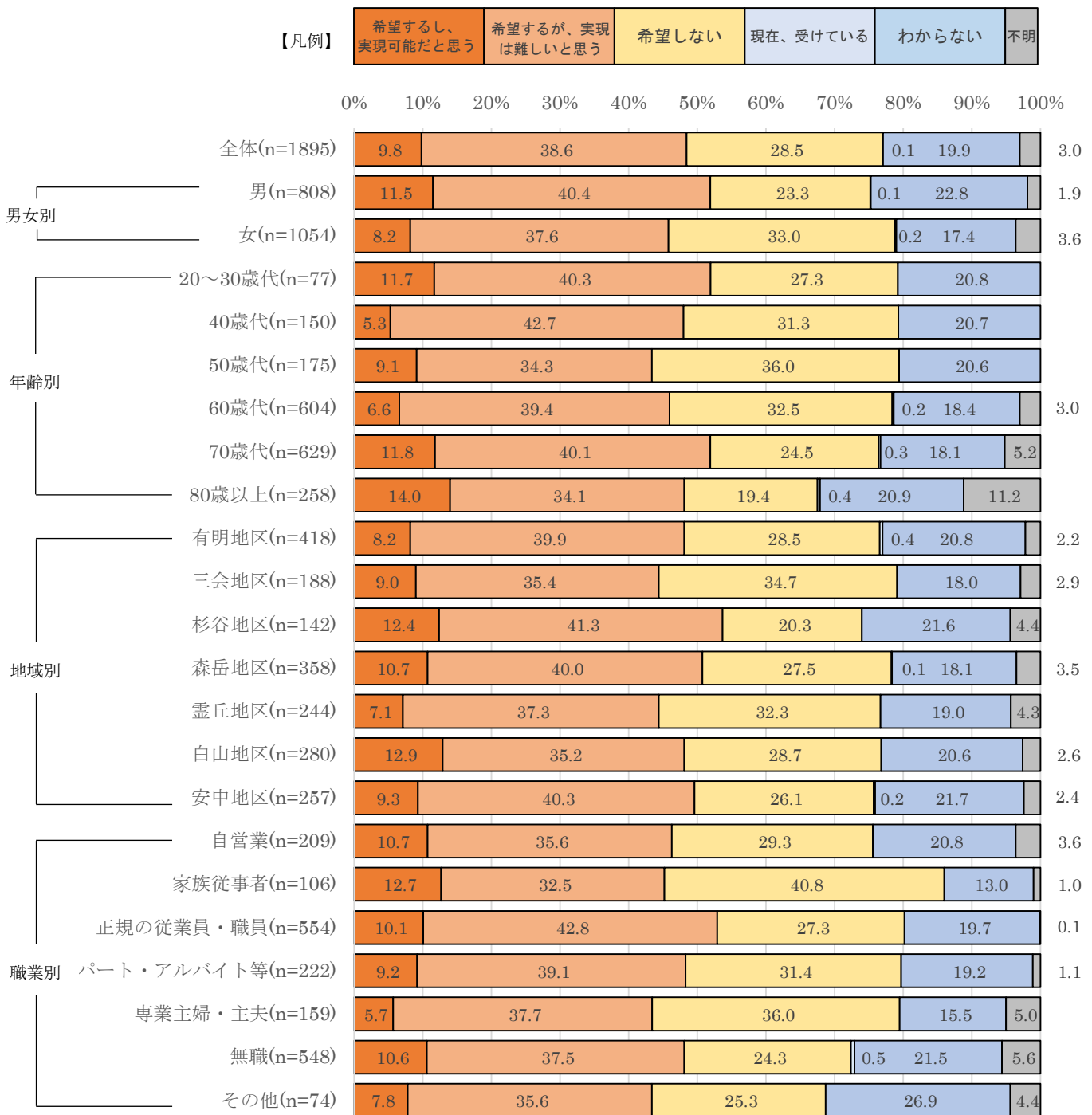
人生の最期を迎えたい場所を職業別で見ると、「自宅」と回答した割合は「正規の従業員・職員」が最も高く、「無職」が最も低い結果となった。



(25) 寝たきり状態における在宅医療の希望

問20 あなたは、寝たきりの状態となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか (SA)

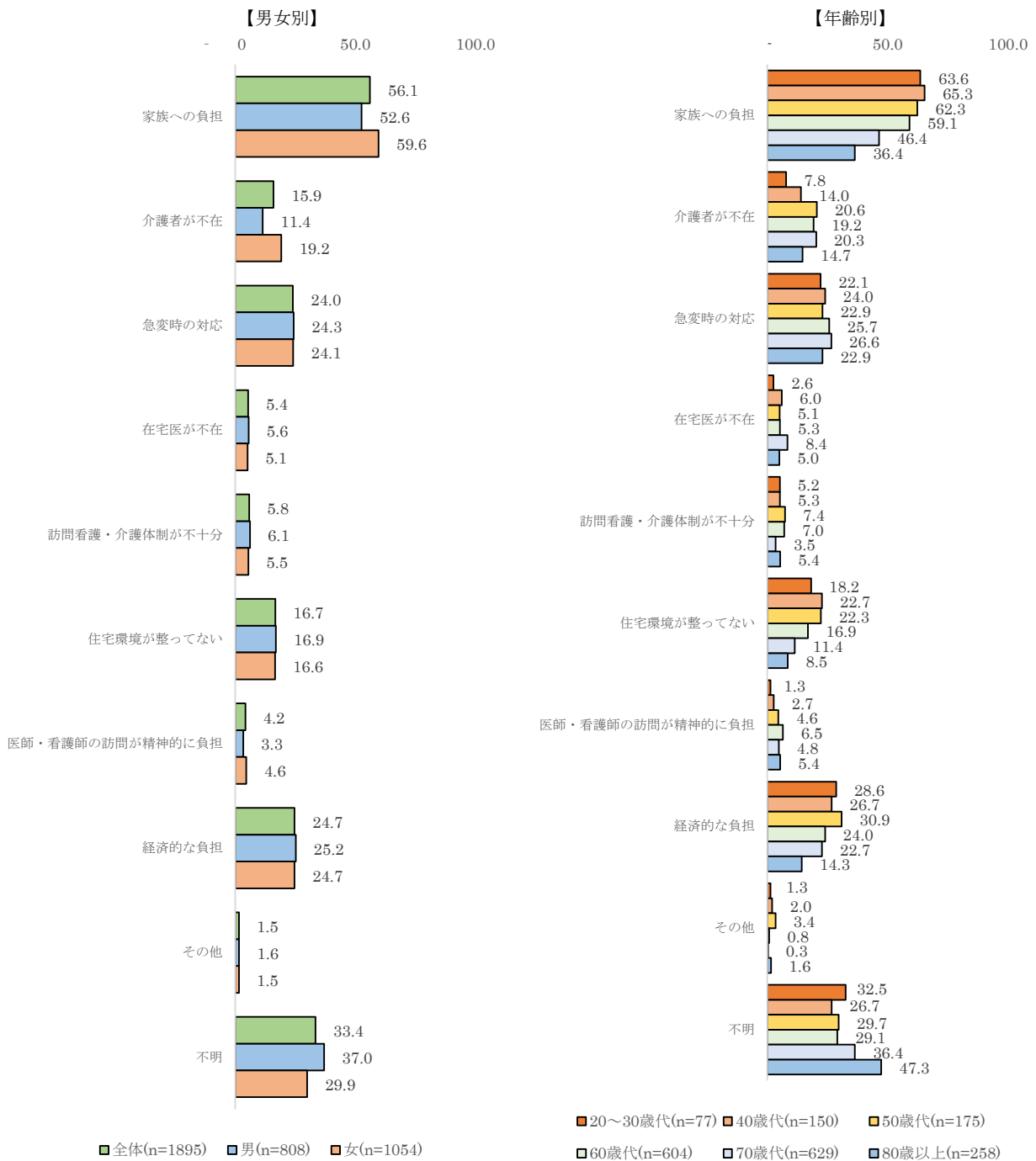
寝たきり状態における在宅医療の希望を全体で見ると、「希望するし、実現可能だと思う」、「希望するが、実現は難しいと思う」と回答した割合は48.4%となった。この中で、「希望するが、実現は難しいと思う」と回答した割合が各世代とも最も高い結果となった。一方、各世代とも約2～3割が「希望しない」と回答した結果となった。



(26) -①在宅医療を実現できない・希望しない理由(性別・年齢)

問2-1 実現が難しい又は在宅医療を希望しないと思う理由は何ですか(MA:該当するもの全てに○)

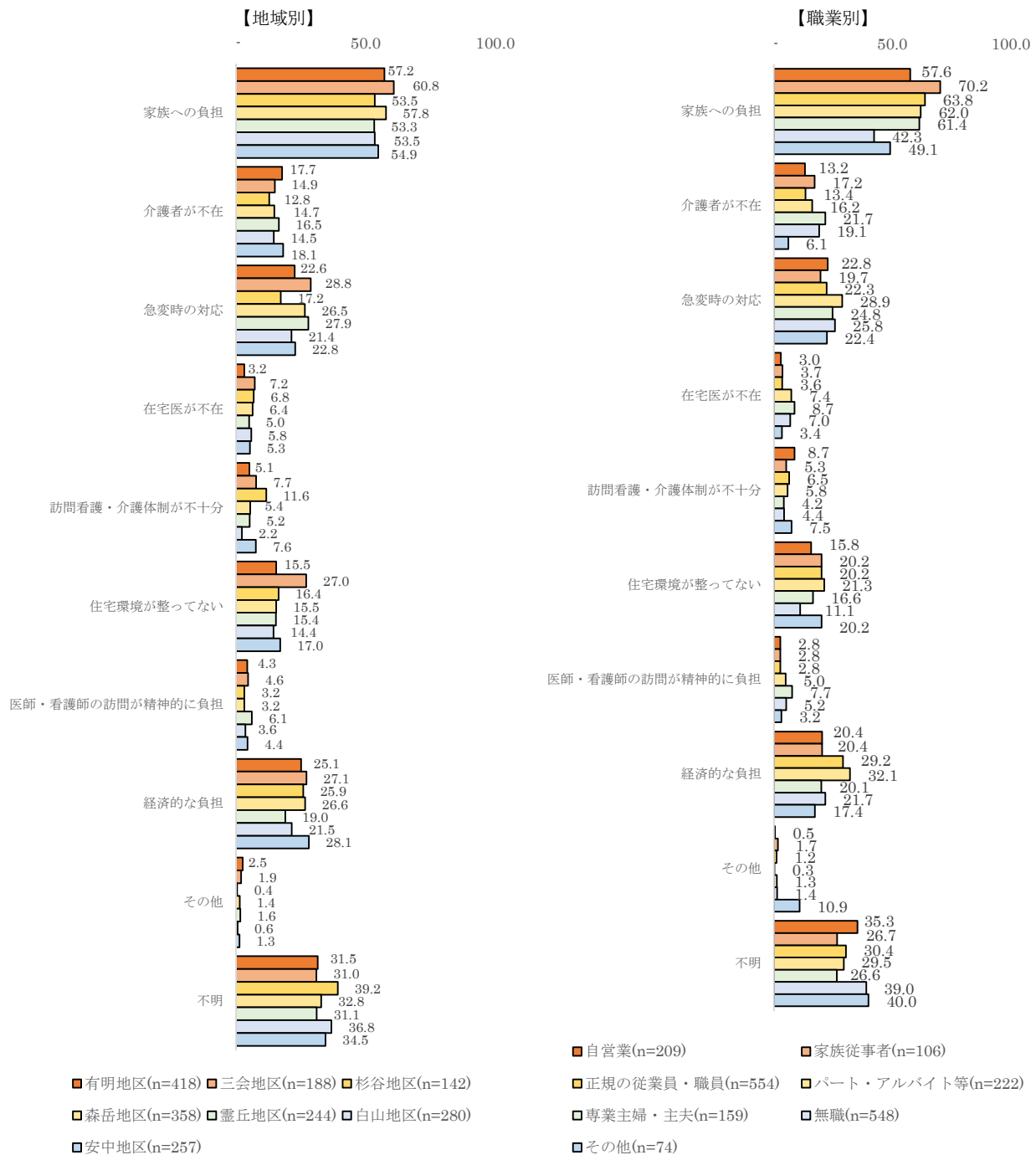
問2-0において、「希望するが、実現は難しいと思う」、「希望しない」と回答した者に対して、在宅医療を実現できない・希望しない理由を質問した。「20～30歳代」から「50歳代」において「家族への負担」、「経済的な負担」は高い傾向にあるが、「60歳代」から年齢を重ねるにつれてこれらの理由は減少傾向にあった。



(26) -②在宅医療を実現できない・希望しない理由(居住地域・職業)

問2-1 実現が難しい又は在宅医療を希望しないと思う理由は何ですか(MA:該当するもの全てに○)

問2-0において、「希望するが、実現は難しいと思う」、「希望しない」と回答した者に対して、在宅医療を実現できない・希望しない理由を質問した。居住地域・職業別に大きな特徴は見られないが、全体の傾向として、「家族への負担」、「経済的な負担」、「急変時の対応」、「住宅環境が整っていない」に集中している傾向にあった。

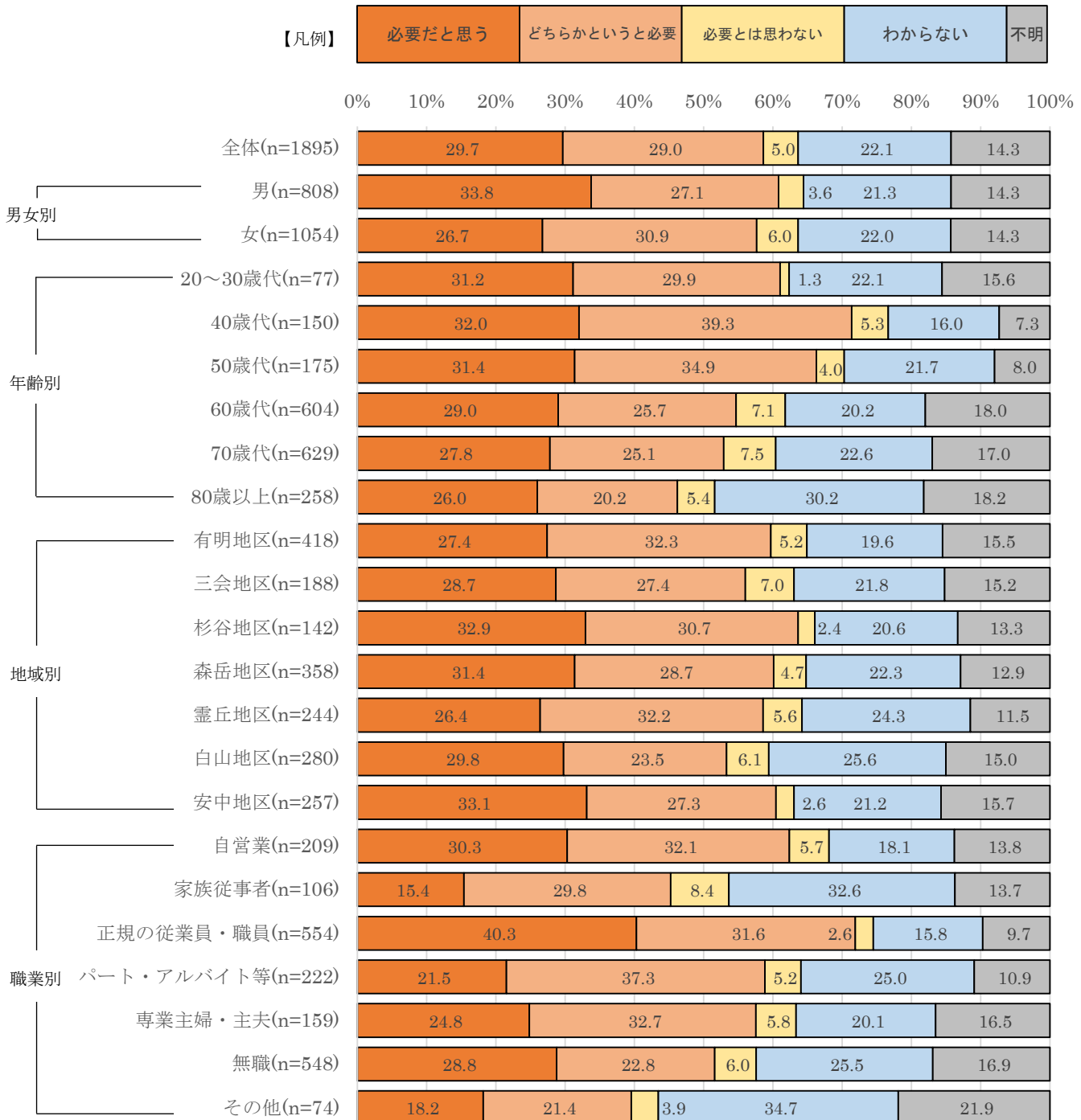


(27) 在宅医療の充実

問22 あなたは、「在宅医療」を充実することが必要だと思いますか (SA)

在宅医療の充実を全体で見ると、「必要だと思う」、「どちらかという必要」と回答した割合は58.7%となった。

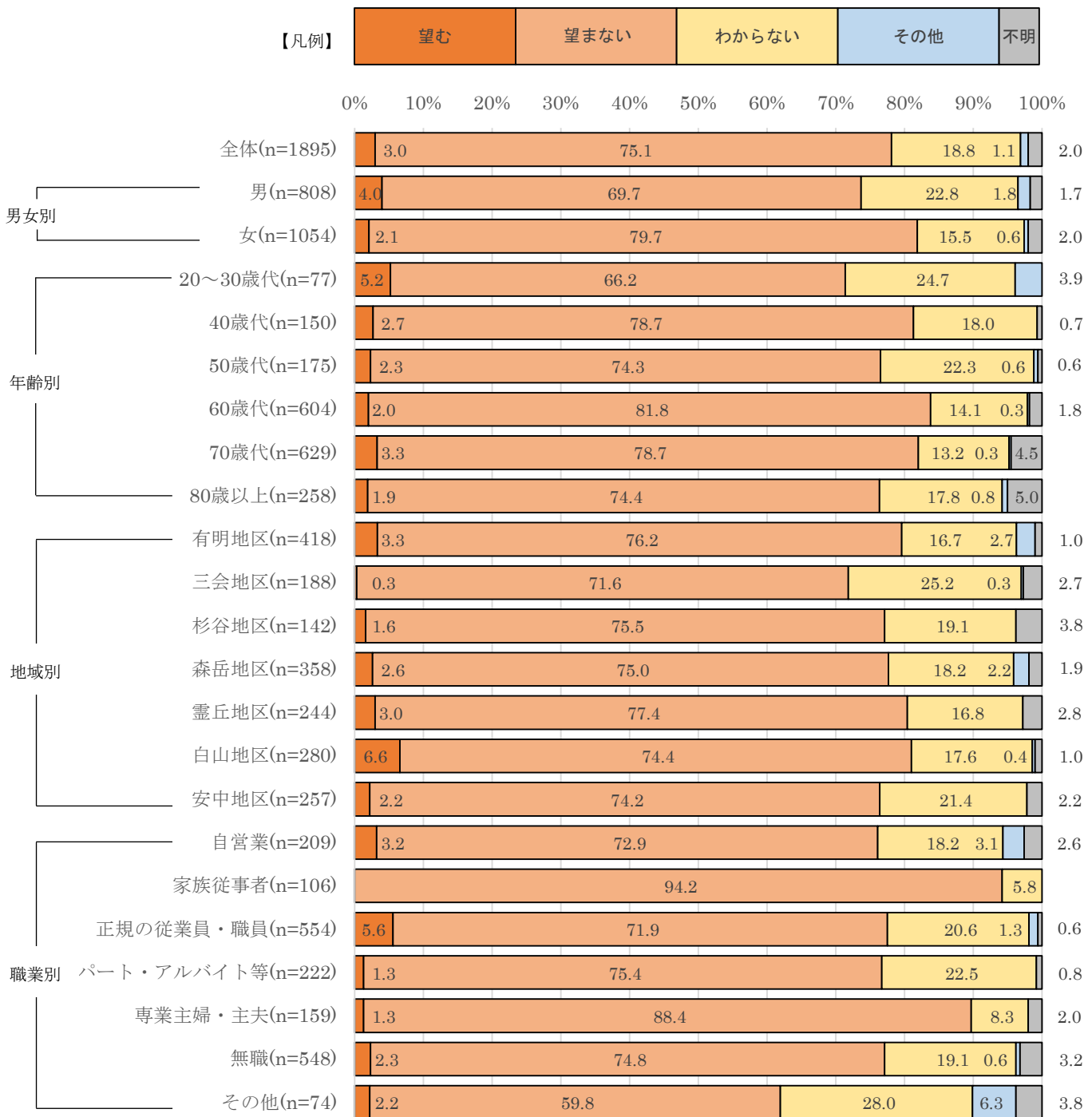
属性別に見ると男女別では「男性」、年齢別では「40歳以上」、職業別では「正規の従業員・職員」が最も高い割合となった。各世代において「必要とは思わない」と回答した割合が最も低い結果となった。



(28) 終末期における延命治療の希望

問23 あなたは終末期（治る見込みがなく死期が迫っている）に延命治療を望みますか（SA）

終末期における延命治療の希望を全体で見ると、「望まない」と回答した割合は最も高く 75.1% を占めた。一方、延命治療を「望む」と回答した割合は 3% と低かった。「わからない」と回答する割合が 18.8% を占める結果となった。

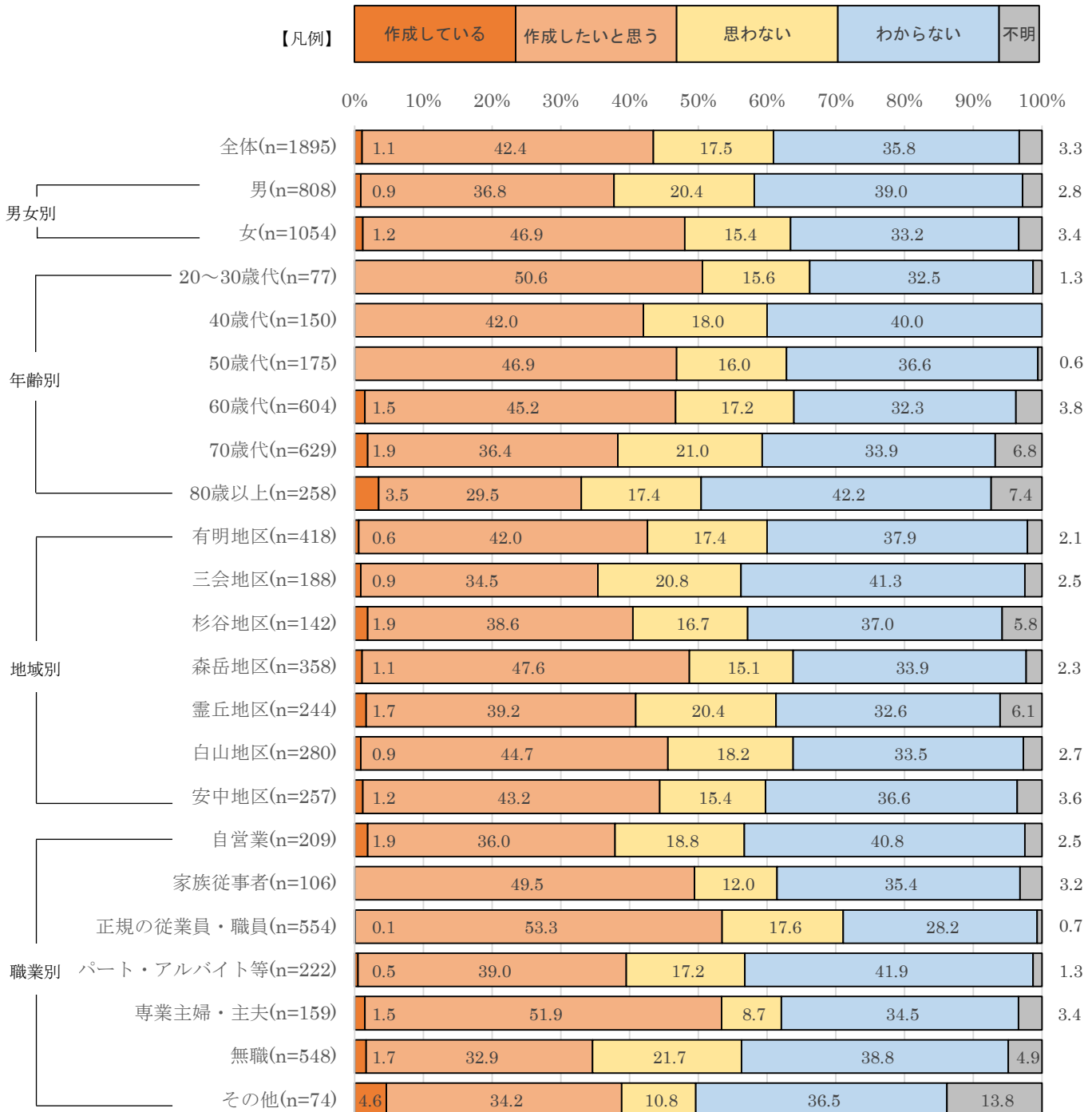


(29) 終活ノートの作成

問24 将来、あなた自身に万が一のことが起きたときに備えて、どのような治療やケアを受けたいのかを伝える書面（終活ノート）を作成しておきたいと思いますか（SA）

終活ノートの作成を全体で見ると、「作成している」「作成したいと思う」と回答した割合は43.5%となった。終活ノートを「作成したいと思う」と回答した割合は約半数を占めたが、実際に「作成している」割合は低い結果となった。

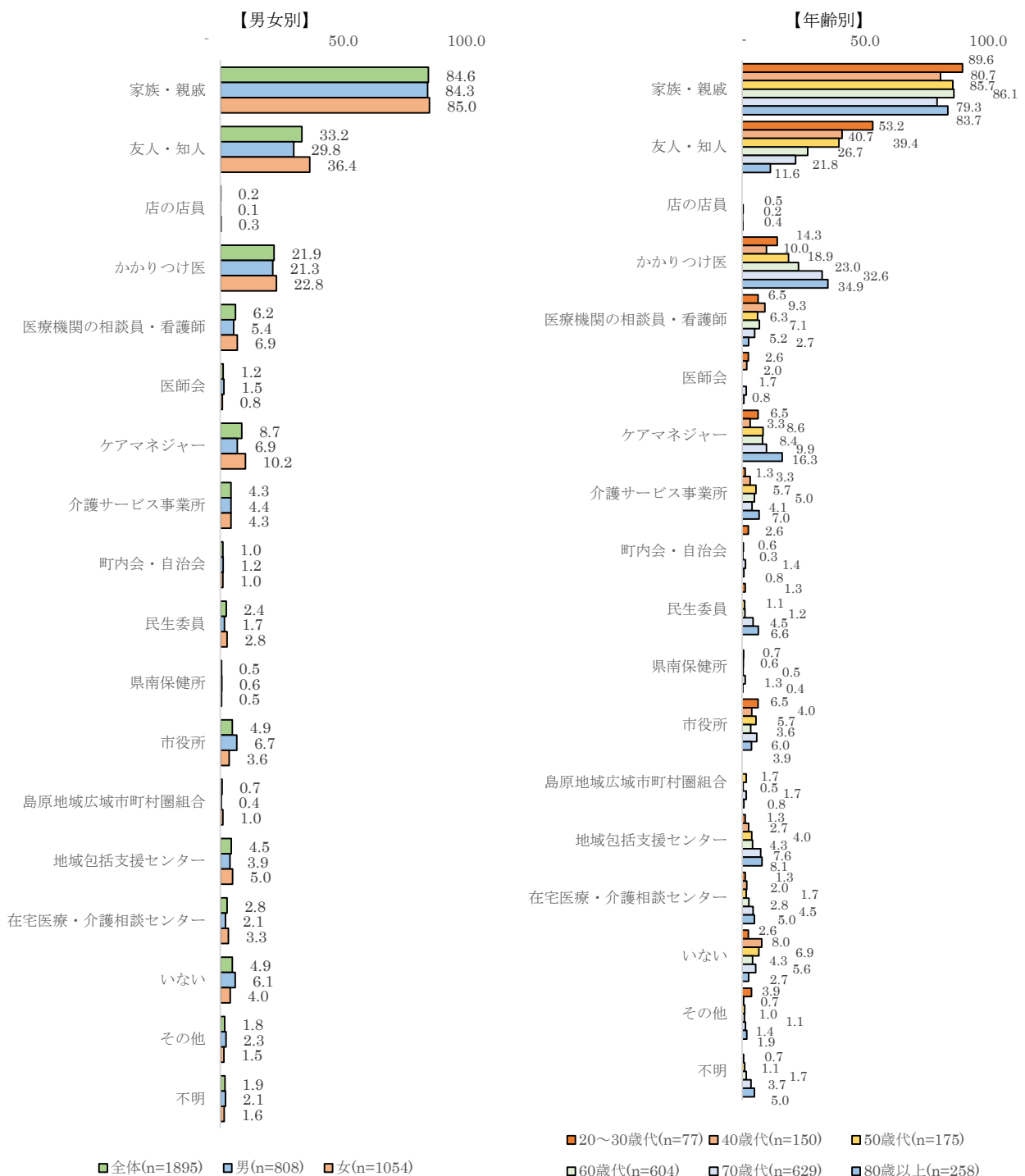
年齢別に見ると、「50歳代」までに「作成している」の回答はなく、「60歳代」から「作成している」と回答した割合が微増傾向にあった。



(30) -①医療や介護における身近な相談相手の有無(性別・年齢)

問25 家族や自分が病気をしたり介護が必要になった時に、悩みや不安を相談できる相手はいますか
(MA:該当するもの全てに○)

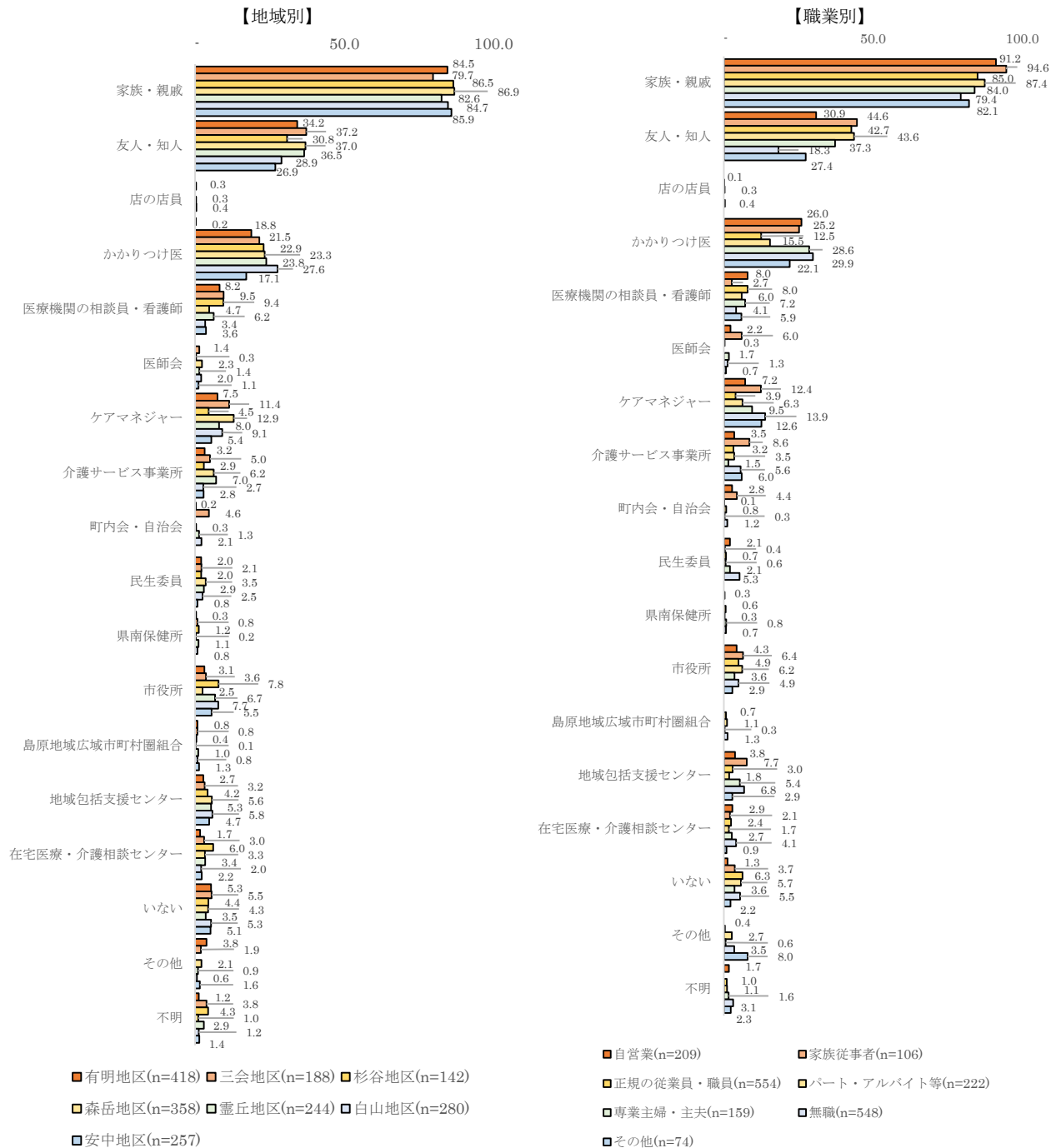
医療や介護における身近な相談相手の有無を全体で見ると、「家族・親戚」が84.6%で最も多く、次いで「友人・知人」(33.2%)「かかりつけ医」(21.9%)、に集中している結果となった。
年齢を重ねるにつれて、「かかりつけ医」、「ケアマネジャー」の割合が増加傾向にあった。



(30) -②医療や介護における身近な相談相手の有無（居住地域・職業）

問25 家族や自分が病気をしたり介護が必要になった時に、悩みや不安を相談できる相手はいますか
(MA：該当するもの全てに○)

医療や介護における身近な相談相手の有無を居住地域・職業別に見ると、全体と比較して大きな特徴は見られず、「家族・親戚」、「友人・知人」、「かかりつけ医」、に集中している傾向にあった。

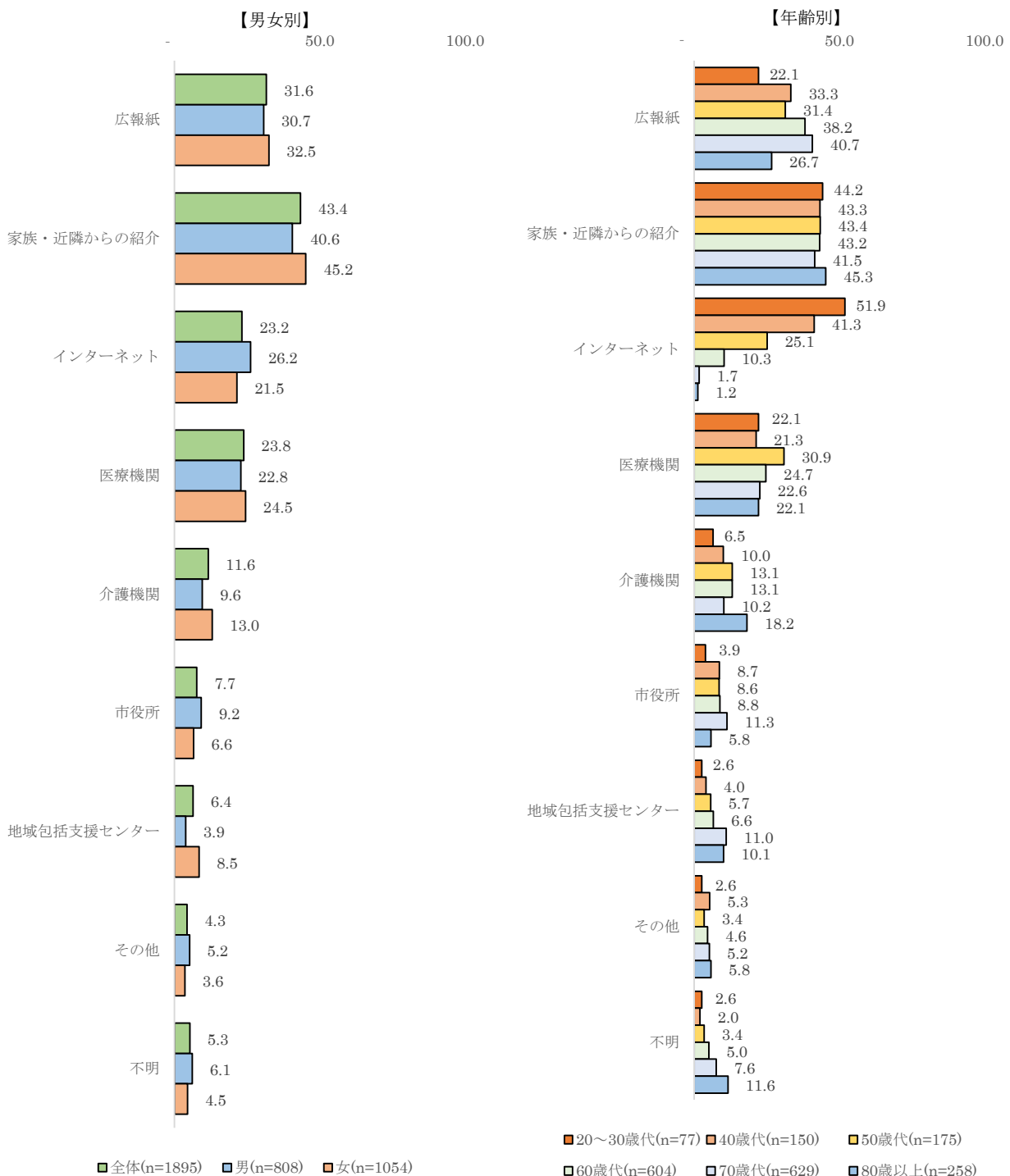


(31) -①医療や介護における情報収集の方法 (性別・年齢)

問26 あなたは、医療・介護に関する必要な情報をどのように入手していますか
(MA: 主なものを2つまで○)

医療や介護における情報収集の方法を全体で見ると、「家族・近隣からの紹介」が43.4%で最も高く、次いで「広報紙」(31.6%)、「医療機関」(23.8%)となっている。

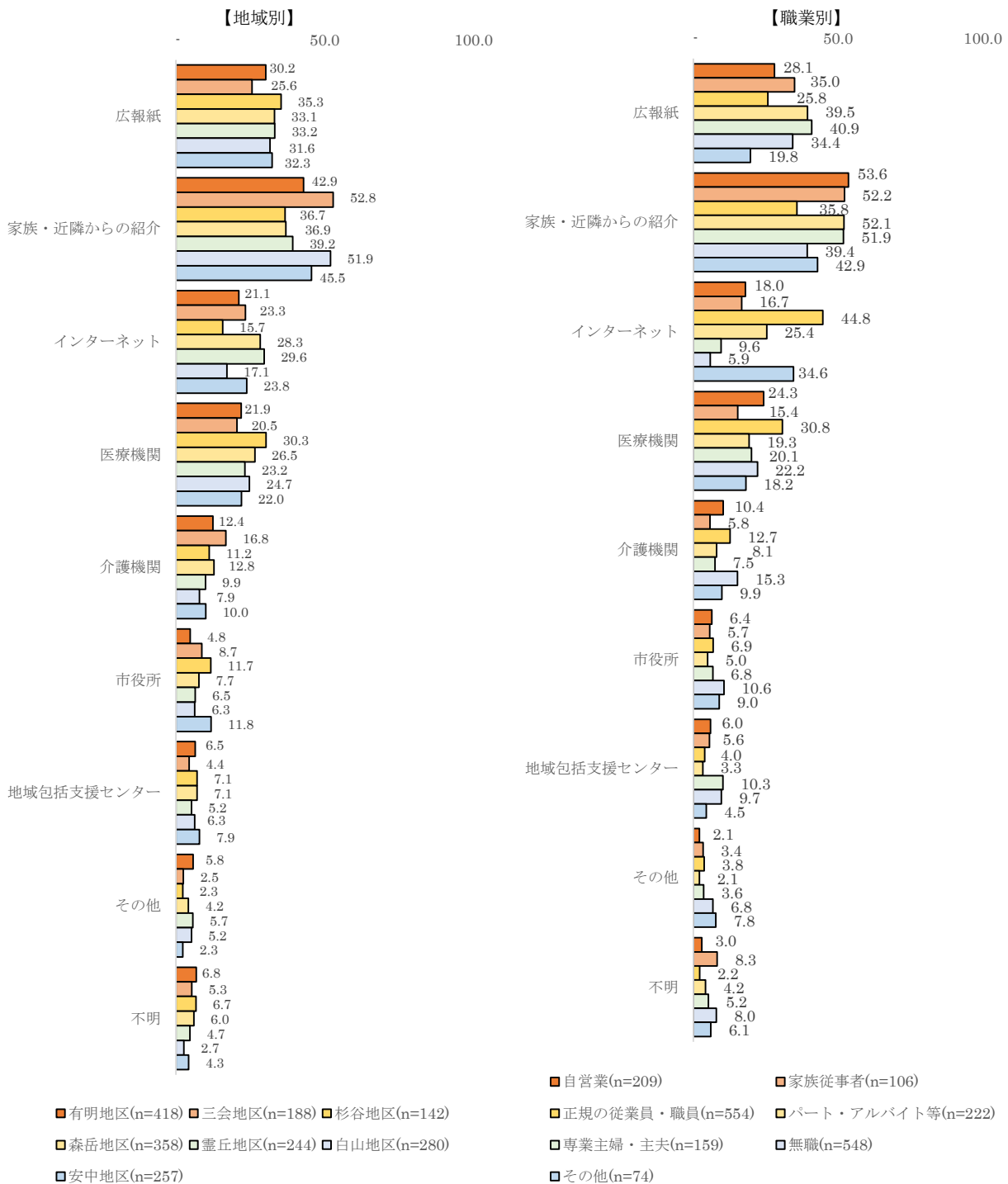
若い世代(20～30歳代、40歳代)では「インターネット」を用いて情報収集する傾向にあった。



(31) -②医療や介護における情報収集の方法 (居住地域・職業)

問26 あなたは、医療・介護に関する必要な情報をどのように入手していますか
(MA: 主なものを2つまで○)

医療や介護における情報収集の方法を居住地域で見ると、「家族・近隣からの紹介」、「広報紙」、「インターネット」、「医療機関」に集中している結果となった。職業別で見ると、「正規の従業員・職員」は「インターネット」を用いて情報収集する傾向にあった。

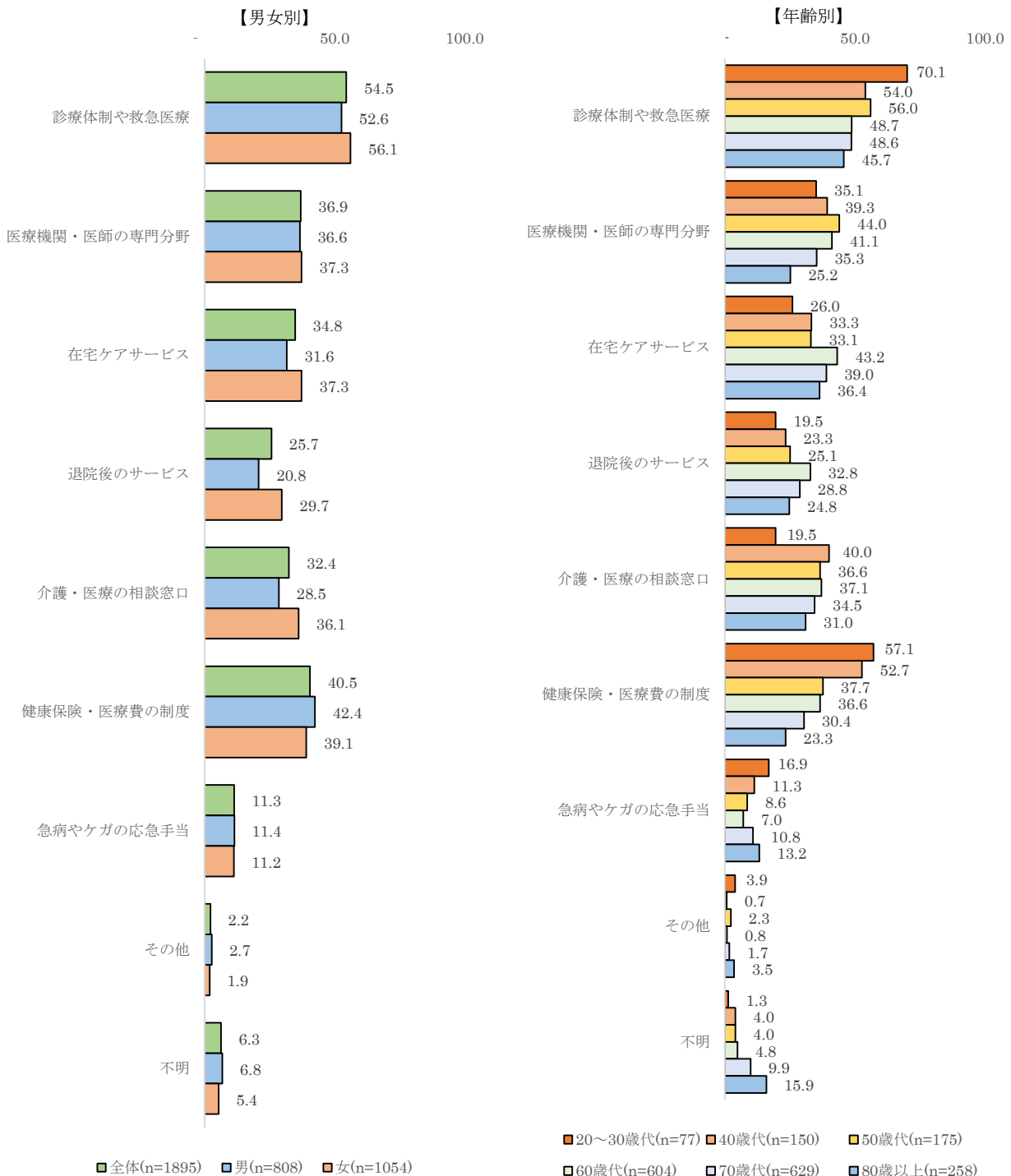


(32) -①医療や介護における必要な情報(性別・年齢)

問27 あなたにとって医療や介護について必要な情報は何ですか(MA:3つまで○)

医療や介護における必要な情報を全体で見ると、「診療体制や救急医療」が54.5%で最も高く、次いで「健康保険・医療費の制度」(40.5%)、「医療機関・医師の専門性」(36.9%)となった。

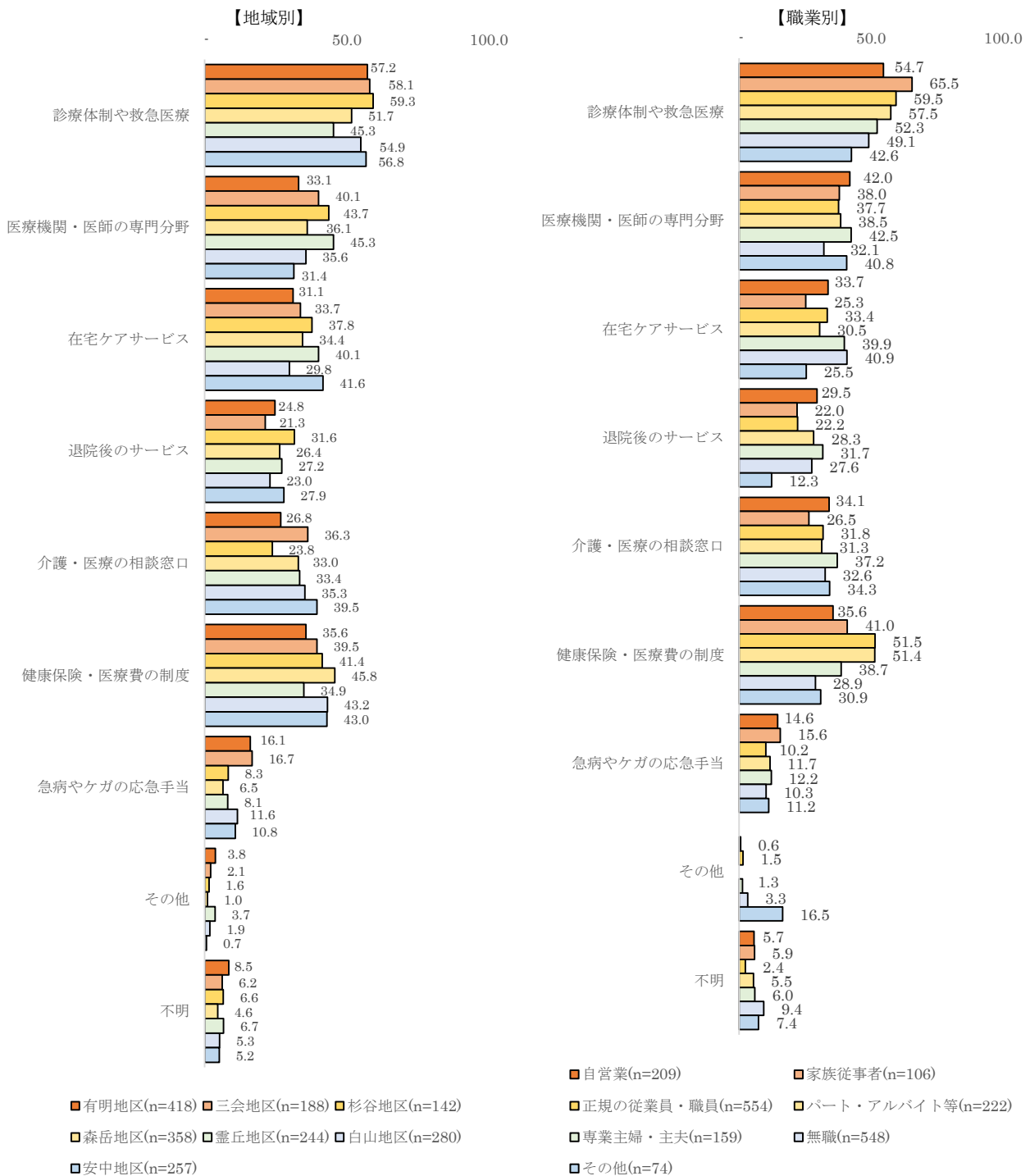
若い世代(20～30歳代、30歳代)は「診療体制や救急医療」、「健康保険・医療費の制度」に関して特に高い傾向にあった。



(32) -②医療や介護における必要な情報(居住地・職業)

問27 あなたにとって医療や介護について必要な情報は何ですか(MA:3つまで○)

医療や介護における必要な情報を職業別で見ると、「健康保険・医療費の制度」において「正規の従業員・職員」や「パート・アルバイト等」が他に比べ高い傾向が見られた。また、「在宅ケアサービス」では「無職」や「専業主婦・主婦」が他に比べ高くなっている。



(33) -①在宅医療・介護に関する意見(要望)

問28 在宅医療・介護に関して、あなたが思うことがあれば、ご自由に記入ください (FA)

在宅医療・介護に関する自由記述を分類すると、以下のとおりになった。

項目		意見(抜粋)
要望 (185件)	情報提供について(98件)	サービス・制度内容(23件)
		在宅医療・介護についての情報を詳しく知らせてほしい／訪問介護について、もっと知りたい／訪問診療や看護などの、在宅ケアサービスについての情報が知りたい／など
		相談窓口(20件)
		警察ならば110番救急ならば119番というように、在宅医療・介護に関しては〇〇番にかけると知りたい情報がすぐわかるような情報入手の窓口がほしい／気軽に相談できるところがほしい／など
		広報紙等(16件)
		広報紙等で時々(定期的に)情報を発信してほしい／島原市が取り組んでいる在宅医療の状況を市の広報紙で詳しく説明してほしい／在宅医療・介護に関する広報活動のためのPRできるDVDがほしい／など
		医療機関・介護施設(11件)
		在宅医療をしている医療機関が分からないので、表などにしてまとめてほしい／リハビリの専門がいたる病院の一覧が欲しい／どの病院の先生が往診診療をしているのかわからない／など
		費用・補助制度(10件)
		医療費の補助の仕方がわからない／市内の在宅医療又は介護に対して月どのくらい費用がかかるか知りたい／介護のために家のリフォームを行う場合の費用が知りたい／など
		説明会・勉強会等(9件)
		老人会の集会等に合わせ医療・介護に関する具体的な話をしてほしい／定期的に各公民館等で、在宅医療や介護について具体的な説明会をしてほしい／など
		その他(9件)
		情報を積極的に入手しないといけないと感じている／家の中でもできる運動を教えてほしい／介護に際しての心の支え方を教えてほしい／など
	医療・介護体制について(63件)	施設の増設・充実(16件)
		24h体制の定期巡回、随時対応型訪問介護・看護の事業所を増やしてほしい／夕食を食べさせてくれるデイサービスを増やしてほしい／誰でも安い価格で入れる施設を作してほしい／など
		職員の対応(10件)
		介護者によって、仕事に対する熱意や能力に差がある／事務的、義務的な訪問ではなく患者の話によく耳を傾けてくれる方が多くいることを望みます。／やさしい態度で接していただきたい。／など
		サービスの充実(6件)
		年代別に色々な介護のサービスを受けたい／健康な人でももっと健康でいられるようなサービスを提供してほしい／心に余裕が持てるサービスを期待したい／など
		職員の待遇改善(6件)
		介護に関わる人については大変な仕事であるので、人件費(給与)などは、それなりに対応すべきであると思う／介護に関わる人のケアもあっていいと思う／など
	費用について(8件)	人員不足の解消(5件)
		医者不足を解消できなければ、全ての医療が成り立たない／介護施設においても職員不足を施設長さんは苦慮されているため、職員不足を解消できる取組を希望する／など
		地域内支援の必要性(5件)
		1人暮らしの方への地域における見守り支援の体制作りも必要／地域の中でお互いの見守り活動ができればと思う／老人は老人で協力できればいいと思う／など
		その他(15件)
		医院や診療所にも介護に関する相談が気軽にできたらと思う／今後医療機関や様々なケアサービスを受ける時に、自分や家族が幸せに思える療養生活を送りたい／など
	介護者の負担軽減について(8件)	バリアフリー等のリフォームをしたいので補助をお願いしたい／介護保険の金額を、もう少し支払いに困らない金額にして欲しい／介護タクシーの料金を安くしてほしい／など
		介護をする家族の精神的・肉体的・経済的負担を軽くする取り組みをして欲しい／今後、老老介護の状況が増えると思われるので介護者の精神的負担を出来るだけ軽減してほしい／など
	行政に対して(6件)	介護保険の申請から判定までの期間を短縮することを望む／高齢になっても安心して暮らせる島原市にしたい／老人も含めて、弱者に対して優しい行政であって欲しい／など
		その他(2件)
		車イスでも出かけたい／気分転換したい

(33) -②在宅医療・介護に関する意見(不安・不満・現状・満足・その他)

問28 在宅医療・介護に関して、あなたが思うことがあれば、ご自由に記入ください(FA)

在宅医療・介護に関する自由記述を分類すると、以下のとおりになった。

項目			意見（抜粋）
不安 (53件)	費用について(24件)		在宅医療・介護に対して、経済的な費用に対する不安が大きい／年金が少ないのが心配／今後の医療・介護で、経済的な負担が増えた場合の対応に不安を感じる／など
	在宅医療・介護について(7件)		可能な限り在宅を望むが、どこまで可能なのかわからない／自宅にいることは良いことですが、急に具合が悪くなった時の対応や家族だけで介護できるのか、心配でなりません／など
	一人暮らしであることについて(7件)		独居の場合、自ら急変の連絡がとれないのが現状 死後に発見が恐ろしい／現在一人暮らしで、介護が必要になったら困ると思う／など
	施設の受け入れ体制について(5件)		老老介護になるのは目に見える状態である島原の在宅医療や介護が充実しているのか不安／最近職員による事件やいじめが問題になってる施設が多いので、入所に対しての不安がある／など
	仕事と介護の両立について(2件)		義母と主人と3人で暮しているけど、仕事をしながら介護は難しい／自分が年齢を重ねたら、介護してくれる人がいないので不安
	その他(8件)		交通が不便なため、在宅では買物等に困ってしまう／病院や施設で死を迎えるのは、本来望んでいないだろうが、現実にはそうせざるを得ない状況にあるのではないかと／など
不満 (27件)	医療・介護体制について(14件)	職員の対応(6件)	医師の方に心から寄り添った対応をして欲しい／介護者も様々で、熱心な方もいれば、プロ意識が低い方もいます／医療、介護に関わる方々の中には、言葉使いがため口で不愉快に感じるがあった／など
		施設の不足(5件)	特別介護ホームに申し込んでも入所が出来ず何年も待たなければならない／訪問診療してくれる医師が少ない／など
		その他(3件)	夜中、急に体調をくずした時、すぐ診てもらえず何件も電話しても診てもらえず苦労した／など
	行政に対して(7件)		地域包括支援センターは、市の直営にするなど地域保健や介護に精通した職種を配置して欲しい／手続き等が煩雑、書類がわかりにくい／など
	費用について(6件)		年金生活者については健康保険料・介護保険料が高すぎる／介護保険料が大きいのにに対し、年金は少ししかもらえない／など
現状 (19件)	在宅医療・介護の困難性について(15件)		高齢となれば在宅医療は難しい／施設か入院が簡単に出来るようにお願いする／現在の家族構成を考えると精神的にも身体的にも共倒れになると思うので、施設の充実を希望したい／など
	その他(4件)		医療も介護も、結局は人と人の関わりであるので、良い人間関係をいかにして築けることができるかが、最も大事／など
満足 (12件)	満足する内容について(12件)		在宅医療・介護等いきといており幸せです／かかりつけ医にも不安なことを何でもすぐに相談している／市役所で相談した時に、忙しい中でも親切な対応だった。親が介護施設に入所しているが、常によく見てもらっている／など
その他 (52件)	わからない(34件)		現在は、在宅医療・介護に携わる事がないので具体的な事は分からない／在宅医療、介護については何もわかりません／など
	その他(18件)		アンケート調査票を送って頂き、自分も介護について考えることができた／国の介護制度も進んでいると思う反面、膨らむ税負担を次世代へは与えたくない／など

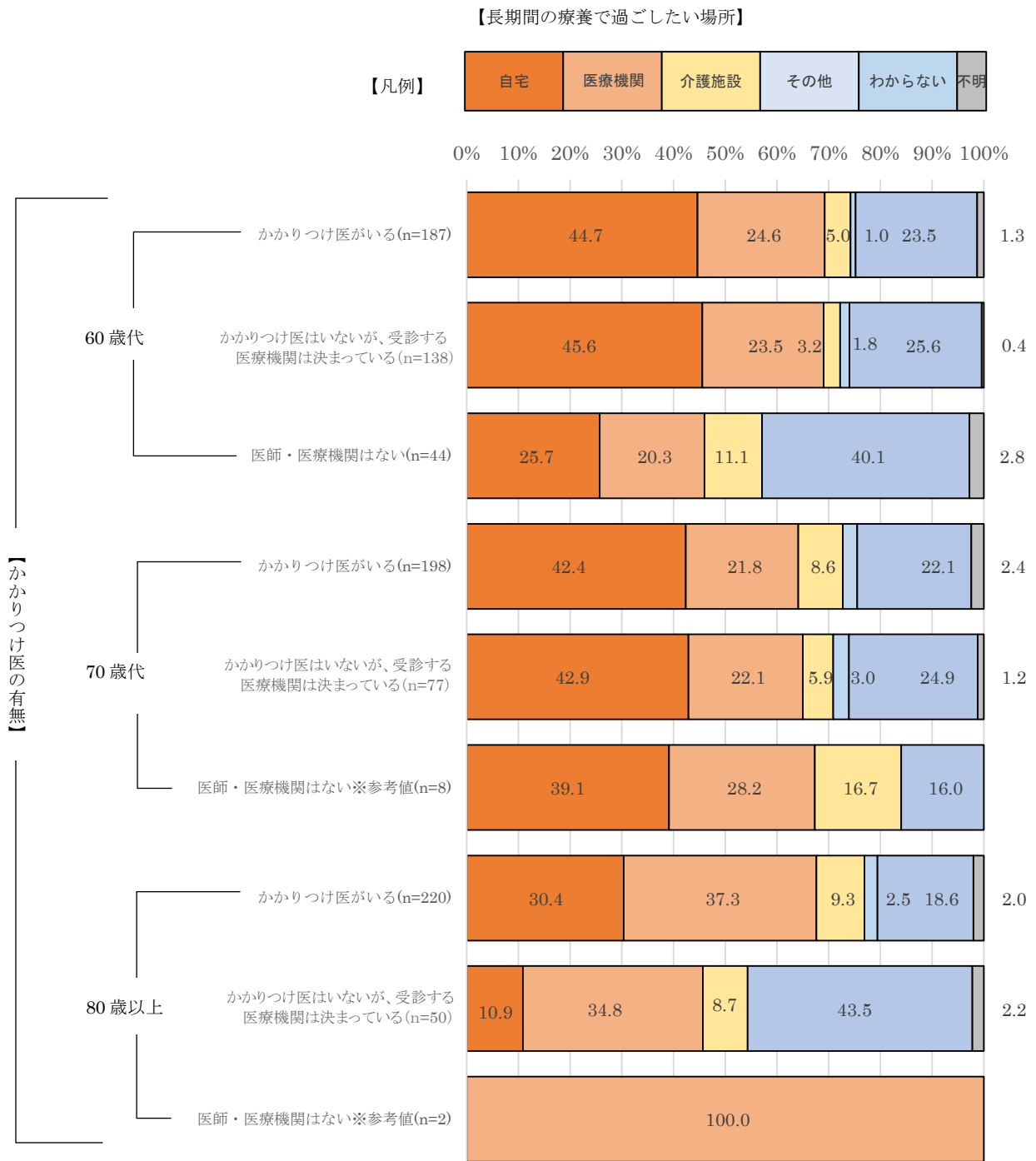
第 2 章 調査結果の分析(3.相関分析)

(1) かかりつけ医の有無×長期間の療養で過ごしたい場所

①「かかりつけ医の有無」と「長期間の療養で過ごしたい場所」の関係性（60歳代以上）

60歳代、70歳代において、「かかりつけ医がいる」、「かかりつけ医はいないが、受診する医療機関は決まっている」と回答した人の4割以上が、長期間の療養で過ごしたい場所を「自宅」と回答している。

かかりつけ医又はかかりつけの医療機関の存在が、自宅での長期療養の安心感に繋がっている可能性がうかがえる。

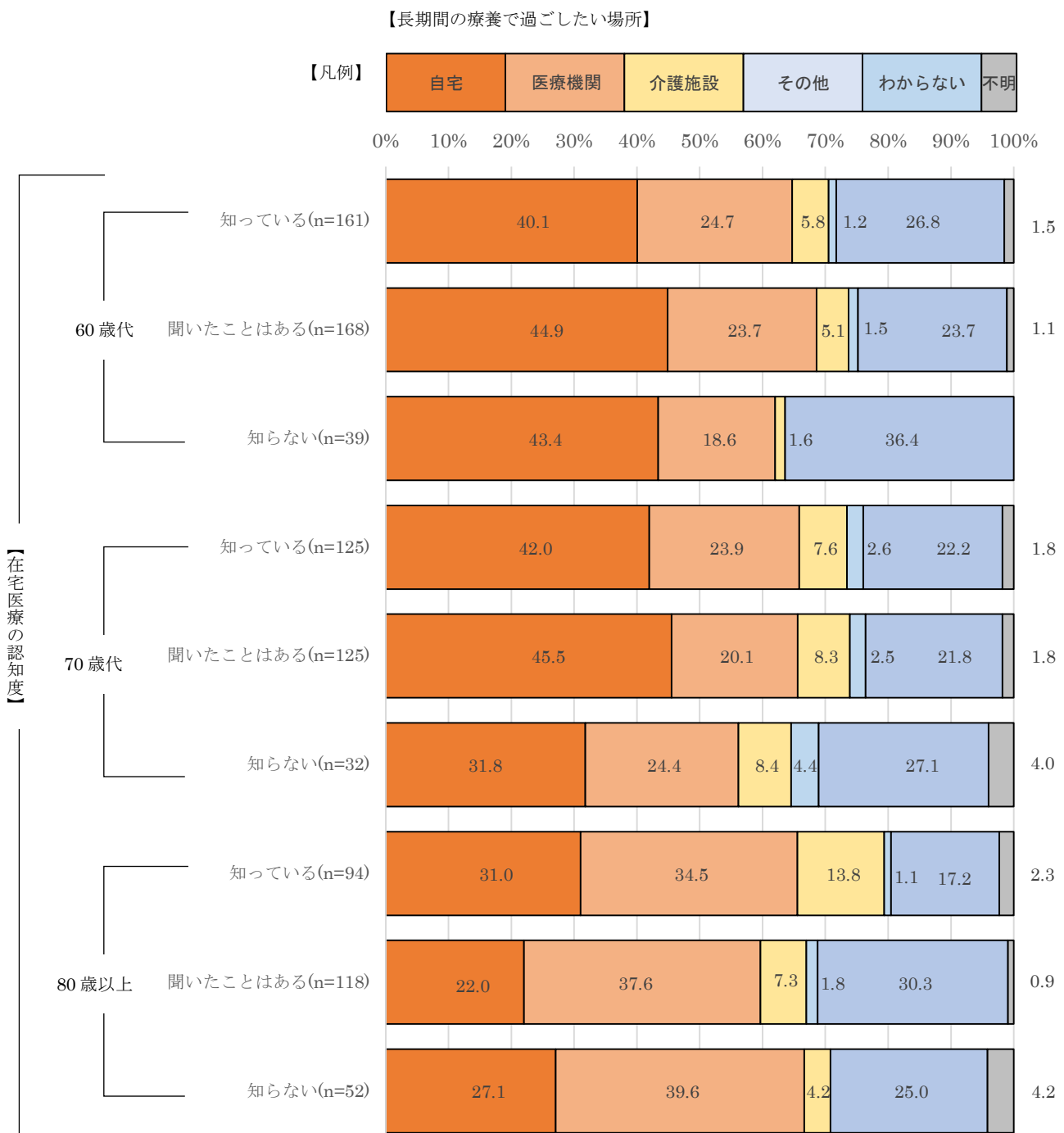


注) ※サンプル数 20 未満は参考値とした。

(2) 在宅医療の認知度×長期間の療養で過ごしたい場所

②「在宅医療の認知度」と「長期間の療養で過ごしたい場所」の関係性（60歳代以上）

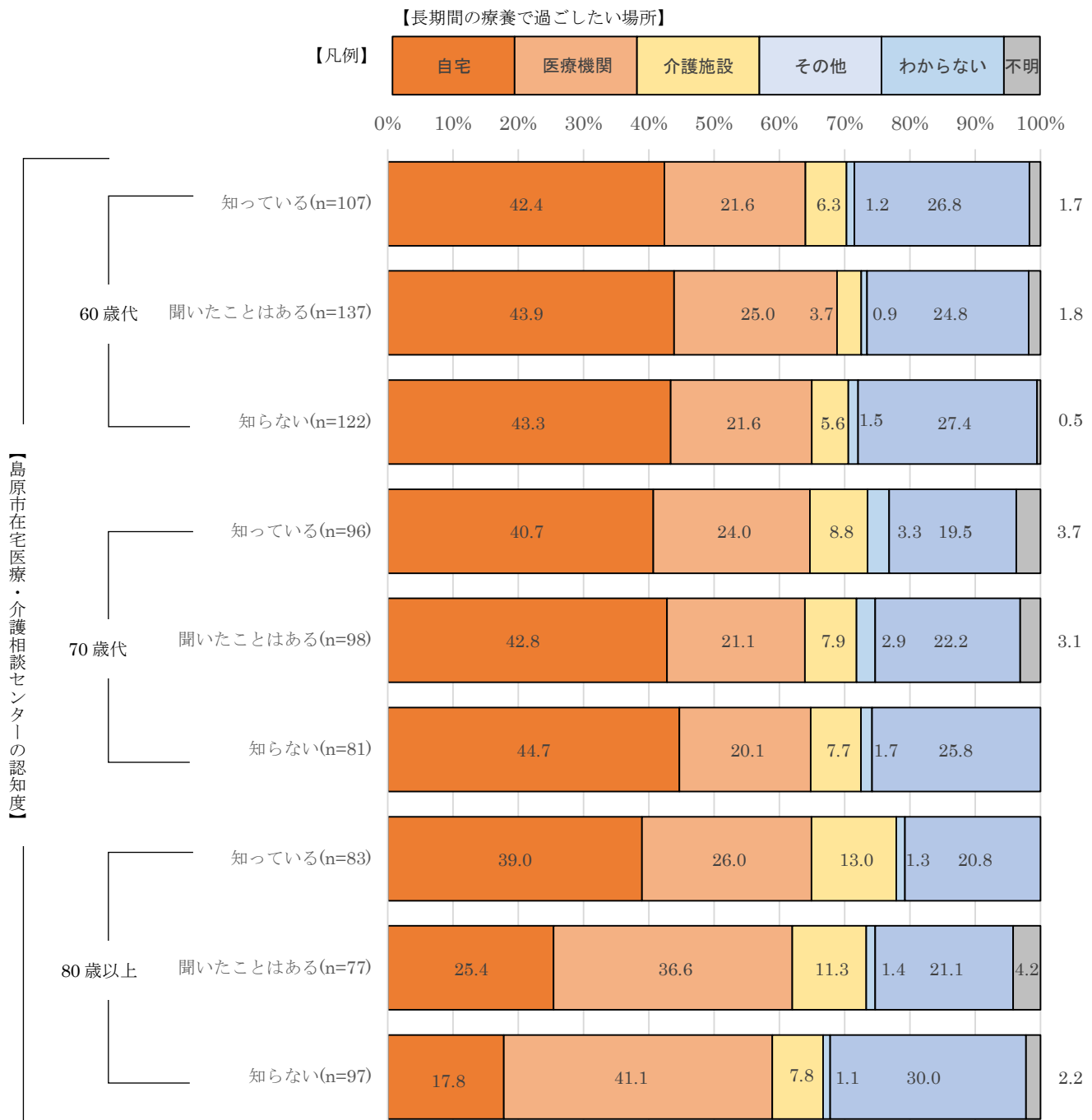
60歳代及び80歳以上においては、大きな特徴は見られなかったものの、70歳代において、長期間の療養で過ごしたい場所を「自宅」と回答した割合は、在宅医療を「知らない」に比べ「知っている」又は「聞いたことがある」と回答した人が10ポイント以上上回る結果となった。



(3) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度×長期間の療養で過ごしたい場所

③「島原市在宅医療・介護相談センターの認知度」と「長期間の療養で過ごしたい場所」の関係性(60歳代以上)

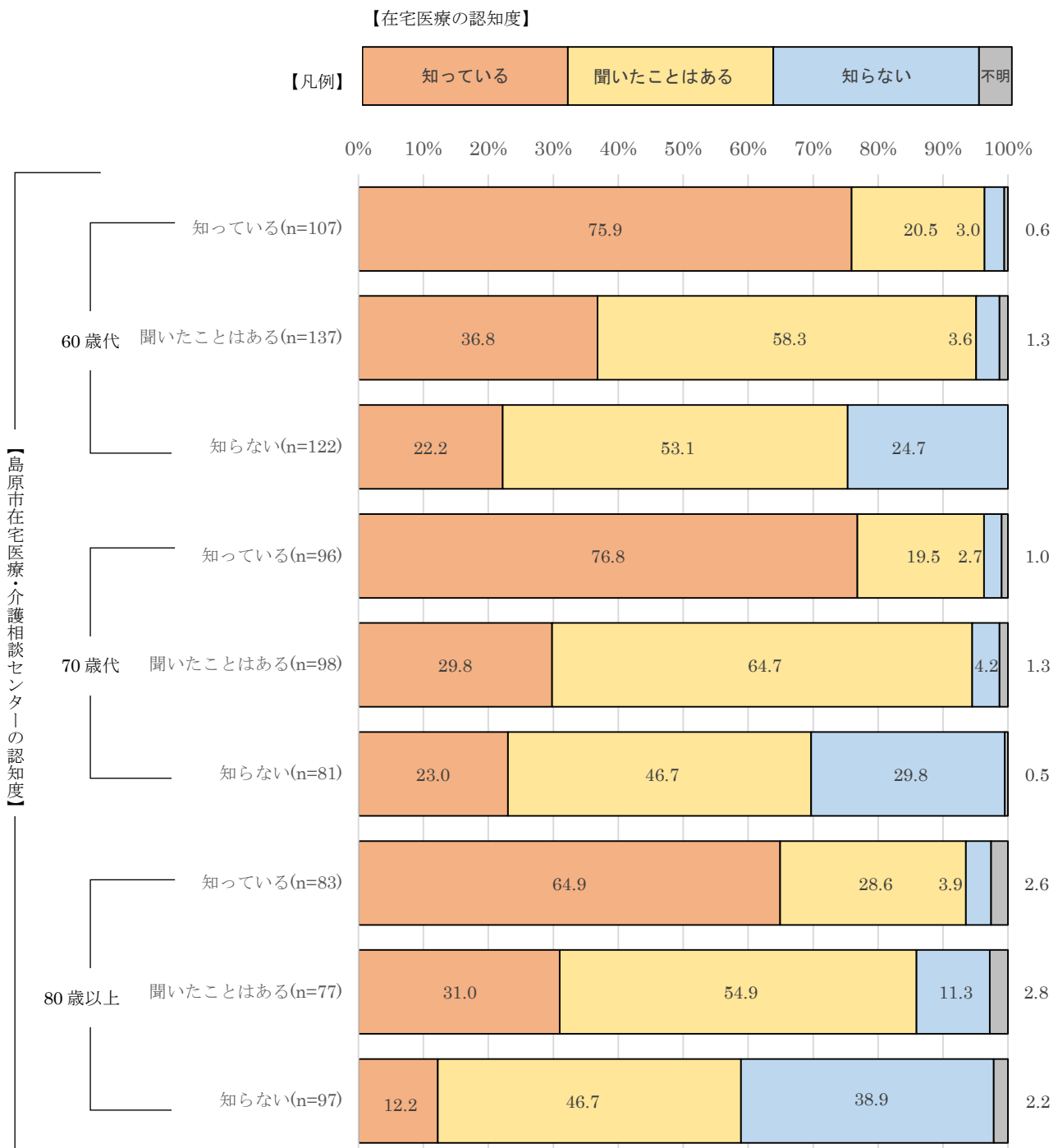
60歳代及び70歳代においては、大きな特徴は見られなかったものの、80歳以上において、長期間の療養で過ごしたい場所を「自宅」と回答した割合は、在宅医療・介護相談センターを「知らない」と回答した割合に比べ「知っている」と回答した人が20ポイント以上高い結果となった。



(4) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度×在宅医療の認知度

④「島原市在宅医療・介護相談センターの認知度」と「在宅医療の認知度」の関係性（60歳代以上）

全ての年代で、在宅医療・介護相談センターを「知っている」と回答した割合は「聞いたことがある」又は「知らない」に比べ、在宅医療の認知度が高い傾向が見られた。在宅医療・介護相談センターの認知度と在宅医療の認知度の相関関係がうかがえる結果となった。

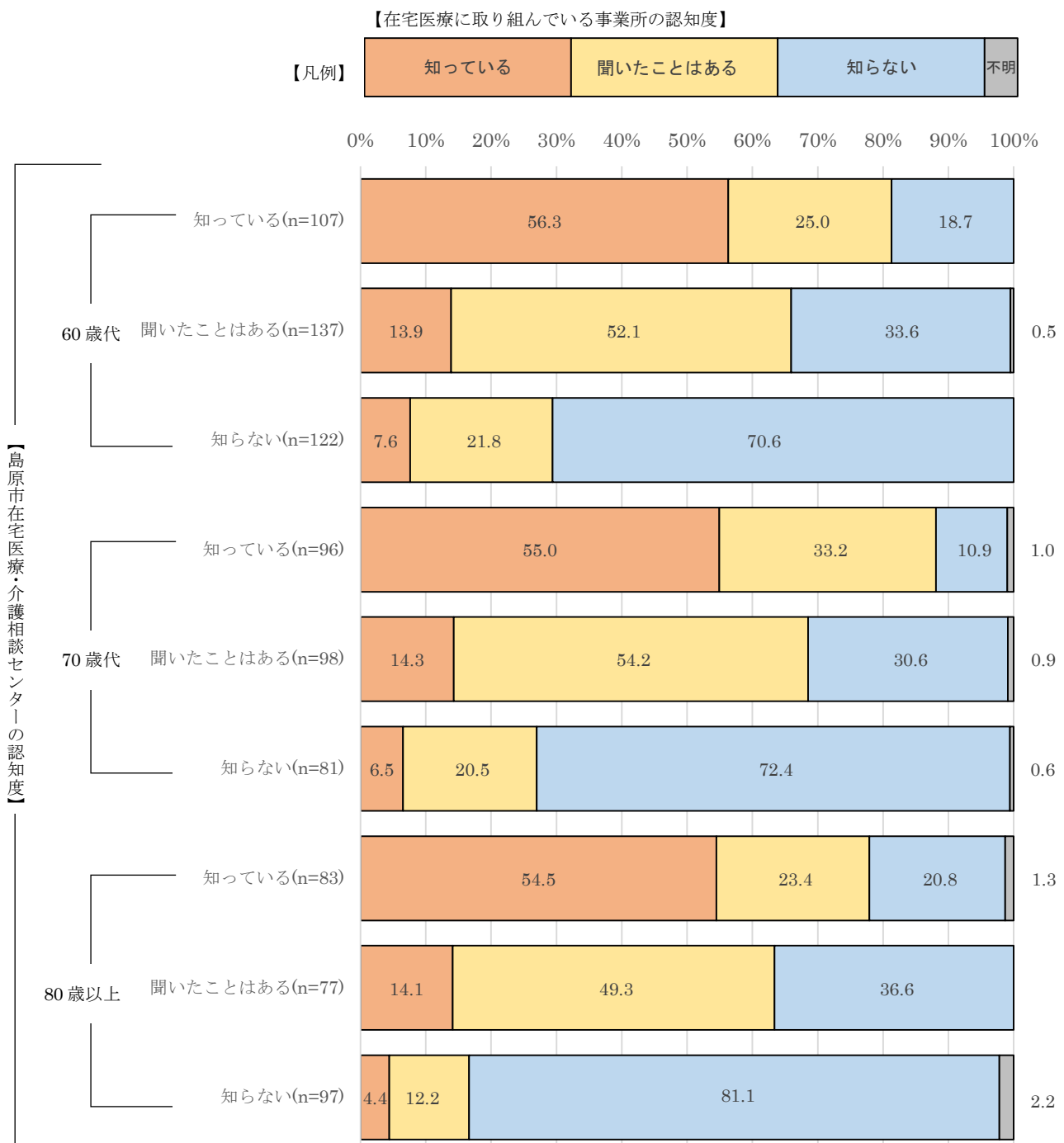


(5) 島原市在宅医療・介護相談センターの認知度×在宅医療に取り組んでいる事業所の認知度

⑤ 「島原市在宅医療・介護相談センターの認知度」と「在宅医療に取り組んでいる事業所の認知度」の関係性（60歳代以上）

全ての年代で、在宅医療・介護相談センターを「知っている」と回答した割合は「聞いたことがある」又は「知らない」に比べ、在宅医療に取り組んでいる事業所の認知度が高い傾向が見られた。

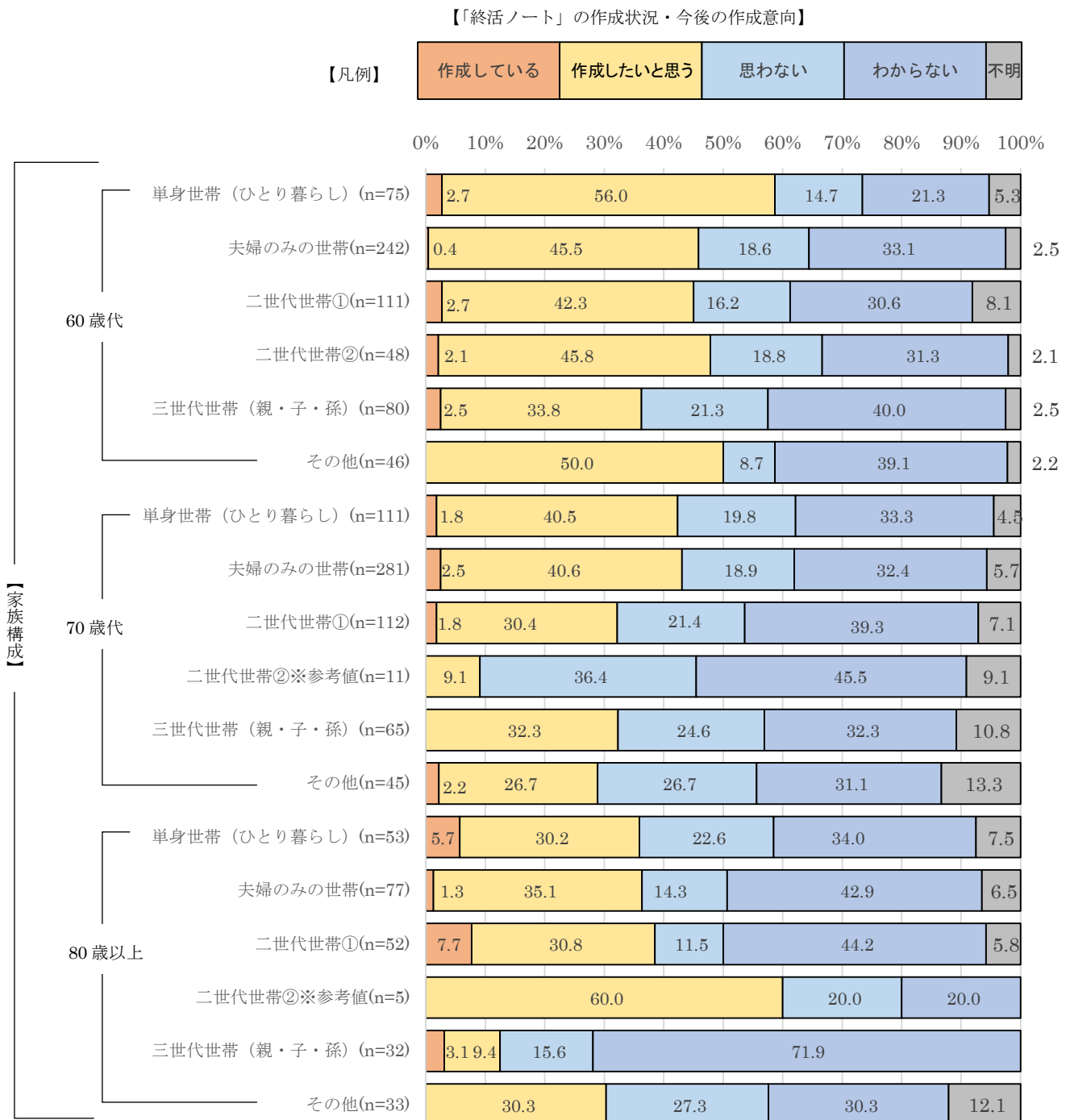
在宅医療・介護相談センターの認知度と在宅医療に取り組んでいる事業所の認知度の相関関係がうかがえる結果となった。



(6) 家族構成×終活ノートの作成

⑥「家族構成」と「終活ノート作成の希望」との関係性（60歳代以上）

70歳代、80歳以上では顕著な傾向の違いは見られないが、60歳代では、終活ノートを「作成している」又は「作成したいと思う」と回答した割合は「単身世帯（一人暮らし）」が最も高い。単身世帯である状況と終活ノートに対する意識の相関関係がうかがえる。



※二世世代世帯①…本人または本人夫婦とその子供 二世世代世帯②…本人または本人夫婦とその親
※サンプル数 20 未満は参考値とした。

(7) 現在の健康状態×人生の最期を迎えたい場所

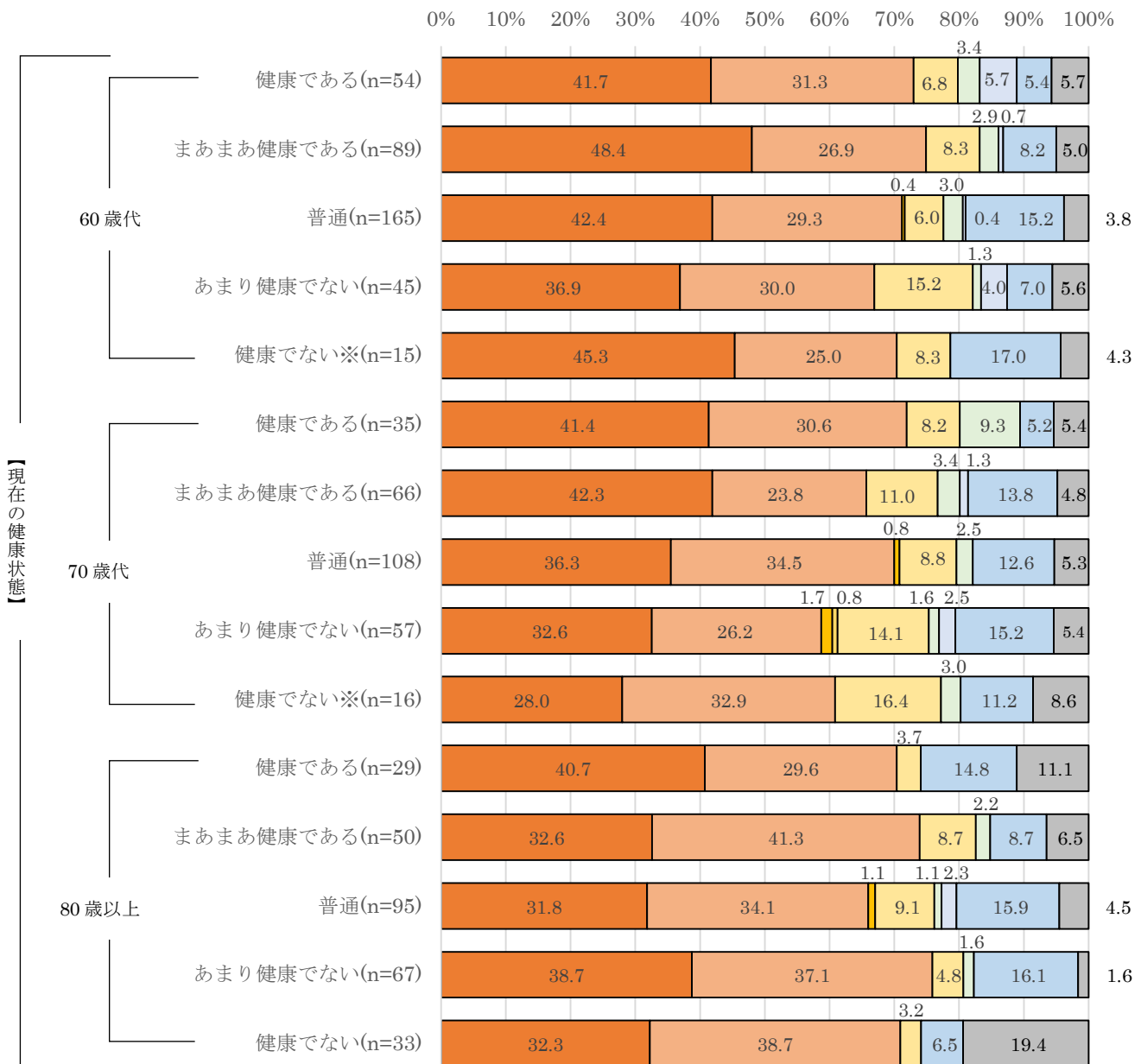
⑦「現在の健康状態」と「人生の最期を迎えたい場所」の関係性（60歳代以上）

60歳代及び80歳以上においては、大きな特徴は見られなかったものの、70歳代において、人生の最期を迎えたい場所を「自宅」と回答した割合は、現在の健康状態を「あまり健康でない」に比べ「健康である」又は「まあまあ健康である」と回答した人が8.8ポイント以上上回る結果となった。

【人生の最期を迎えたい場所】

【凡例】

自宅	医療施設	子供の家	親戚の家	福祉施設	サ高住	その他	わからない	不明
----	------	------	------	------	-----	-----	-------	----



※サンプル数 20 未満は参考値とした。

第3章 参考資料(アンケート調査票)

【島原市在宅医療・介護に関する意識調査票】

～ご協力をお願い～

平素より島原市の市政推進にご理解・ご協力頂きまして、誠にありがとうございます。

本市では、市民の皆さまが可能な限り住み慣れた地域・家庭でいきいきと自分らしく暮らすことができるよう、在宅医療・介護の支援体制づくりに取り組んでいるところです。

本調査は、在宅医療・介護に対する市民の皆さまのお考えや要望等をお聞きするために、市内にお住まいの満 20 歳以上の方から無作為に 3,000 人の方をお選びし、実施させて頂くものです。なお、ご回答頂きました内容は、すべて統計的に処理いたしますので、回答内容がそのまま公表されることはございません。また、他の目的でも一切使用することもございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解頂き、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年5月

島原市長 古川 隆三郎

【記入の仕方】

1. 必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方が記入されてもかまいません。
2. この調査は無記名で行い、ご回答の内容については、こういう意見の方が全体の何%」というように、すべて統計数値として集計いたしますので、お答えいただきました方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ございません。
3. 各質問のご回答は、特に説明がない限り、当てはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つだけ」、「2つ」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
4. 「その他」を選択された場合はお手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

【アンケート回収について】

記入後は、同封の返信用封筒（切手不要、無記名）に入れて
平成30年6月11日（月）までにご投函ください。

【問い合わせ先】 島原市福祉保健部 福祉課 地域福祉班（担当）立川
TEL：0957-63-1111（代表）内線：271

1 あなたご自身について

【問1】 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- ①男性 ②女性

【問2】 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- ①20 歳～29 歳 ②30 歳～39 歳 ③40 歳～49 歳
④50 歳～59 歳 ⑤60 歳～64 歳 ⑥65 歳～69 歳
⑦70 歳～74 歳 ⑧75 歳～79 歳 ⑨80 歳以上

【問3】あなたのお住まいの地区をお答えください。（1つに○）

- ①有明地区 ②三会地区 ③杉谷地区 ④森岳地区
⑤霊丘地区 ⑥白山地区 ⑦安中地区

【問4】あなたの家族構成をお答えください。（1つに○）

- ①単身世帯（ひとり暮らし）
- ②夫婦のみの世帯
- ③二世帯世帯（本人または本人夫婦とその子供）
- ④二世帯世帯（本人または本人夫婦とその親）
- ⑤三世帯世帯（親・子・孫）
- ⑥その他（

【問5】あなたの職業や現在の状態をお答えください。（1つに○）

- ①自営業 ②家族従事者＊ ③正規の従業員・職員 ④パート・アルバイト等
⑤専業主婦・主夫 ⑥無職 ⑦その他（ ）

*家族従事者とは、自営業主の家族で、その自営業主の営む事業に従事している方をいいます。

2 医療・介護について

【問6】あなたは健康状態や病気のことを気軽に相談できる医師（かかりつけ医）がいますか。（1つに○）

- ①かかりつけ医がいる
- ②かかりつけ医と言える医師はいないが、いつも受診する医療機関は決まっている
- ③そのような医師・医療機関はない

【問7】あなたはここ1年間でどのくらい医療機関を受診（健康診断を含む）しましたか。（1つに○）

- ①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回程度 ④2週間に1回程度
- ⑤月に1回程度 ⑥2～3ヶ月に1回程度 ⑦半年に1回程度
- ⑧年に1回程度 ⑨受診したことはない

【問8】あなたの現在の健康状態をお答えください。（1つに○）

- ①健康である ②まあまあ健康である ③普通 ④あまり健康でない
- ⑤健康でない

【問9】あなたが病気などで長期間の療養が必要になった場合、どこで過ごしたいですか。（1つに○）

- ①自宅
- ②医療機関（具体的な機関名：_____）
- ③介護施設（具体的な施設名：_____）
- ④その他（_____） ⑤わからない

【問10】あなたの家族が、病気などで長期間の療養が必要になった場合、どこで過ごさせたいですか。（1つに○）

- ①自宅
- ②医療機関（具体的な機関名：_____）
- ③介護施設（具体的な施設名：_____）
- ④その他（_____） ⑤わからない

【問 1 1】あなたや家族が自宅で病気療養をすることになった場合、心配や不安に感じることは何だと思いますか。（該当するものすべてに○）

- ①精神的な負担（家族に負担や迷惑をかけるなど）
- ②経済的な負担（在宅医療の費用がいくらかかるかわからないなど）
- ③仕事と介護の両立（家族が仕事を辞めなければならなくなるなど）
- ④介護してくれる家族がいない
- ⑤日常生活動作（着替え・トイレ・入浴など）の不安
- ⑥食事（調理できない・バランスのとれた食事ができないなど）に対する不安
- ⑦住環境の不安（自宅に段差が多い・部屋が狭い・ベッドや手すりがないなど）
- ⑧夜間や病状が急変した場合が不安
- ⑨移動手段（通院・買い物）
- ⑩その他（

【問 1 2】あなたは在宅医療について知っていますか。（1 つに〇）

*在宅医療…さまざまな病気にかかれた方が自宅において医師の往診や治療、訪問看護などの医療サービスを受けながら療養生活を送ることをいいます。

- ①知っている ②聞いたことはある ③知らない

【問 1 3】在宅医療に取り組んでいる病院、診療所があることを知っていますか。
(1 つに○)

- ①知っている ②聞いたことはある ③知らない

【問 1 4】あなたは在宅介護について知っていますか。（1 つに○）

- ①知っている ②聞いたことはある ③知らない

【問 1 5】在宅介護に取り組んでいる事業所（デイサービスや訪問介護事業所等）があることを知っていますか。

- ①知っている ②聞いたことはある ③知らない

【問１６】島原市には在宅医療・介護の相談窓口として「島原市在宅医療・介護相談センター」がありますが知っていますか。（１つに○）

①知っている

②聞いたことはある

③知らない

【問１７】以下のような在宅医療・介護のサービスをご存知ですか。「ア」から「コ」の各項目について、それぞれ該当する方を選んで○で囲んでください。

評 価		該当する方に○	
ア	訪問診療（医師の訪問）	はい	いいえ
イ	訪問歯科診療（歯科医師の訪問）	はい	いいえ
ウ	訪問薬剤管理指導（薬剤師の訪問）	はい	いいえ
エ	訪問看護（看護師などの訪問）	はい	いいえ
オ	訪問リハビリテーション（リハビリ専門職の訪問）	はい	いいえ
カ	在宅訪問栄養食事指導（管理栄養士の訪問）	はい	いいえ
キ	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）	はい	いいえ
ク	介護支援専門員（ケアマネジャー）	はい	いいえ
ケ	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 *1	はい	いいえ
コ	在宅療養支援診療所 *2	はい	いいえ

*1：「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」とは、24 時間体制で 1 日数回にわたる定期・随時訪問によって訪問介護・訪問看護を提供するサービスです。

*2：「在宅療養支援診療所」とは、24 時間体制で往診や訪問看護を実施する診療所のことです。

【問１８】あなたは在宅医療に関する講演会などがあったら、参加したいと思いますか。（１つに○）

①ぜひ参加したい

②機会があれば参加したい

③わからない

④参加したくない

①、②に○をつけた方にお聞きます。
参加してみたいテーマなどご自由にお書きください。

【問１９】あなたは、治る見込みがない病気になった場合、最期をどこで迎えたいですか。（１つに○）

- | | | | |
|-------------------|----------------|--------|-------------|
| ①自宅 | ②病院などの医療施設 | ③子どもの家 | ④兄弟姉妹など親戚の家 |
| ⑤特別養護老人ホームなどの福祉施設 | ⑥サービス付き高齢者向け住宅 | | |
| ⑦その他（ | ） | ⑧わからない | |

【問２０】あなたは、寝たきりの状態となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能だと思いますか。（１つに○）

- | | |
|------------------|----------------|
| ①希望するし、実現可能だと思う | → 問２２へお進みください。 |
| ②希望するが、実現は難しいと思う | → 問２１へお進みください。 |
| ③希望しない | → 問２１へお進みください。 |
| ④現在、受けている | → 問２２へお進みください。 |
| ⑤わからない | → 問２２へお進みください。 |

【問２１】実現が難しい又は在宅医療を希望しないと思う理由は何ですか。（該当するもの全てに○）

- | | |
|------------------------------|---|
| ①家族に負担をかけるから | |
| ②介護してくれる家族がいないから | |
| ③急に病状が変わったときの対応が不安だから | |
| ④往診などをしてくれる医師がいないから | |
| ⑤訪問看護や介護の体制が不十分だから | |
| ⑥療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから | |
| ⑦医師や看護師の訪問が精神的負担になるから | |
| ⑧経済的に負担が大きいから | |
| ⑨その他（ | ） |

【問２２】あなたは、「在宅医療」を充実することが必要だと思いますか。（１つに○）

- | | | | |
|---------|-------------|-----------|--------|
| ①必要だと思う | ②どちらかというと必要 | ③必要とは思わない | ④わからない |
|---------|-------------|-----------|--------|

【問 2 3】あなたは終末期（治る見込みがなく死期が迫っている）に延命治療を望みますか。（1 つに○）

*延命治療…終末期の患者に対し、人工呼吸器や点滴などによって生命維持のために行う医療行為のことです。

- ①望む ②望まない ③わからない
- ④その他（ ）

【問 2 4】将来、あなた自身に万が一のことが起きたときに備えて、どのような治療やケアを受けたいのかを伝える書面（＊終活ノート）を作成しておきたいと思いませんか。（1 つに○）

*終活ノート・・・将来、自分に万が一のことが起きたときに、家族や大切な友人に伝えておきたいことを書きまとめられる書面。島原市在宅医療・介護相談センターで作成しています。

- ①作成している ②作成したいと思う ③思わない ④わからない

【問 25】 家族や自分が病気をしたり介護が必要になった時に、悩みや不安を相談できる相手はいますか。（該当する数字すべてに○）

- ①家族・親戚 ②友人・知人 ③お店の店員(スーパー・コンビニなど)
- ④かかりつけ医 ⑤医療機関の相談員または看護師 ⑥島原市医師会
- ⑦ケアマネジャー ⑧介護サービス事業所 ⑨町内会・自治会 ⑩民生委員
- ⑪県南保健所 ⑫島原市役所 ⑬島原地域広域市町村圏組合
- ⑭島原市地域包括支援センター ⑮島原市在宅医療・介護相談センター
- ⑯相談する相手はいない ⑰その他（ ）

【問 26】あなたは医療・介護に関する必要な情報をどのように入手していますか。(主なものを2つまで○)

- ①広報紙 ②家族・近隣からの紹介（くちコミ） ③インターネット ④医療機関
⑤介護機関 ⑥市役所 ⑦地域包括支援センター ⑧その他（ ）

【問 27】 あなたにとって医療や介護について必要な情報はなんですか。
(3つまで○)

- ①休日・夜間の診療体制や救急医療機関について
- ②医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野について
- ③訪問診療・看護・介護・リハビリテーションなどの在宅ケアサービスについて
- ④退院後に利用できるサービスについて
- ⑤介護や医療についての相談窓口について
- ⑥健康保険や医療費の制度について
- ⑦急病やケガ人に対する応急手当について
- ⑧その他（ ）

【問28】在宅医療・介護に関して、あなたが思うことがあれば、ご自由に記入ください。

(例)：在宅医療・介護に関して知りたいこと、または取り組んで欲しいこと…など
島原市の在宅医療・介護に関わる人に求めること…など

～調査にご協力いただきありがとうございました～

同封の返信用封筒に記入済みの調査票を折り曲げて入れて、
切手を貼らずに投函ください。

在宅医療・介護連携に関する
市民アンケート調査業務

報 告 書

2018年9月
公益財団法人 ながさき地域政策研究所